

To :

Dear Dr. Kang

20989



17.3.98.

With Best Wishes

from

John MacHardy

14/5/65

13/1

China Nain Hai
Univ. of Singapore



南方圈有用植物圖說

✻ 第壹編 藥用植物 ✻



馬來軍政監部

13/2

BOTANIC GARDENS LIBRARY
SINGAPORE

17 MAR 1998

20989

581.6(595.01)

SIN.

目次

キク科

- 1 カツコウアザミ
- 2 ウスヘニニガナ
- 3 ムラサキムカシヨモギ
- 4 ニトベギク
- 5 タカサゴギク
- 6 センニチモドキ
- 7 ミスミグサ
- 8 シマハマグルマ
- 9 タカサブロウ

クサトベラ科

- 10 クサトベラ

ウリ科

- 11 ニガウリ

アカネ科

- 12 ガムビヤ
- 13 ボリビヤキナ
- 14 アカキナ
- 15 トコン
- 16 アカクダタマ
- 17 スラングボチヨウヂ
- 18 スクタンニホヒグサ
- 19 マツカサノキ

キツネノマゴ科

- 20 アンドログラフイス
- 21 アダトダ
- 22 リナカンサス
- 23 ガンダルサ
- 24 ムラサキミズヒイラギ
- 25 コバナミズヒイラギ

ノウゼンカツラ科

- 26 オオセンダンキササゲ
- 27 ソリザヤタラ

ゴマノハグサ科

- 28 コオウレン

ナス科

- 29 テウセンアサガホ

唇形科

- 30 メボウキ
- 31 カミボウキ
- 32 ネコノヒゲ
- 33 パチヨリ
- 34 ムラサキサヤバナ
- 35 メハチキ

クマツヅラ科

- 36 ヌルデモドキ
- 37 シチヘンゲ
- 38 ウスギクサギ
- 39 ナガバムラサキ
- 40 オオケムラサキ
- 41 ルバンニンジンボク
- 42 ナンヨウハマゴウ

ヒルガホ科

- 43 ヤツデアサガホ

ガガイモ科

- 44 チロボラ
- 45 カロトロピス

キヨウチクトウ科

- 46 チタノキ
- 47 オオバチタノキ
- 48 ストロフアントス、
グラツス
- 49 ストロフアントス、
ヒスピツス
- 50 ストロフアントス、
デイコトムス

- 51 コネツシ
 52 チチカツラ
 53 ニチニチサウ
- リンドウ科
- 54 ジャワセンブリ
 55 チレツタセンブリ
 56 ハマセンブリ
- マチン科
- 57 マチン
 58 タカラマメ
 59 コマンチヨウ
 60 ムンブレー
- エゴノキ科
- 61 スマトラアンソクコウ
- アカテツ科
- 62 ミサキノハナ
- イソマツ科
- 63 セイロンマツリ
 64 インドマツリ
- ヤブコウジ科
- 65 エンペリヤ
 66 マンリヨウ
 67 ウミベマンリヨウ
- 繖形科
- 68 ツボクサ
- ノボタン科
- 69 マラバルノボタン
- テンニクワ科
- 70 ジャンブル
- 71 チヨウジ
 72 バンジロウ
 73 カヤブテ
 74 ビヤクシンモドキ

- シクンシ科
- 75 シクンシ
 76 ミロバランノキ
- ヒルギ科
- 77 オオバヒルギ
 78 フタゴヒルギ
 79 ヘニガクヒルギ
- ミソハギ科
- 80 シコウクワ
 81 オオバナサルスベリ
- ヂンチヨウゲ科
- 82 マラツカチンコウ
- イイギリ科
- 83 ルカムモモ
 84 クパヤン
 85 ダイフウシ
 86 ガマハダダイフウシ
 87 クルチダイフウシ
- オトギリサウ科
- 88 テリハボク
- サルナシ科
- 89 ヤスリバカツラ
- アオギリ科
- 90 カカオ
 91 コラ
 92 ダイカイシ
 93 ネヂトウガラシ
- アフヒ科
- 94 ブラジルワタ
 95 キンゴジクワ
 96 ブツサウゲ
- シナノキ科
- 97 ホザキウオトリギ

大戟科

- 98 クスノハガシワ
- 99 ナンヨウアブラギリ
- 100 ククイノキ
- 101 ハヅ
- 102 カラナシ
- 103 キダチコミカンサウ
- 104 キダチオオミカンサウ
- 105 コミカンサウ
- 106 タイワンコバンノキ
- 107 キヨウチクダイゲキ
- 108 タイワンニシキサウ
- 109 ムカデダイゲキ

センダン科

- 110 インドセンダン
- 111 ニリス

カンラン科

- 112 マニラエレミ

ニガキ科

- 113 ナンヨウニガキ
- 114 アメリカニガキ
- 115 ナガエガサ
- 116 アイランツス
- 117 サマデラ

芸香科

- 811 ヘルノキ

コカ科

- 119 コカ

フウロサウ科

- 120 ダウンチリメン

マメ科

- 121 ナンバンアカアヅキ
- 122 リスノツメ

- 123 オネリスノツメ
- 124 スワウ
- 125 クズイモ
- 126 タマツナギ
- 127 ペグノキ
- 128 タマリンド
- 129 ハヒトバ
- 130 タチトバ
- 131 ハネミセンナ
- 132 ナンバンサイカチ
- 133 トウアヅキ
- 134 デイコ
- 135 シロゴチヨウ
- 136 インドシタン

ワサビノキ科

- 137 ワサビノキ

フウチヨウサウ科

- 138 キバナヒメフウチヨウ

クス科

- 139 セイロンニクケイ
- 140 シナニクケイ
- 141 パハンアカハダグス

ニクヅク科

- 142 ニクヅク

ツヅラフチ科

- 143 イボツヅラフチ
- 144 コロンボモドキ
- 145 タテバツヅラフチ
- 146 フイブラウレア
- 147 チクレア

オシロイバナ科

- 148 オシロイバナ

アカザ科

- 149 アメリカアリタサウ

- ビヤクダン科
- 150 ビヤクダン
- コセウ科
- 151 コセウ
- 152 キンマ
- 153 ヒツチヨウカモドキ
- 154 ジヤワナガゴセウ
- ラン科
- 155 オオバセキコク
- シヨウガ科
- 156 トゲミシユクシヤ
- 157 ビヤクヅク
- 158 シヨウヅク
- 159 ガジユツ
- 160 ウコン
- 161 ナンキヨウ
- 162 カラリヨウキヨウ
- 165 ウコンミヨウガ
- 164 バンウコン
- 165 オオホザキアヤメ
- アヤメ科
- 166 アカネスキセン
- ユリ科
- 167 ニクケイバサンキライ
- トウツルモドキ科
- 168 トウツルモドキ
- テンナンシヨウ科
- 169 ボタンウキクサ
- ヤシ科
- 170 ビンロウジ
- 禾本科
- 171 ベチヘルサウ

- 172 コウスイガヤ
- マツ科
- 173 ナンヨウナギ
- シダ類
- 174 カニクサ
- 175 コシダ
- 附(圖無シ)
- 176 ヨモギ
- 177 コーヒー
- 178 オオバコ
- 179 チキタリス
- 180 タバコ
- 181 トウガラシ
- 182 ハクカ
- 183 ザクロ
- 184 パパヤ
- 185 マンゴスチン
- 186 ヒマ
- 187 ケシ
- 188 クスノキ
- 189 アサ
- 190 クハ
- 191 シヨウガ
- 192 シヨウブ
- 193 ココヤシ
- 194 サトウキビ



カツコウアザミ (キク科)

地方名 タイ・アヤム (馬)
 産地 熱帯一般
 性状用途 雑草、花は淡紫色、葉はワキガの臭とハク
 カの臭とを混じた如き香あり、民間薬として葉を外傷
 に罌布(防腐用)全草 煎汁は解熱用或は赤痢薬として
 内用する



Emilia sonchifolia DC.

Retusa merah

ウスベニニガナ (キク科)

地方名 タンバ・タンバ・メラ (馬)

産地 熱帯一般

性狀用途 雑草、花は紅紫色、全草芳香、民間薬にして煎汁を解熱に内用し、眼カタルの洗眼薬とし、又葉を腫物に琶布する(全草食用)



ムラサキムカシヨモギ (キク科)

地方名 タンバ・タンバ (馬)
 産地 熱帯一般
 性状用途 雑草、花は頂上紫で其下に白部が少しく見える、民間薬にして葉を石灰と混じて傷に琶布し、葉のみをタムシに琶布す、根の煎汁は胃痛及び下痢に内用す(全草食用となる)

Tithonia diversifolia
GRAY



ニトベギク (キク科)

地方名 マタハリ (馬)
産地 熱帯各地(栽培) (原産アメリカ)
性狀用途 多年草、高さ六尺、花黄色、花はピレトリ
ンをジヨチウギクの五分の一含む、蚊取線香の原料と
なる



Blumea balsamifera DC.

タカサゴギク (キク科) Sambang

地方名 スンボング (馬)
 産地 インド、マライ、フィリピン
 性狀用途 草本、高六尺、莖及葉裏には白毛あり、葉柄部の鋸齒は獨立する、花黄色小、全草龍腦の香強く、左旋龍腦(エルボルネオール)シネオール、セスキテルペンを含み、搾汁は胃病、解熱用、脚氣、蛔虫驅除等に内用し、リウマチ、外傷等に外用する

13/7



センニチモドキ (キク科)

地方名 クダング (馬) バラクレス (英)
 産地 熱帯一般
 性狀用途 草本、タウコギの様な感じあり、舌状花は
 極めて小、花序は黄色、全草にピレトリンの一種なる
 スピラントールを含み辛し之は麻醉性あり、齒痛、頭
 痛、咽喉痛等に外用し、煎汁は膀胱結石を溶かし、壊
 血病に有効と民間で信じられてゐる

Elephantopus scaber L.



ミスミグザ (キク科)

地方名 ツト・ブミ (馬)

産地 熱帯一般

性狀用途 雑草、葉は地に接して擴がる、花は淡紫色、
葉の煎汁は解熱、驅虫、利尿、腹痛に用る

1318



Wedelia biflora DC.

シマハマグルマ (キク科)

地方名 スルナイ・ラウ (馬)
 産地 アフリカ、インド、マライ群島、台湾
 性状用途 海岸の雑草、花黄、葉は碎いて傷、虫咬、
 腫物其他の皮膚病に外用し、煎汁は利尿性あり血尿に
 内用す、花は峻下劑、根は淋病に用る



Eclipta alba HASSK

x3

タカサブロウ (キク科)

地方名 ウラン・アリン (馬)
 産地 温、熱帯
 性狀用途 雑草、花白、根及び葉の煎汁は吐下劑にして便秘に用ゐる、葉はココナト油と混じ外用すれば毛髪を伸すと云ふ

13/9



クサトベラ (クサトベラ科)

地方名 アンボン・アンボン (馬)
 産地 印度洋、太平洋岸
 性状用途 海岸植物、灌木、花淡黄、葉は内質で光澤あり、葉はスカエボリンを含み苦く、消化不良に内用、足の浮腫に外用、髓は下痢止、葉、樹皮の煎汁は脚氣に内用、果汁は眼疾に外用

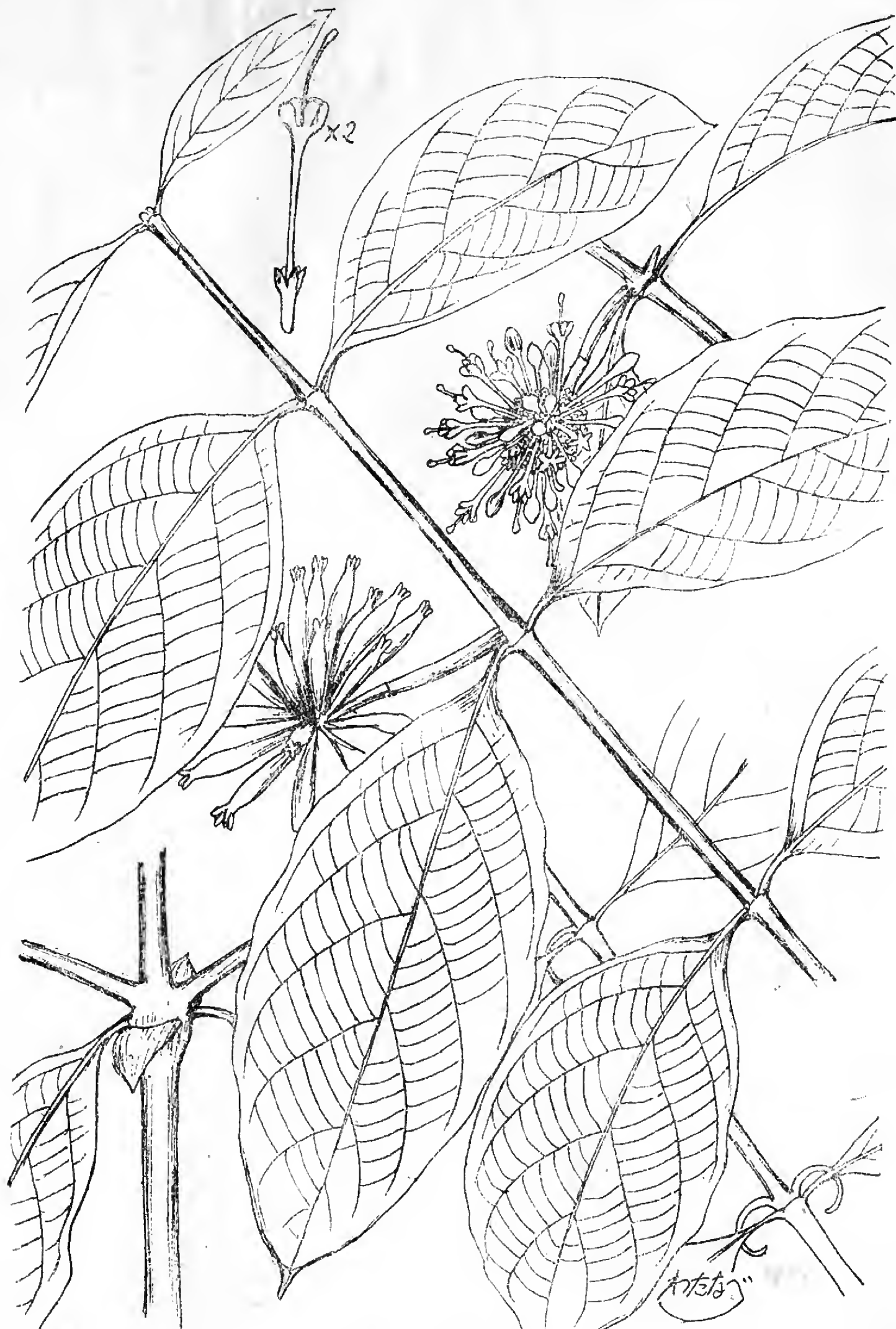
Momordica charantia L



ニガウリ (ウリ科)

地方名 ブリア (馬)
産地 温熱帯 (栽培) (原産インド?)
性狀用途 莖葉を碎きて皮膚病、火傷、湯傷等に芭布
葉の汁は吐下劑とし、又肝臓病に用ひられる、但過量
の内用は注意を要す

13/10



Uncaria gambir ROXB.
GAMBIR

ガムビヤ (アカネ科)

地方名 ガムビヤ (馬)

産地 マライ群島

性狀用途 灌木、つや蔓性。花白褐色、葉は揉むと白い泡を發する、全株カラキン及び阿仙藥 椽酸を含み、嚼めば苦味と清涼感あり、葉及び若莖を煮詰めて阿止藥 カツチ を作り、收斂劑及び鞣皮料とする、之は下痢止に用ひられる



Cinchona ledgeriana MOENCH

ポリビヤキナ (アカネ科)

地方名 レツヂエルクキニン (英)
 産地 熱帯高原 (栽培) (原産南米)
 性状用途 成長の遅い灌木、葉は細長く熱帯の高地を好むがアカキナより更に高地 (1000-2000米) を要する、樹皮にキニンを含むこと多量である爲樹皮、根皮を硫酸キニーネ製造の材料とする、之が解熱劑及びマラリヤ藥として必要な事は云ふ迄もない、ジャワを主産地とする

13/11



Cinchona succirubra PAVON

アカキナ (アカネ科)

地方名 レッドパーククキニン (英)

産地 熱帯高原 (栽培) (原産南米)

性状用途 喬木になり得る樹木、葉は廣く莖枝に赤味を帯びてゐる熱帯の高地 (500-2000米) を好みマライでもフレザーヒル、タイヒンヒル、カメロン等には栽培可能、樹皮にキニン、シンコニン其他を含み樹皮及び根皮をキナエキス、キナチンキ、キナ酒等として健胃強壯薬に用ひるキナ中最も低地に耐え且つ壯健な種なり

Cephaelis ipecacuanha RICH



トコン (吐根) (アカネ科)

地方名 イペカクアナ (英)

産地 マライ、セイロン (栽培) (原産南米)

性状用途 草本状灌木、高さ七寸ヤブコウジの如き感あり、陰濕地を好み根はジュズ状根を混生、此部にエメチン、セフアエリン、フシコトリンを含み吐劑にも用ひられるが アメーバ赤痢特效薬製造上重要である

13/12



*Chasalia
chartacea* CRAIB

アカクダタマ (アカネ科)

地方名 ジヤルム・ジヤルム (馬)
 産地 インド、マライ群島
 性状用途 小灌木、莖、葉脈は紫、果梗は初め白、後
 赤色となり肥大す、果紫黒色、根はマラリヤに内用、
 傷腫物に外用、葉は馬の鞍傷に琶布



Psychotria stipulacea WALL.

スラングボチヨウチ (アカネ科)

地方名 ザルング (馬) スラルング (馬)
 産地 マライ、スマトラ
 性狀用途 灌木、托葉著大、根及び葉は皮膚病、水腫
 に琶布し、煎汁は熱病の浴用材料とする



Hedyotis capitellata WALL

Sukutan

スクタンニホヒグサ (アカネ科)

地方名 スクタン (馬)
 産地 インド、マライ群島、南支
 性狀用途 蔓草、マライの鬚布薬の主なるもの、蛇咬、
 骨折、ウチミ、リウマチ、腰痛、オコリ等に外用、
 腎臓病、消化不良、ムネヤケ、赤痢等に生葉を食す
 (全草食用可)

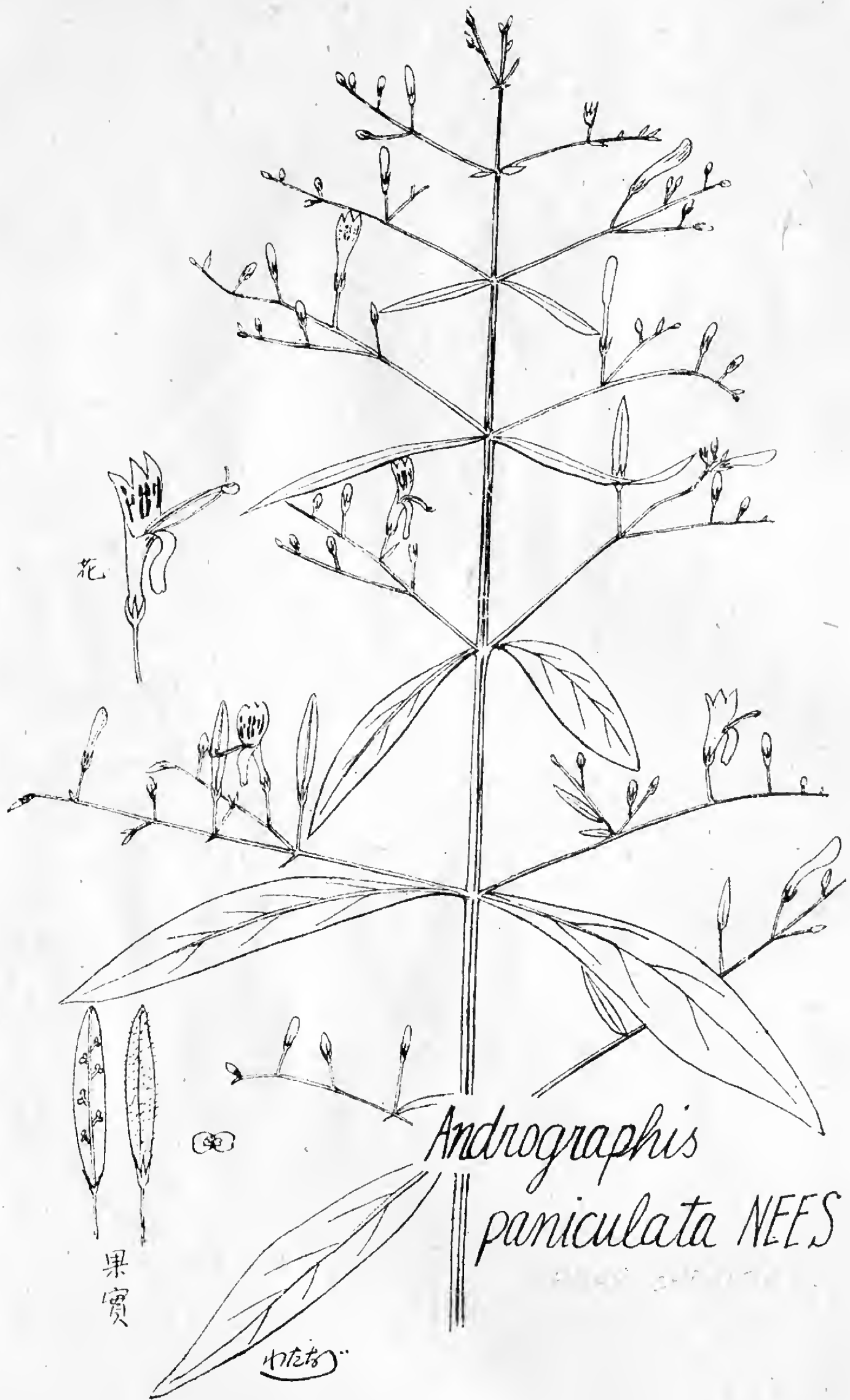


Morinda elliptica

RIDL

マツカサノキ (アカネ科)

地方名 ムンクドウ・ウタン (馬)
 産地 マライ
 性狀用途 灌木、花白、民間薬、葉は食慾不振に飯に
 混ぜて食し、コレラ、下痢、熱病等に内用す



アンドログラフィス (キツネノマゴ科)

地方名 アカールチエリタ(馬) サンビラタ(爪)
 産地 インド、ビルマ、マライ、ジャワ
 性狀用途 雑草、高さ二尺、花は白色で赤紫の班點あり、果は紡錘形、
 全草苦し、アンドログラフィド及アンドログラフオリドを含む、健胃苦
 味薬にして、又赤痢、マラリヤ、胃病、糖尿病に内用、蛇咬、虫刺に
 外用



ア ダ ト ダ (キツネノマゴ科)

地方名 アダトダ (タミル)

産地 マライ北部(栽培) (原産インド)

性状用途 灌木高さ一丈、葉は長さ一尺、花序は大形の苞を有し花冠は白色、内面に紫點あり、全株苦し、葉はバシチンなるアルカロイドを含み鎮咳、鎮ケイ薬として用ひられる、又殺虫、魚毒にも用ひられる



*Rhinacanthus
nasutus KURZ*

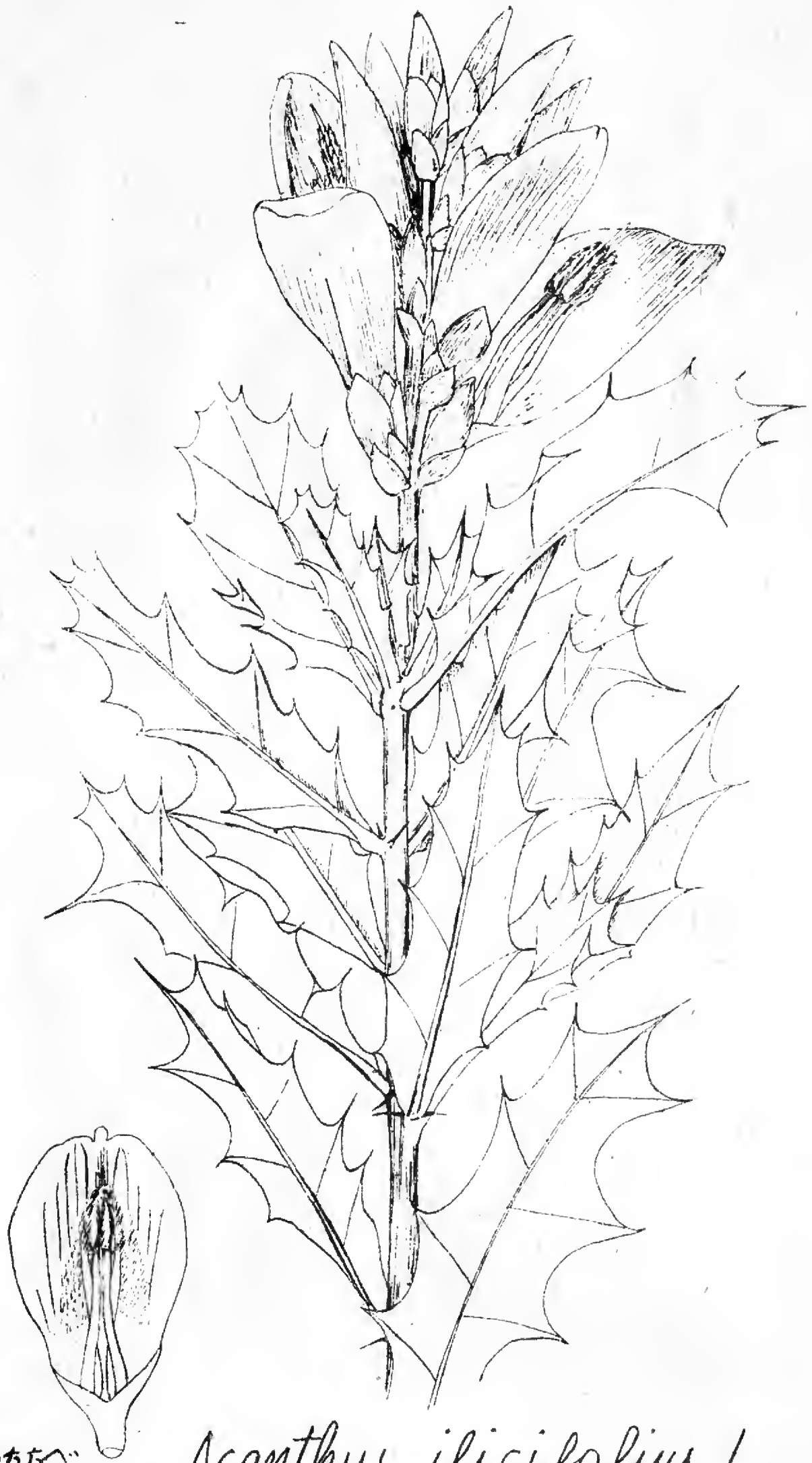
リナカンサス (キツネノマゴ科)

地方名 アカール・トリバ (馬)
 産地 インド、マライ群島(栽培)(原産アフリカ)
 性状用途 小灌木、花白、上唇細く、下唇紫斑點あり
 時に垣根に作らる、脂質リナカンチンを含み、民間の
 皮膚病薬として廣く用ひらる、根及び葉を酒精或は醋
 に溶かして濕疹、タムシに塗布、又葉を安息香及び硫
 黄と混じて塗布することもある



ガンダルサ (キツネノマゴ科)

地方名 ガンダ・ルサ (馬)
 産地 マライ群島、南支(栽培) (原産不明)
 性狀用途 灌木状草本、莖は紫色のもの多し、花は稀、
 マライ民間薬の有名なるものの一つ、少量のアルカロ
 イドと多量の加里を含む、葉は發汗劑にして、解熱、
 顔面神経痛、慢性リウマチ、月經閉止に内用、葉の精
 油はタムシに塗布、紫莖種は咳止に、緑莖種は淋病、
 月經閉止、マラリヤに特用すると云ふ



わたあじ

Acanthus ilicifolius L

ムラサキミズヒイラギ (キツネノマゴ科)

地方名 ジュルジュ・ブルー (馬)

産地 インド、マライ群島

性状用途 海岸濕地に生ずる低灌木、葉はヒイラギ状で刺あり花紫色、葉は諸種の痛み特に毒矢傷に芭布、又リウマチ、神経痛にも外用、但諸薬効は後種(コバナミズヒイラギ)と共同なり



Acanthus ebracteatus WALL.

コバナミズヒイラギ (キツネノマゴ科)

地方名 ジュルジュ (馬)

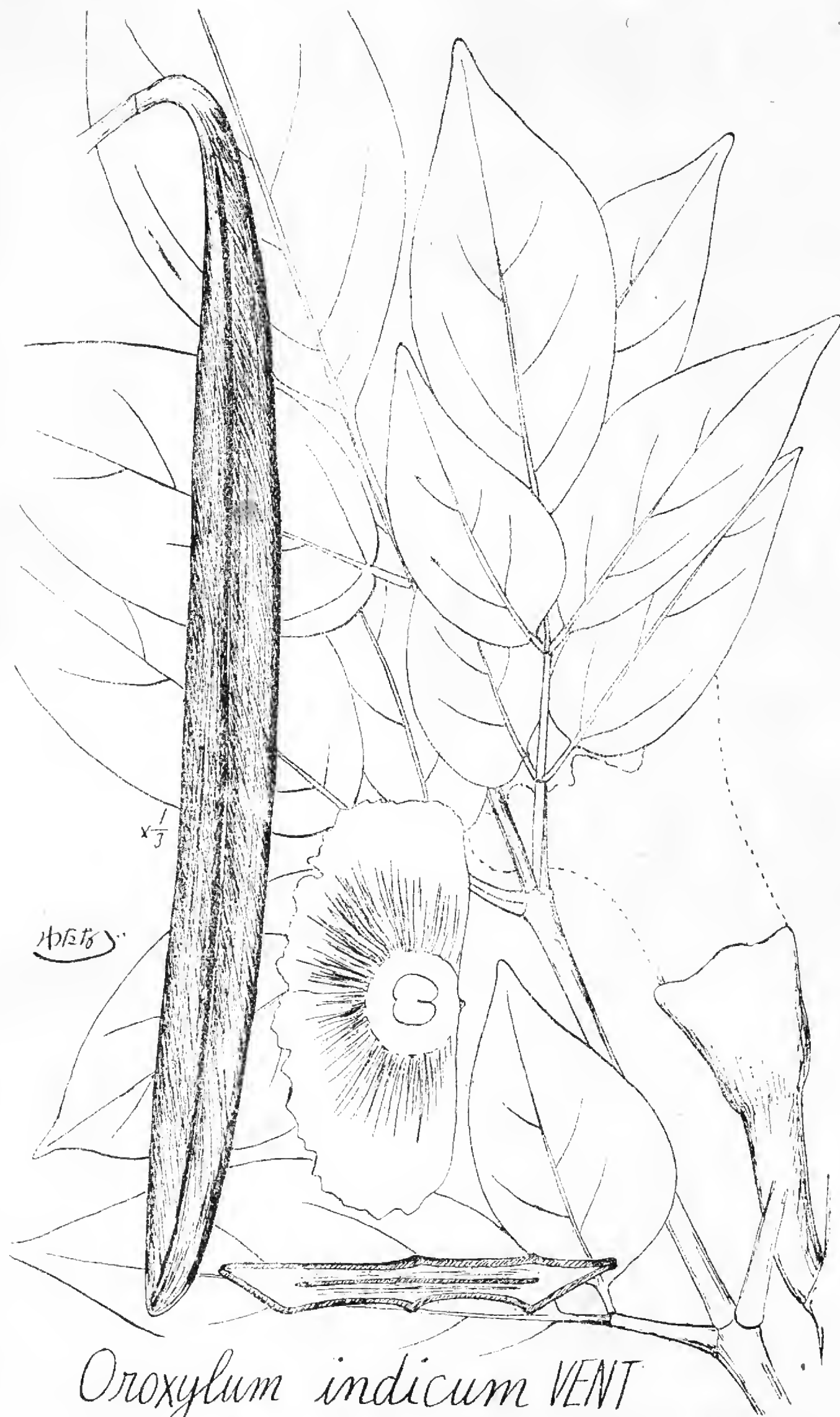
産地 マライ地方

性狀用途 海岸濕地に生ずる低灌木、花はミズヒイラギより小さくて白色、民間薬にして種子は(1)煎汁を咳止薬として内用(2)碎いて腫物に嚙布(3)炒つて粉にし水と混じて服用し腫物を治す(4)2—3粒は小兒の驅虫に内用



オオゼンダンキササゲ (ノウゼンカヅラ科)

地方名 チヤチヤア (馬)
 産地 ビルマ、マライ
 性状用途 喬木、花淡紫色、果は長く豆の如し、葉の汁を耳痛に外用し又葉を石灰と碎いて皮膚の痛みに外用する



Oroxylum indicum VENT

ソリザヤタラ (ノウゼンカツラ科)

地方名 ムルクライ (馬)
 産地 インド、マライ群島、南支
 性狀用途 小喬木。葉はタラノキの如く、花は暗赤色
 で早朝落下、果のサヤはスキーの如し
 根皮、樹皮は苦味強く赤痢、下痢、胃痛、リウマチに
 内用、コレラ、熱病に奄法として外用



コオウレン (ゴマノハグサ科)

地方名 クル (インド) 胡黄蓮 (支)
 産地 インド
 性狀用途 ヒマラヤ山麓、シツキム地方、チベット等に産する草本、根にはピクロリヂンを含み漢方薬としてマライにも輸入さる、苦味劑として有名なり



Datura metell
 = *D. fastuosa* L.
 = *D. alba* NEES.

テウセンアサガホ (ナス科)

地方名 クチユボング (馬)

産地 熱帯

性狀用途 草本、葉は緑のものと紫色を帯たものとあり花白。葉裏粉白ならず、他の類似種と同様、葉を乾して喘息に吸烟する



カミボウキ (唇形科)

地方名 スラセ (馬) ルクルク (馬)
 産地 アラビア以東、マライ群島迄
 性狀用途 灌木状草本、多数の枝を分つ、全草芳香多
 毛、民間薬にして、根の煎汁は解熱に、葉の汁は下劑
 に、花は蜜に混ぜて鎮咳に用ひる、葉の汁はリウマチ
 にも塗布す、種子は吸水すると粘液化するを以て眼に
 入れて塵を除くに用ふ



*Orthosiphon
grandiflorus*
BOLD.

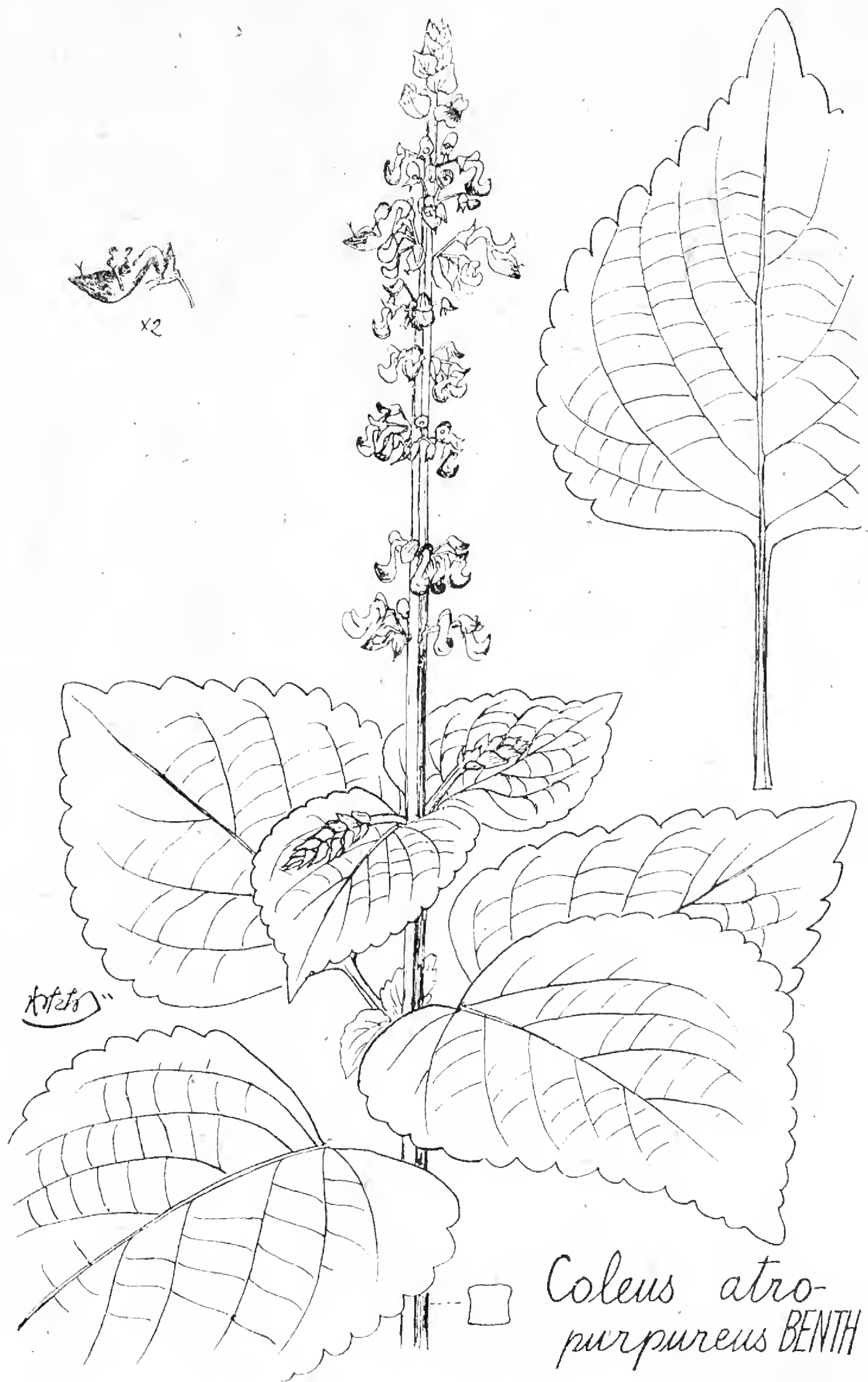
ネコノヒゲ (唇形科)

地方名 クミスクチン (馬)
 産地 熱帯各地(栽培)(原産インド、南支)
 性狀用途 多年生草本、高さ二尺、花辨も雄雌蕊も白
 色で、葯、柱頭、莖は紫色、全草加里鹽を多く含み、
 葉は有効な利尿劑である



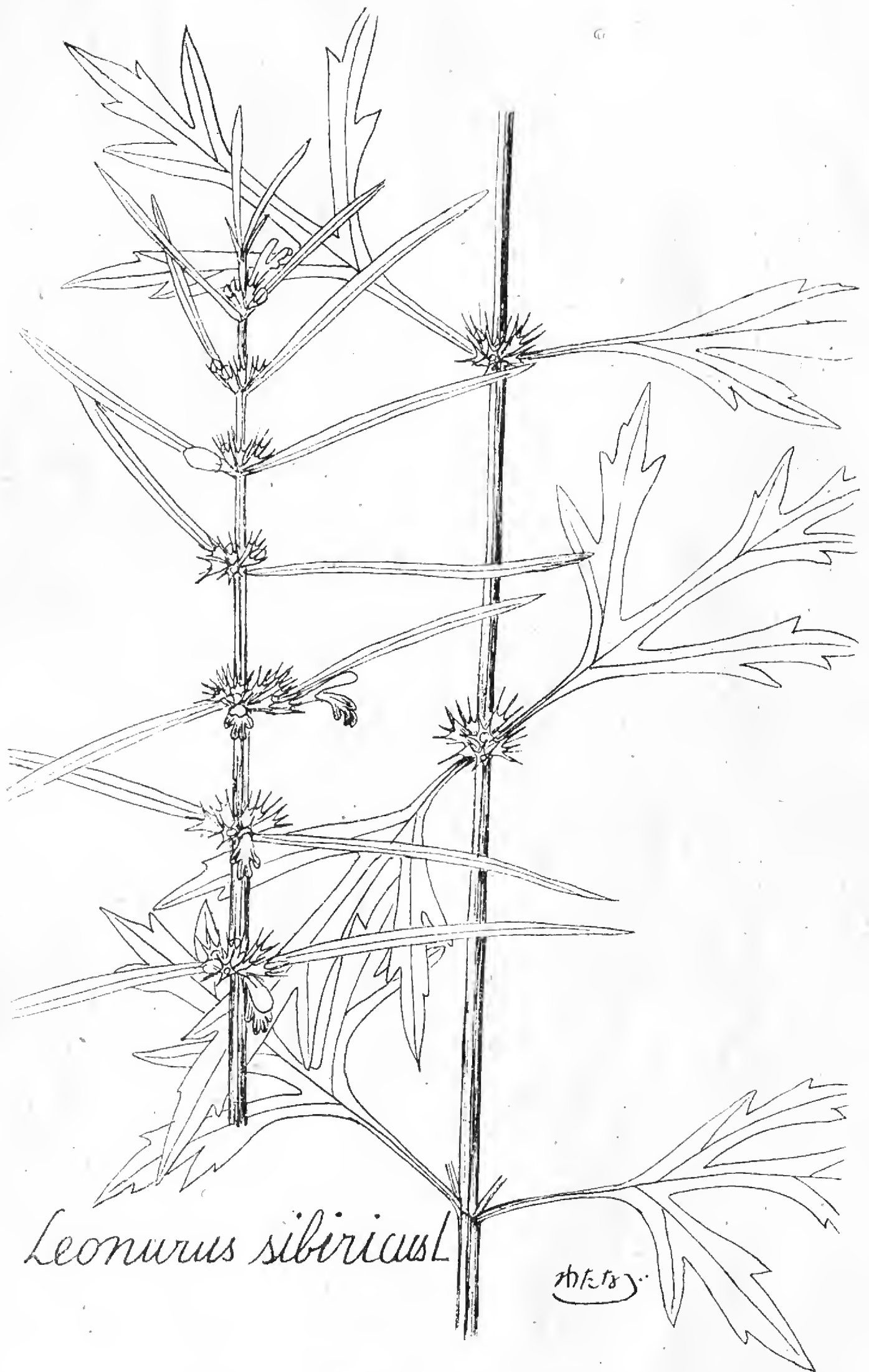
パチヨリ (唇形科)

地方名 ニラム (馬)
 産地 マライ (野生、栽培)
 性状用途 草本、全草を水蒸気蒸溜してパチヨリ油を採り、香水の保留剤とする、民間薬としては葉を頭痛に外用し或は浴用にする



ムラサキサヤバナ (唇形科)

地方名 ダウン・アチアチ (馬)
 産地 タイ、マライ、太平洋諸島
 性状用途 草本、全草搾汁又は煎汁は消化を助け胃痛
 を止めるに内用、又葉を磨り下して胃、心臓部の痛
 み、腺の腫張等に帊布す



メハヂキ (唇形科)

地方名 スランテイング (馬)
 産地 温帯
 性狀用途 草本、マライにも栽培され時に野化する
 根、葉の汁は解熱に用る、やや麻醉性ありインドアサ
 の如く喫煙し得、同属の他種が酒精に浸出してヂキタ
 リスに代用し得るを以て本種も其の可能性あり



ヌルデモドキ (クマツヅラ科)

地方名 スンカイ (馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ、ボルネオ
 性状用途 小喬木、野生もあるが垣根にも植る、若莖は紫色、葉は羽状で對生、葉軸には翼がありヌルデの如し葉及び樹皮は苦く其の搾汁は解熱薬としてマラリヤ其他の熱病に内用、葉の煎汁はタムシに用ひる



シチヘンゲ (クマツヅラ科)

地方名 ブンガ・タイ・アヤム (馬)
 産地 熱帯一般(野化) (原産アメリカ)
 性狀用途 灌木状草本刺あり、花は黄より紅に變色する。全株強き臭あり防腐性ありと信ぜられ民間薬として葉を外傷及び腫物に毬布し腹痛にすら外部より毬布す。



ウスギクサギ (クマツヅラ科)

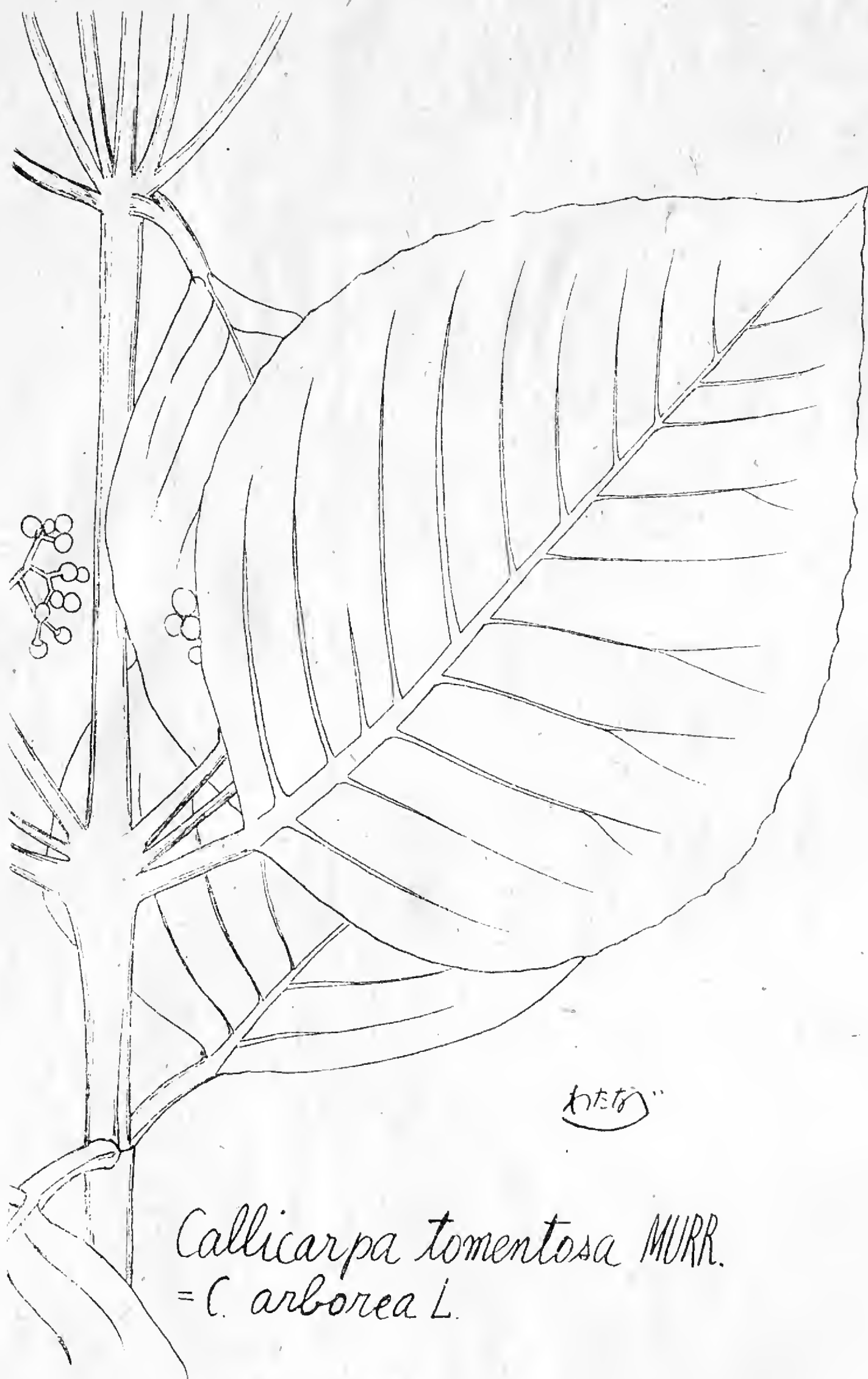
地方名 ランジャール・タセ(馬)
 産地 インド、マライ、ジャワ、セレベス
 性狀用途 灌木、花淡緑、唇瓣紫、果は咳止めに噛み葉の煎汁は疝痛に
 内用、加里多く利尿にも用ひらる、葉はタムシ、ライ病、熱病等に罌布
 (若葉は食用)



Callicarpa longifolia LAM

ナガバムラサキ (クマツヅラ科)

地方名 タムパン・ブシ (馬)
 産地 マライ群島、濠洲
 性狀用途 灌木、莖は褐毛、花紫、果白、葉の煎汁は
 疝痛に内用、根の煎汁は微毒、下痢に内用、葉は有熱
 時に體に琶布す、マライの琶布薬の主なるものの一つ



Callicarpa tomentosa MURR.
= *C. arborea* L.

オオケムラサキ (クマツヅラ科)

地方名	アンボン・アンボン・ブキツト (馬)
産地	インド、マライ、スマトラ
性状用途	喬木、莖葉柄に褐毛あり葉は厚く裏面粉白
果赤紫色、	葉は碎いて傷に琶布し葉の搾汁は胃痛に内
用す	



Vitex
pubescens
VAHL

koteky

ルバンニンジンボク (クマツヅラ科)

地方名 ルバン (馬)
産地 マライ群島、南支
性状用途 喬木、花は白、唇弁のみ紫、樹皮の煎汁は
胃痛に内用、葉は有熱時及び外傷に芭布



Vitex trifolia L

わたなげ

ナンヨウハマゴウ (クマツヅラ科)

地方名 ルングンデイ (馬)

産地 熱帯一般

性狀用途 海岸の砂地を匍ふ灌木、花紫、葉裏粉白
 ビネン及びフンフエンを含みユーカリの香あり葉を各
 種の病に嘔布す、葉及根の煎汁は解熱、利尿、整腸等
 に内用、葉の煎汁は又薬湯として浴びる、葉の粉末を
 ニンニク、ウコン、コセウと共に丸薬として結核に服
 用、葉は又除虫の効あり蚊取として燻す



ヤツデアサガホ (ヒルガホ科)

地方名 クレデ・ウタン (馬)
 産地 東洋熱帯各地
 性狀用途 特に海岸に多い蔓性草本、花は紅紫色、種子に褐毛あり根は落状で苦くヤラバ根に代用し下劑となる、又民間薬として脾臓の病、月経閉止に用ひる



*Tylophora
asthmatica*

WIGHT & ARN

わたりば

チロホフ (ガガイモ科)

地方名 シムブカン (馬)

産地 インド、マライ

性狀用途 蔓草、海岸砂地、チロフォリン及びチロフ
オリニンなるアルカロイドを含み根及び葉は吐根に代
用され吐劑、下劑とし又赤痢、喘息に用ひられる



*Calotropis
gigantea R.Br.*

わたなべ

カロトロピス (ガガイモ科)

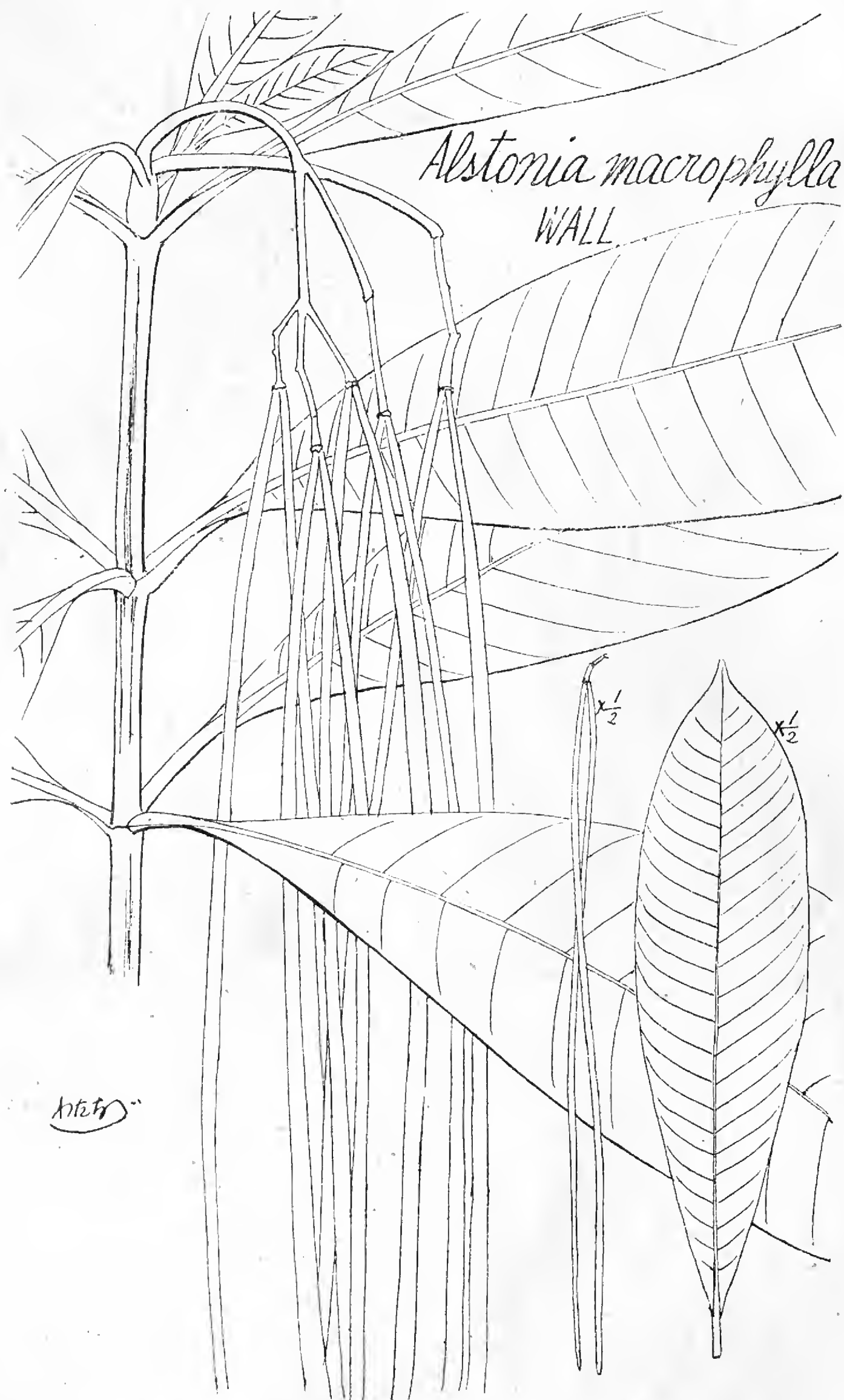
地方名 ルンベガ(馬)
 産地 インド、マライ群島
 性状用途 海岸に多い灌木、高さ十尺葉は短軟毛を被りやや白色に見える、花は白色種と淡紫色種とあり乳液を多量に含む、根はマダルアルバン、ウクンダリン、アクンダリンを含みマダリ根と稱し蛇咬に用る、乳液はマダルゴムと稱し外傷、皮膚病、齒痛等に外用する



Alstonia scholaris
R. BR.

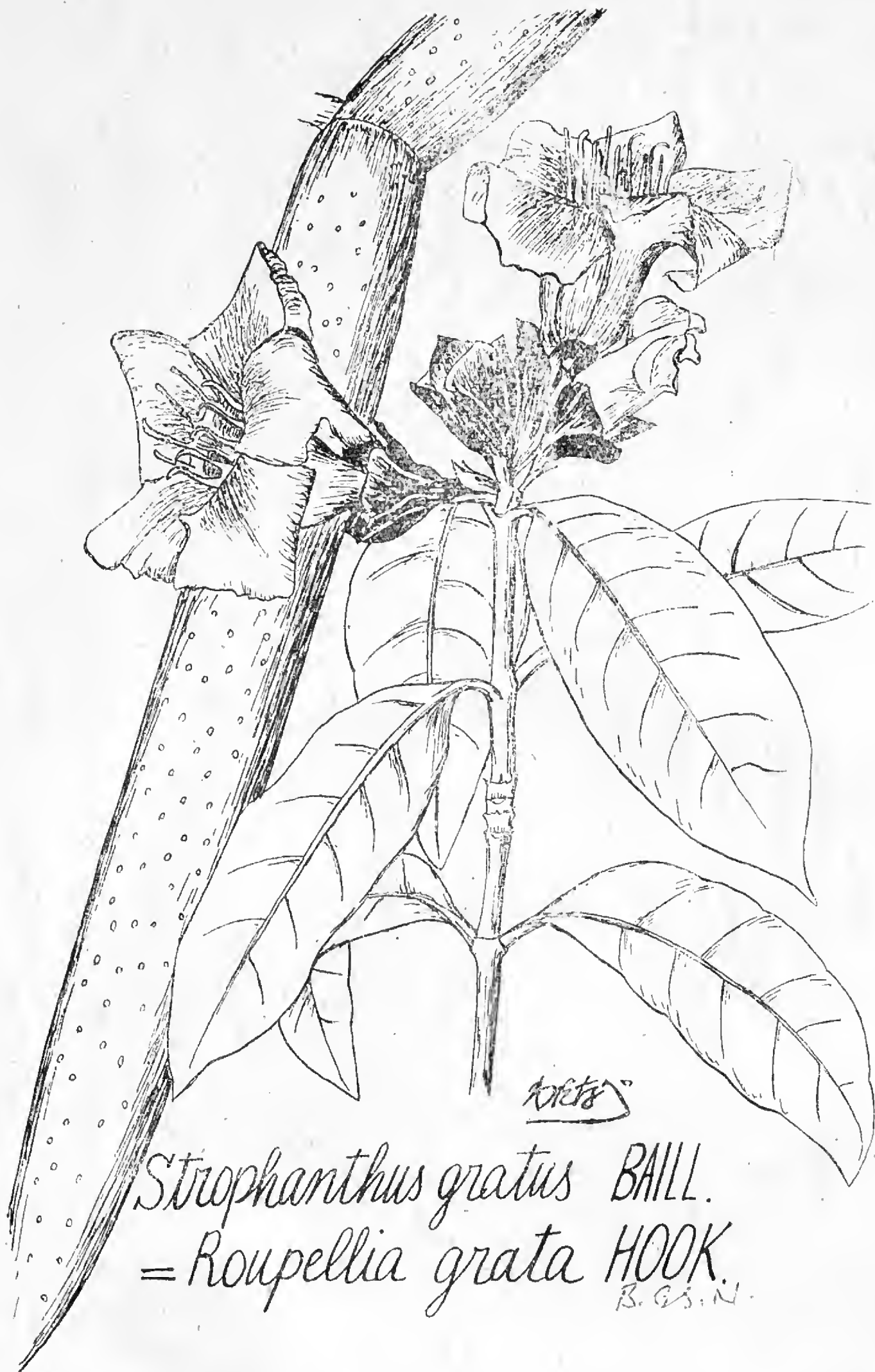
ヂタノキ (キョウチクトウ科)

地方名 プライ (馬)
 産地 インド、マライより濠洲迄
 性狀用途 喬木。幹は真直で滑、果は二叉し、多数垂下してササゲの如し、樹皮はヂタミン、エキタミン、アルストニン、ポーピリン等を含み煎汁は解熱、驅虫の効あり、熱病、マラリヤ、赤痢、糖尿病等にも内用せらる



オオバヂタノキ (キョウチクトウ科)

地方名 プライ・ブキツト (馬)
 産地 マライ群島、ニューギニア
 性状用途 喬木、葉は長さ一尺上面濃綠色光澤あり中
 肋は白、果は長さ一尺二又してササゲの如く垂下、材
 は苦し、ヂタノキ同様薬用とする



Strophanthus gratus BAILL.
 = *Roupellia grata* HOOK.
 B.G.S.N.

ストロファン투스・グラツス (キョウチクトウ科)

地方名 クリームフルーツ (英)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産アフリカ)
 性狀用途 観賞用半蔓性灌木、花は淡紅色、芳香、萼は濃紫紅色、莖は暗紫色、人工交配により二又の果を生ず全株ストロファンチン、コリン、トリゴネリンを含み種子は其含量特に多く利尿劑及び強心劑を作る原料とする



ストロファンthus・ヒスピズス (キョウチクトウ科)

地方名 なし

産地 熱帯 (栽培) (原産アフリカ)

性状用途 蔓性灌木、莖は紫色花は黄色各辨の先は三寸位の紐となり垂下す、角状の果を生じ種子にストロファンチンを含み之より強心剤を作る、マライでも容易に果を生ずる點はストロファンthus・グラトスより優秀なり

*Strophanthus
dichotomus DC.*

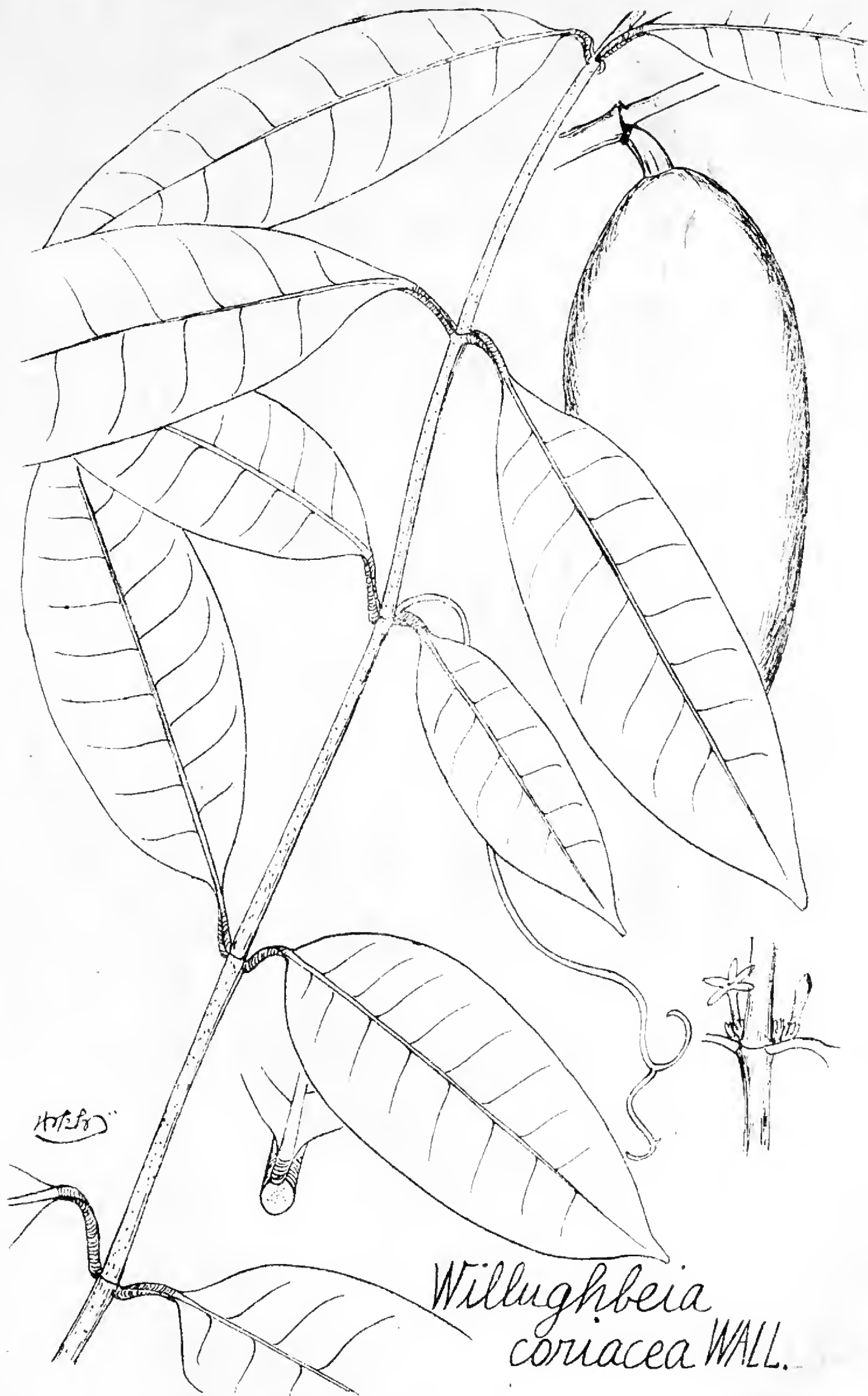


ストロファンクス・デイコトムス (キョウチクトウ科)
 地方名 タンド・ケルボウ (馬) タンドタンド (馬)
 産地 インド、マライ、ジャワ
 性状用途 蔓性灌木、葉はコブシの如く莖は紫黒色、
 托葉は短針形で葉腋に折込んで居る、花は白、辨端延
 長部のみ紫色、果は長さ一尺、ストロファンチンの含
 有不明なるもマライ地方に野生し且つ結實容易なる種
 なるを以てストロファンチン劑として研究すべきもの
 なり



コネツシ (キョウチクトウ科)

地方名 クルチ (ベンガル語)
 産地 ヒマラヤ、ビルマ、タイ、北マライ
 性狀用途 灌木、根元から多数の幹を叢生する。花は白色で花筒及び花梗は赤色、果は二叉角状で長さ五寸、樹皮及び種子はコネツシンを含み有毒であるがアメーバ赤痢に内服して有効、種子は又驅蟲及び收斂解熱等にも用ひられる



Willughbeia coriacea WALL.

チチカツラ (キョウチクトウ科)

地方名 アカール・グリ・イタム (馬)
 産地 マライ
 性状用途 蔓性灌木、乳液を多量に含み、民間薬にして他の同属植物と共に根をマラリヤに供なる黄疸様疾患に内用し、カブレ様疾患にゴムを嚔布する



わたあじ

Lochnera rosea REICHB.
= *Vinca rosea* L. Tori Ogura

ニチニチサウ (キョウチクトウ科)

地方名 タイ・アヤム (馬)
 産地 熱帯一般(野化)(原産アメリカ)
 性狀用途 花は白と赤とあり、全草ヂキタリン類似物質を含み、糖尿病に効あり



ジャワセンブリ (リンドウ科)

地方名 チレッタ (爪)
産地 ジャワ、スマトラ
性狀用途 高地(二千米)に産する草本、日本のセンブリに似て大、健胃苦味劑として用ひる



Swertia chirata BUCH-HAM

チレッタセンブリ (リンドウ科)

地方名 チレタ(インド)
 産地 インド
 性状用途 高地(二千米)に産する草本であるが乾品としてマライでも販賣する、高さ三尺直立、花は紅色、全株チラチンを含み苦く、健胃苦味劑とする

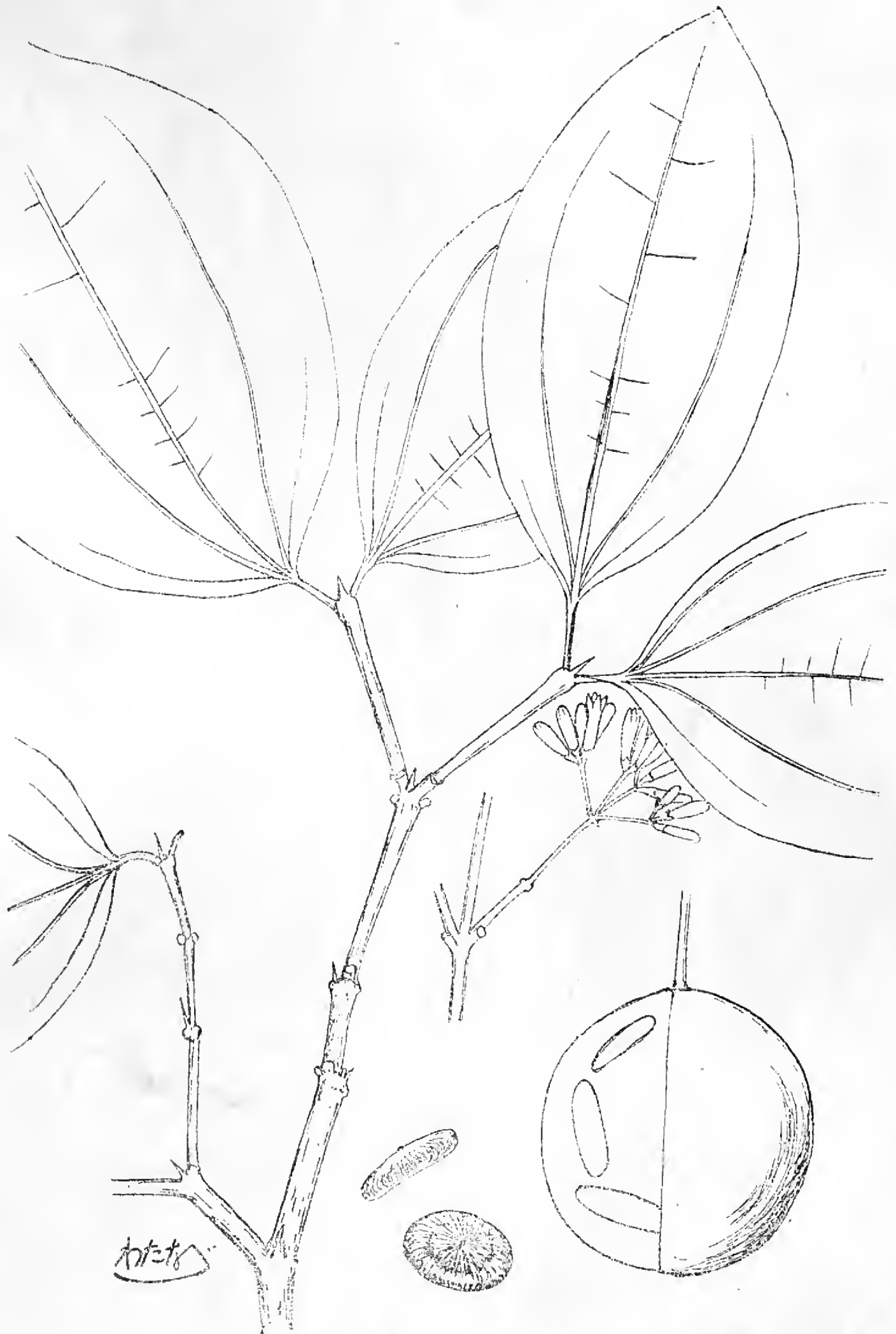
17.13.20



Eucostemma littorales Bl.

ハマセンブリ (リンドウ科)

地方名 チョタ・チラヤタ(ヒンザー)
 産地 インド、ビルマ、タイ、佛印
 性狀用途 草本、海岸に多し全草苦味強く健胃苦味劑
 として用ひらる



Strychnos nux-vomica L.

マ チ ン (マチン科)

地方名 イポアカール (馬)
 産地 インド、タイ、インドシナ
 性狀用途 小喬木、種子は馬錢と云ひ、ストリキニン及びブルシンを含み、有毒で殺鼠殺虫劑となる、硝酸ストリキニーネ製造の原料、果肉、葉、樹皮、材にも少量のストリキニンを含む

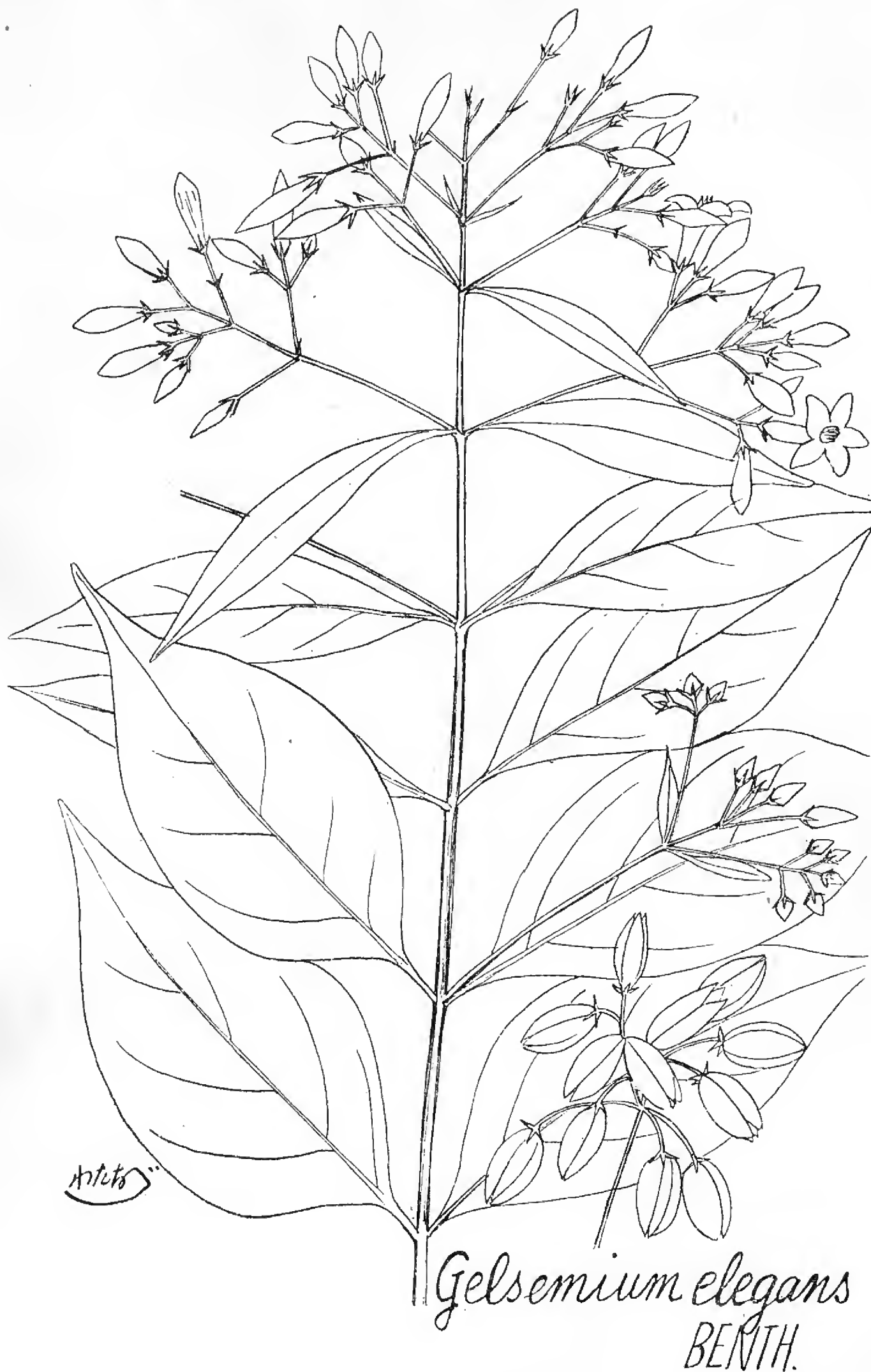
13/23

Strychnos ignatii
BERG.



タカラマメ：（マチン科）

地方名 呂宋果、寶豆、イグナチウス・ビーン
 産地 フイリツピン、ボルネオ
 性狀用途 喬木、種子にストリキニン及びブルチンを
 含み漢方で興奮、解毒（蛇蝎）驅虫、マラリヤに用ひ
 る、歐米でも之をエキスとして強壯興奮藥とする



コマンチヨウ (マチン科)

地方名 胡蔓蕈、胡滿腸 (支)
 産地 南支、佛印
 性狀用途 根にフマニン、コウミン、コウミニン等を含み、神経痛に用ひられる

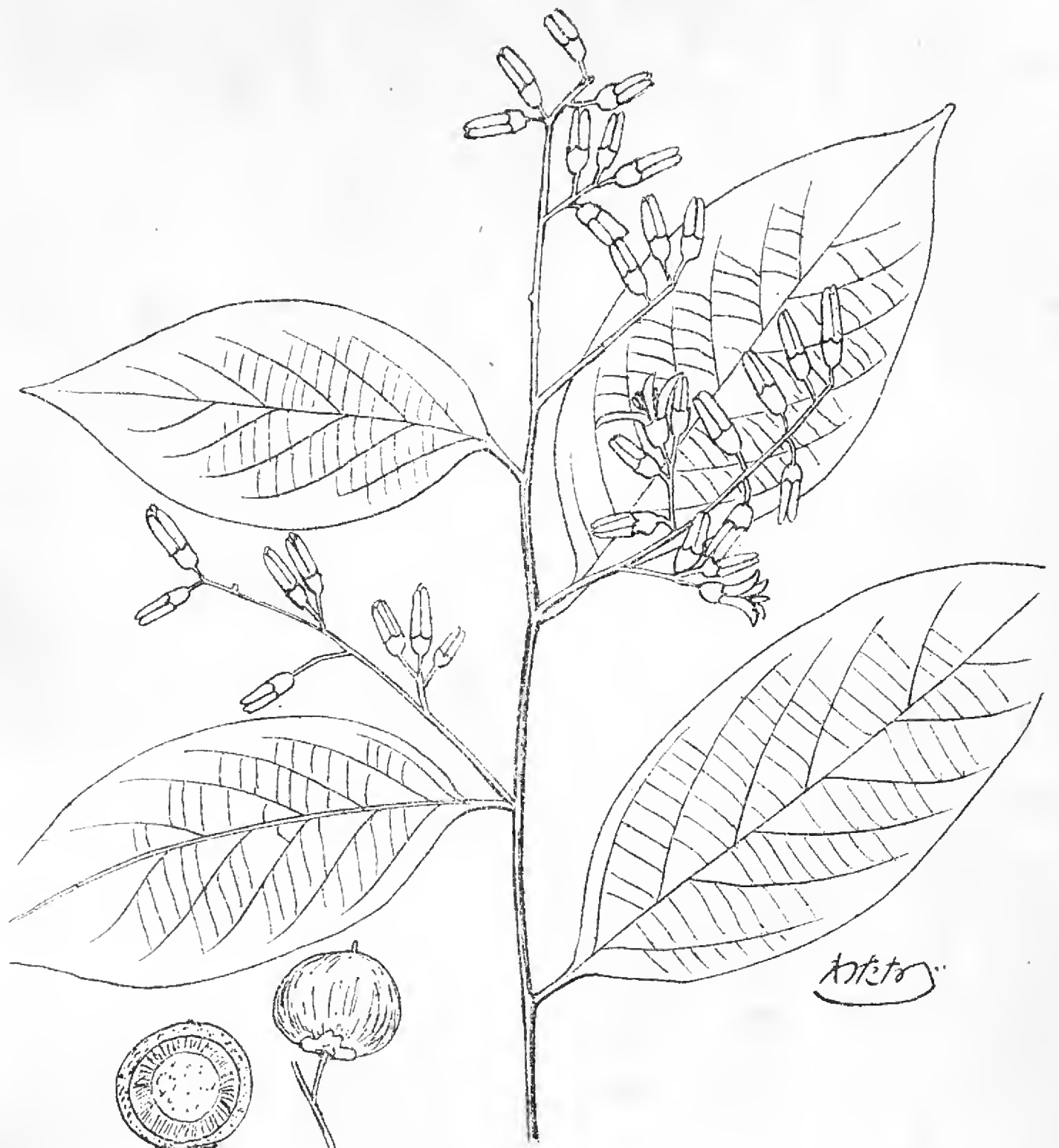
13/24



Fagraea racemosa JACK.

ムンプレー (マチン科)

地方名 ムンプレー (馬)
 産地 マライ
 性狀用途 大灌木、花肉色、根の煎汁は鎮咳に、葉の煎汁は熱病者の浴用とする



Styrax benzoin DRYAND.
(Keruingan)

スマトラアンソクコウ (エゴノキ科)

地方名 クムンヤン(馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 喬木、幹を傷付けて採る樹脂はスマトラ安息香にして安息香酸及び桂皮酸を含み、附香料、安息香酸原料となる、但市販品は偽物混合量多く薬用として無価値(赤褐色の塊で白顆粒を混ざるもので薫香料)

1135



Mimusa elengi
L.

わたあ

ミサキノハナ (アカテツ科)

地方名 ブンガ・タンジョン (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産インド、ビルマ)
 性状用途 低喬木、花白、萼褐毛、果橙色、葉は光澤
 花芳香、樹皮の煎汁は皮膚薬、解熱薬、下痢止に、根
 の浸液は鵝口瘡、咽喉炎に、若果は含嗽薬に、花は下
 痢止に用ひる



Plumbago zeylanica L

セイロンマツリ (イソマツ科)

地方名 チュラカ (馬)
 産地 アフリカ、インド、マライ群島
 性狀用途 草本、花白、根及び葉は峻下劑にして時に
 墮胎に用ひらる、葉は月經促進に内用、葉 (又は根)
 は外傷、皮膚病、リウマチに琶布する

13(26)



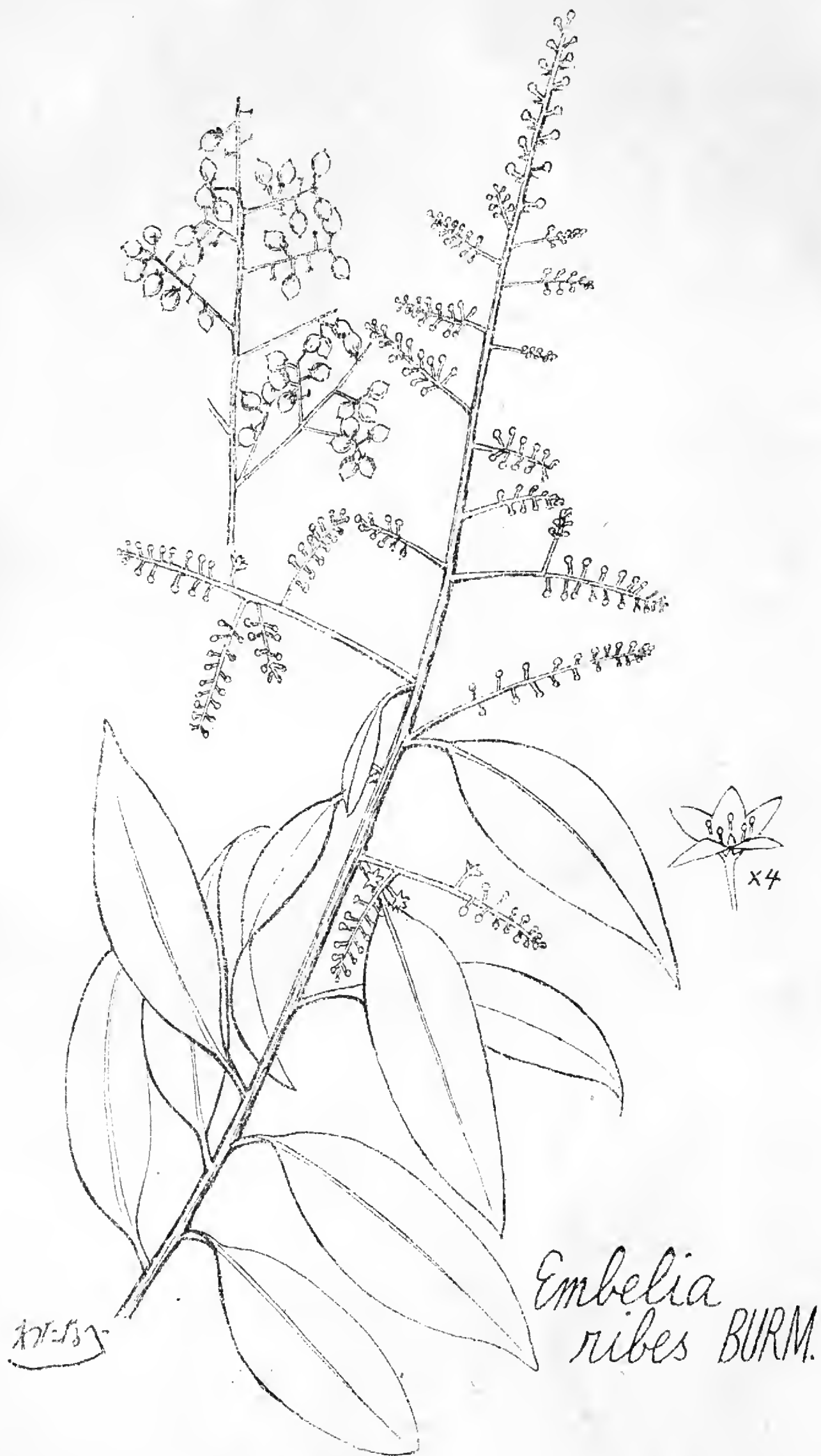
Plumbago indica L.
= *P. rosea* L.

インドマツリ (イソマツ科)

地方名 チュラカ・メラ (馬)

産地 東洋熱帯

性狀用途 草本、花赤、セイロンマツリより毒性強し
根は墮胎薬として内用或は外用する (但乾いた根は毒
性減少するを以て之を用ひる) 根は又發泡薬として脚
氣、リウマチ、腫脹等に外用する (切片とし又は碎き
て)



エンベリヤ (ヤブコウジ科)

地方名 アカール・スルル・クラング (馬)
 産地 インド、マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 蔓性灌木、莖紫黑色、葉はソヨゴの如し
 花白色、果はエンベリンなる黄色ヒノンを含み、
 除に用ふ、根は鎮咳、下痢止に用ふ (若葉、若果は食
 用可なり)



Ardisia crispata A DC.
= *A. crenata* ROXB.

マンリョウ (ヤブコウジ科)

地方名 マタ・ブランド (馬)
 産地 東亞全域
 性狀用途 灌木、花は桃色、葉の搾汁は介癬、耳痛に
 外用、根の搾汁は解熱、下痢止、咳止に内用

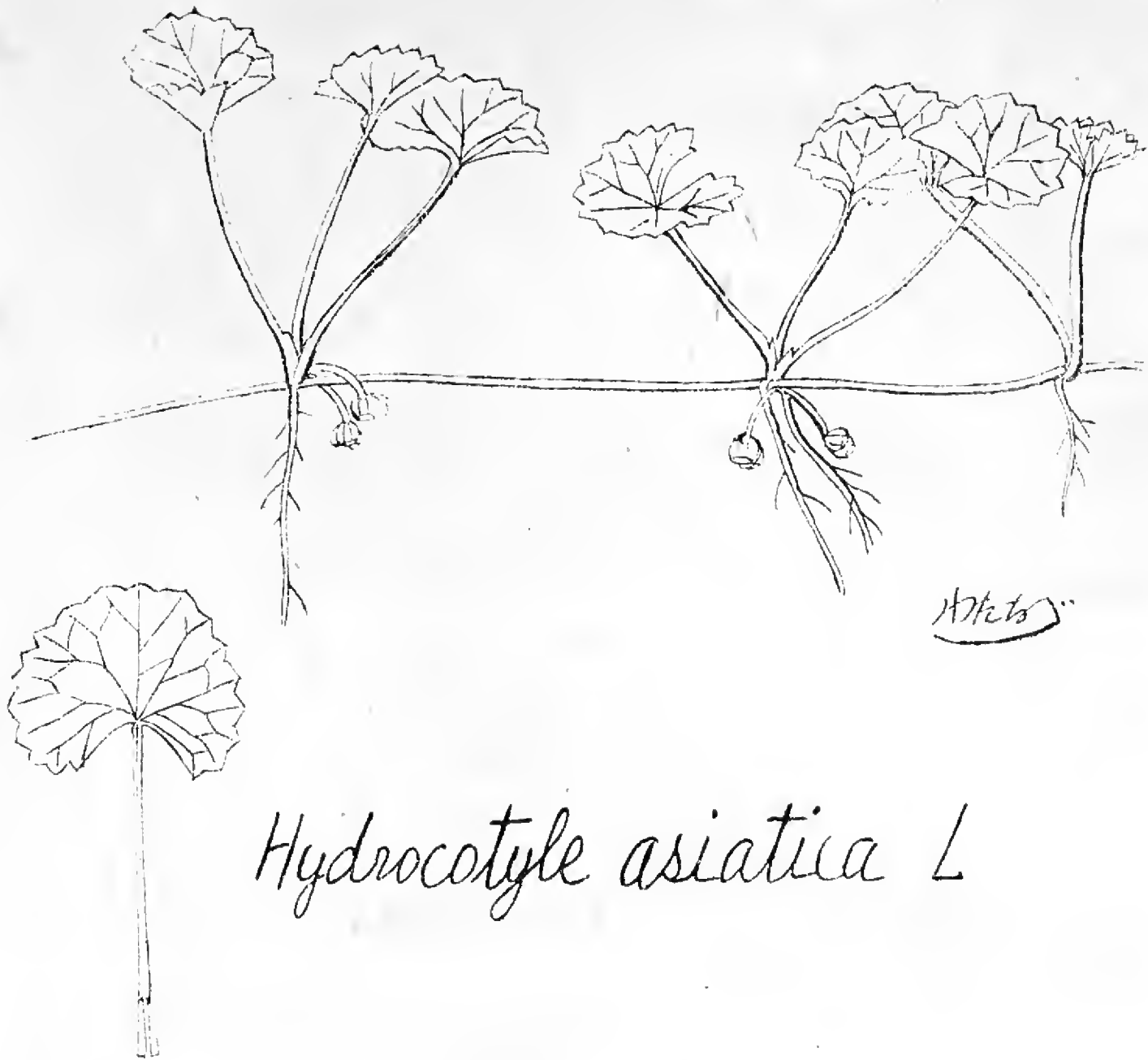


Ardisia littoralis ANDR

ウミベマンリヨウ (ヤブコウジ科)

地方名 ルンプナイ (馬)
 産地 インド、マライ群島、南支
 性狀用途 海岸の沼地にある灌木、分岐性では葉ミヤマシキミの如く、花は紅紫色、果は暗赤色、根、葉の煎汁は心臓病に用ひらる

12/1/12
70



Hydrocotyle asiatica L

ツボクサ (繖形科)

地方名 ブガガ (馬)

産地 温熱帯

性狀用途 匍匐雑草、全草の搾汁は氣管支炎、喘息、赤痢、腎臓病、水腫等に内用、葉を外傷に嚔布す

Melastoma malabathricum L.
(Melastomaceae).



マラバルノボタン (ノボタン科)

地方名 スンヅト (馬)

産地 インド、マライ群島

性狀用途 灌木、到る所にあり花紫紅色、全株タンニンを含み葉、根は下痢止、根の浸出液は齒痛に用ひる (若葉、果共に食用可)

13129



Eugenia cumini DRUCE (Myrtaceae)

ジャンブル (テンニクワ科)

地方名 クリアン・アチャイ (馬)
 産地 インド、マライ群島
 性状用途 喬木、果は紫黒色食用、種子はアンチメリ
 ン、ジャンブロール等を含み糖尿病に、樹皮はタンニ
 ンを含み赤痢に用ひられる



Eugenia aromatica KUNTZE
(Myrtaceae)

チヨウジ(丁字) (テンニクワ科)

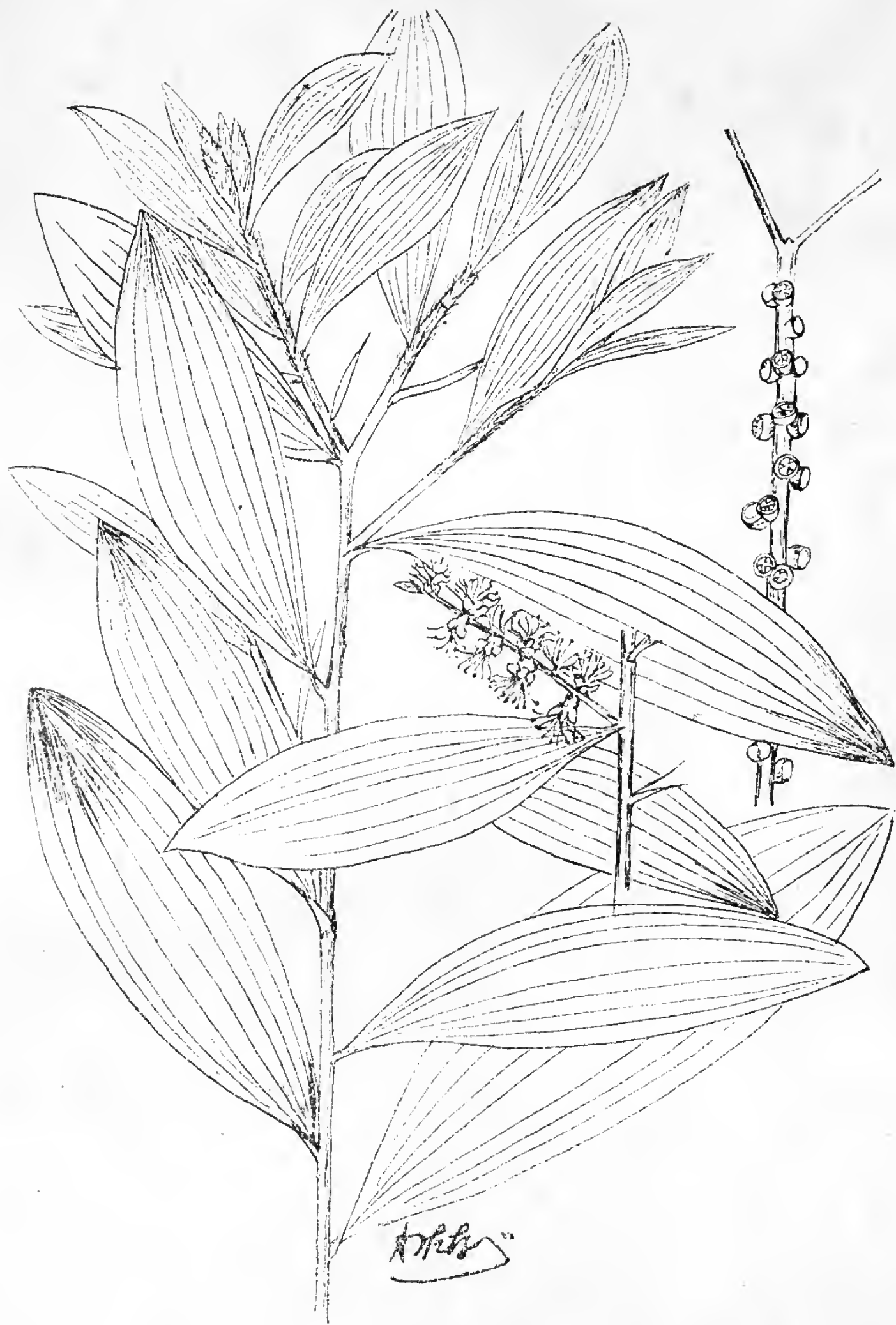
地方名 チンケイ(馬)
 産地 東洋の熱帯(栽培)(原産モルツカ)
 性状用途 小喬木高さ十五尺、葉は光澤強く、芳香、
 花は長く淡緑色の花弁は開花と共に脱落する、萼は赤
 褐色、蕾から丁字油を採る、果及び樹皮を疝痛、食慾
 増進に内用、ペナン島の産を最優品とする

13/40



バンジロウ (テンニクワ科)

地方名 ジャンブバツ (馬)
 産地 熱帯各地(半野生) (原産アメリカ)
 性狀用途 灌木、高さ一丈葉は裏面に短灰白毛あり、
 果はザクロ状で食用、葉、根、果は下痢止及び驅虫に、
 樹皮は胎盤産出に用ひられる



Melaleuca leucadendron L.

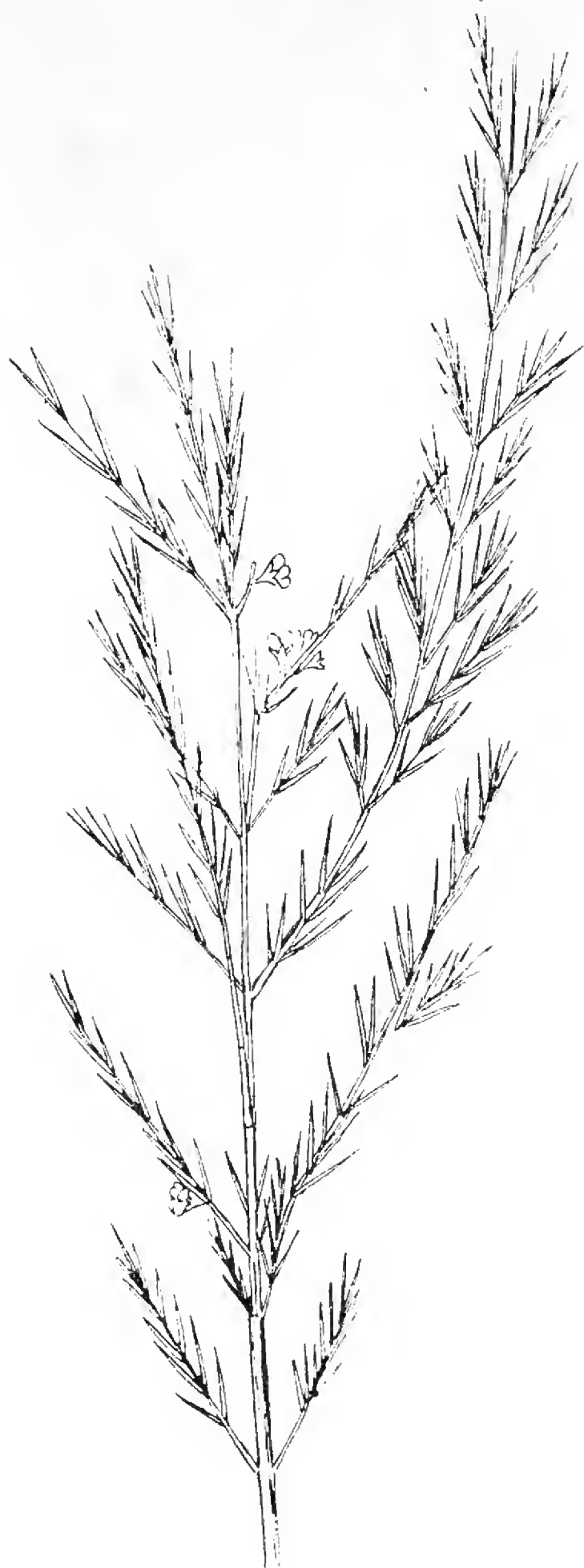
カヤプテ (テンニクワ科)

地方名 カユプテ (馬)

産地 マライ群島

性狀用途 喬木、濕地に多し樹皮はシラカバの如く白し、葉は硬く表裏なし、若葉は絹毛を被る、葉はシネオールを含み芳香、葉を蒸溜して採るカヤプテ油は健胃芳香薬とし或は鎮痛薬としてリマウマチス等に外用する

13/100



Herb.

Baeckea frutescens L.

ビヤクシンモドキ (テンニクワ科)

地方名 チュチュ・アタブ (馬)

産地 マライ群島

性状用途 灌木、山頂、海岸等の乾地に生じ葉は高熱患者の茶に用ひる



シクンシ (シクンシ科)

地方名 ダニ (馬)
 産地 東南アジア、馬來群島、(栽培多し)
 性狀用途 蔓狀灌木、花は赤色、長筒部あり、垂下、
 果は使君子と云ひ五角紡錘形、但マライでは結實困難
 種子、葉、根共に蛔虫驅除に用ひる

Terminalia chebula
RETZ



ミロ balan ノキ (訶子) (シクンシ科)

地方名 ケダカイ (馬)

産地 インド、ビルマ

性状用途、落葉喬木、葉裏粉白、果はタンニンを含み
(20—40%) ミロ balan と稱し收斂止瀉止血に用ひられる



Rhizophora mucronata LAM
(Rhizophoraceae)

オオバヒルギ (ヒルギ科)

地方名 バカオ・ブルカブ (馬)
 産地 熱帯各地
 性狀用途 海岸の紅樹林をなし九十尺に達する喬木、
 葉はインドゴムの如く果は樹上で發根する、樹皮のタ
 ンニンをカツチとし鞣皮用とし又下痢止とする

13143



フタゴヒルギ (ヒルギ科)

地方名 バカオ・アキ (馬)

産地 インド洋及西太平洋岸

性狀用途 紅樹林の一要素、高さ六十尺に達する喬木、マングローブ中海面より奥地に多い、若芽は赤く、葉は厚く裏面に黒點あり花は黄赤色で二個接着す、樹皮はタンニン原料、下痢止に用ひられる



ベニガクヒルギ (ヒルギ科)

地方名 ツム (馬) ツムブス (馬)
 産地 インド洋岸、太平洋岸
 性状用途 紅樹林の一要素、高さ十丈以上に達す、葉は厚く平滑で脈はやや不明、萼は外面赤色、樹皮は他のヒルギ類と同じく、タンニンを含み下痢止、鞣皮用等に用ひらる

13/4



シコウクワ(指紅花) (ミソハギ科)

地方名 イナイ(馬) ヘンナ(馬)
 産地 熱帯各地(栽培)(原産インド)
 性状用途 屋敷にある灌木、葉小、枝に刺あり花は白
 と紅とあり葉にラウソン及びヘンノタンニン酸を含み
 葉は胃痛、リウマチ、皮膚病に、根は收斂、利尿に用
 ふ(葉で指の爪を染るので此名あり)



Lagerstroemia speciosa PERS.
= *L. flos-reginae* RETZ

オオバナサルスベリ (ミソハギ科)

地方名 ボンゴール・ラヤ (馬)
 産地 インド、マライ群島、濠洲(又栽培す)
 性狀用途 喬木、街路樹ともする、花は淡紫色で美、
 樹皮はタンニンを含み、其の浸出液は下痢止とする、
 種子は麻醉性ありと思はる

13/45



*Aquilaria
malaccensis* LAM.

マラツカチンコウ (ジンチヨウゲ科)

地方名 ガハル(馬) カユタバ(馬) カユカラス(馬)

産地 マライ、スマトラ

性狀用途 喬木、葉は滑で側脈の外に主脈に直角に走る細脈密布す、チンコウ屬の他種と同様古木の心材は樹脂多く焼けば芳香を發す、之を沈香或は伽羅と云ひ薰香料とし又鎮靜劑として奇應丸等の材料とする
(樹皮は製紙原料)

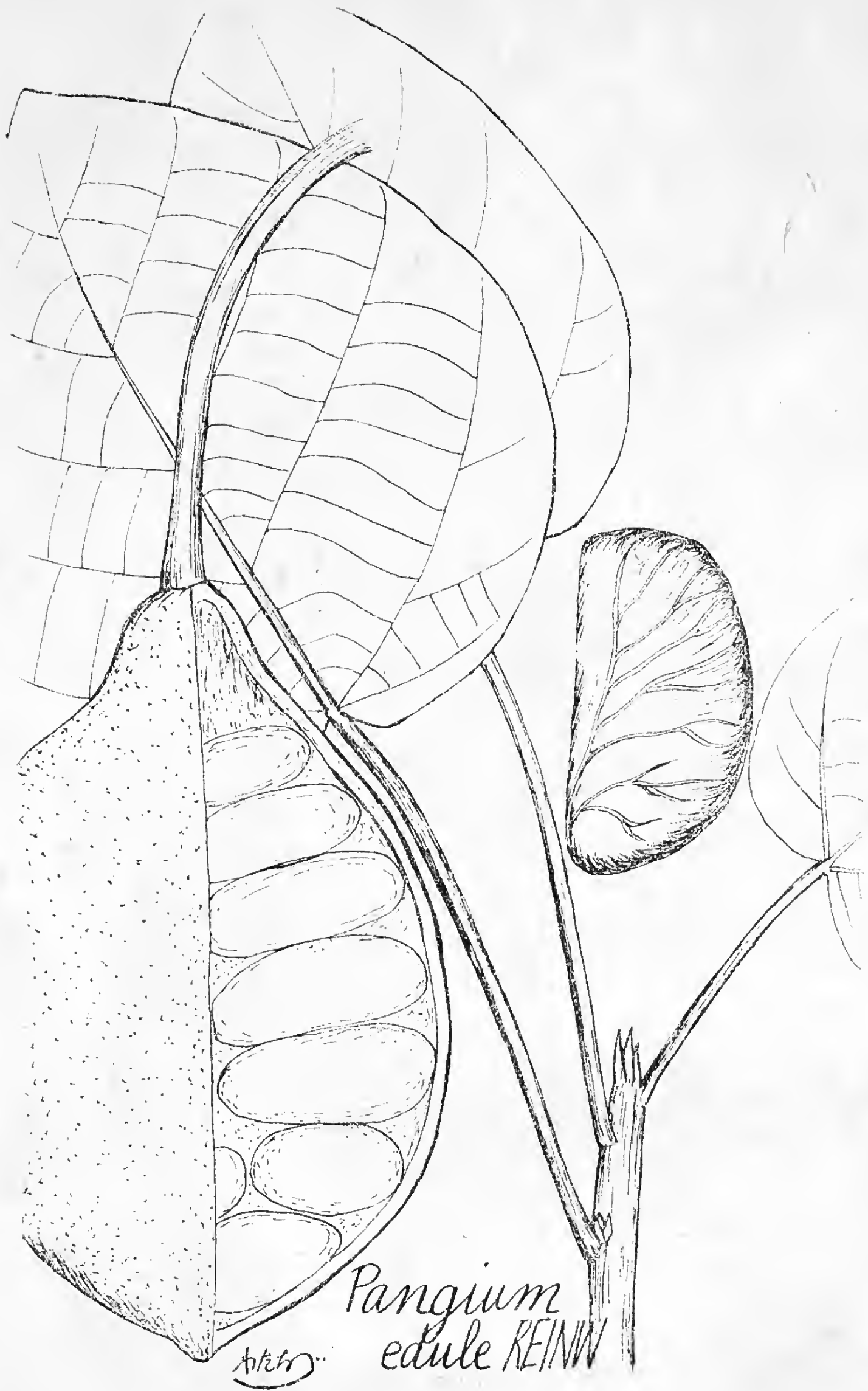


Flacourtia jangomas RAEUSCH
(Flacourtiaceae)

ルカムモモ (イイギリ科)

地方名 ルカム(馬)
 産地 インド、マライ群島(栽培)(原産不明)
 性状用途 灌木、多刺、葉は光澤あり、果赤熟可食、
 根、葉、樹皮はタンニンを含み煎汁、搾汁は下痢、外
 傷、皮膚病、咽喉痛等に外用又は含み薬とする

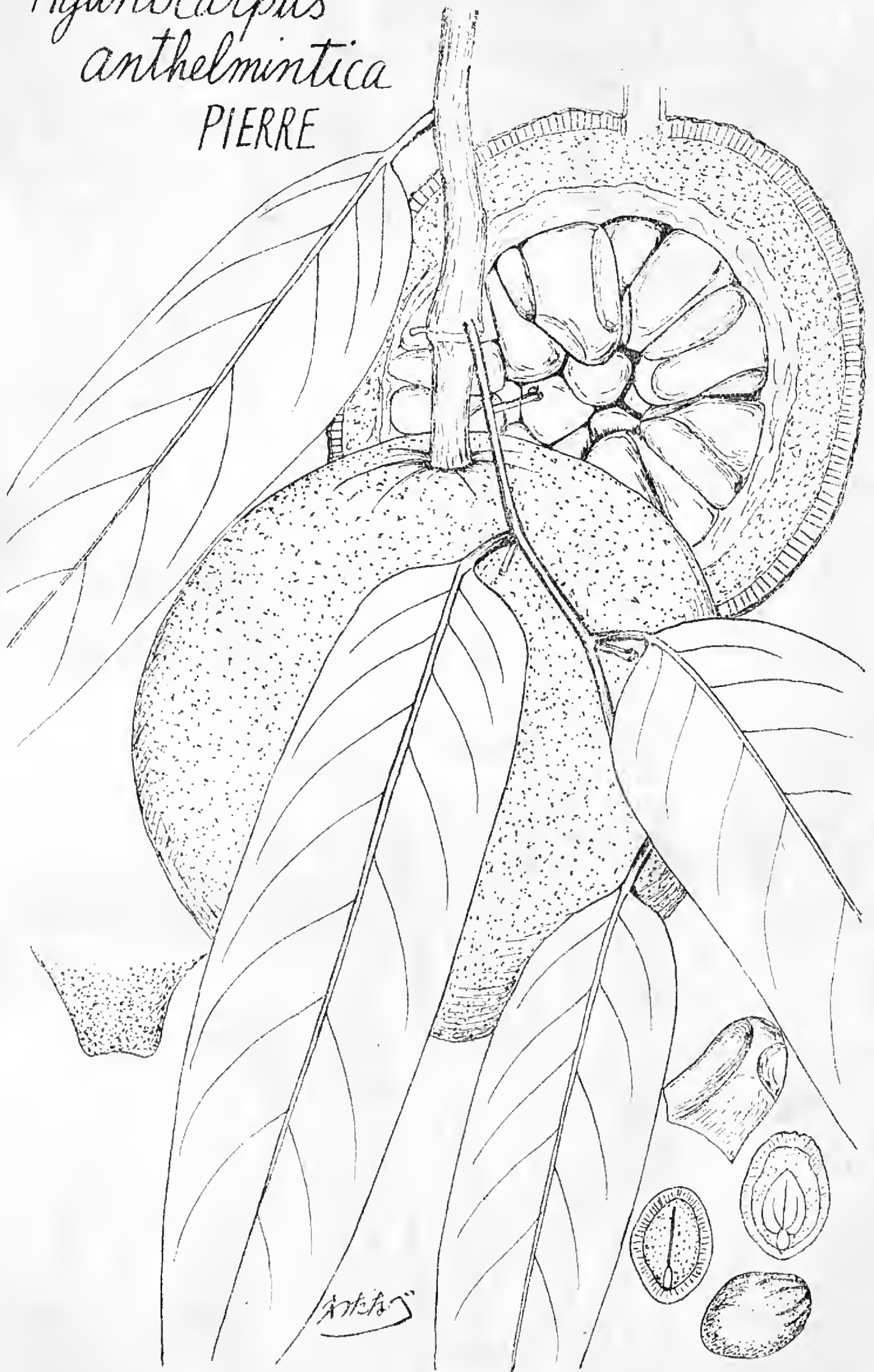
13/46



クパヤン (イイギリ科)

地方名 クパヤン(馬)
 産地 マライ群島
 性状用途 喬木、巨大な果を生ず、種子は脂肪を有し
 食用にする事があるがギノガルデンの分解により青酸
 を含む故有毒、新しく砕いた種子を腫物に嚔布する

*Hydnocarpus
anthelmintica*
PIERRE

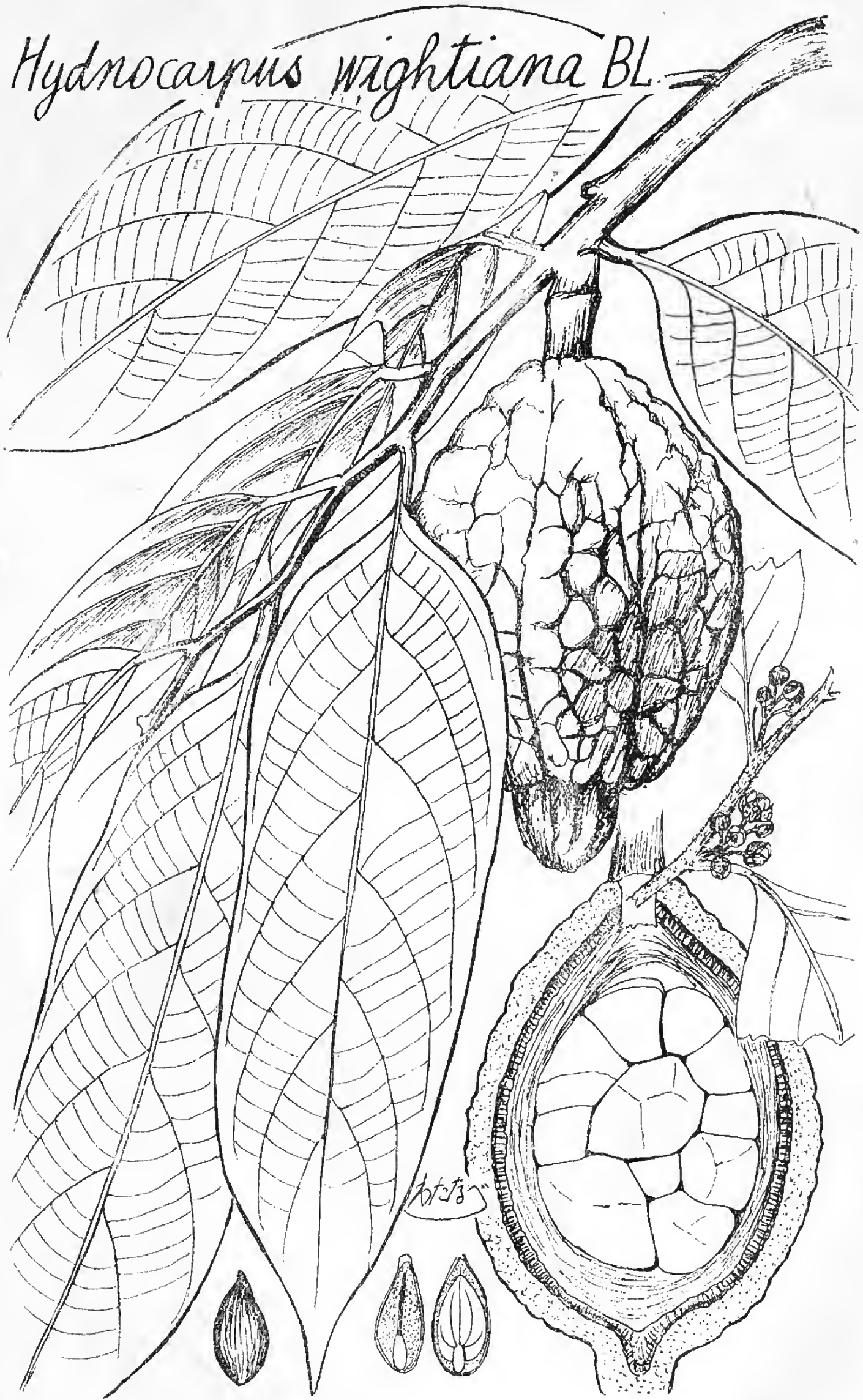


ダイフウシ (イイギリ科)(ベニノキ科)

地方名 クラバオ(泰)
産地 ビルマ、タイ、インドシナ
性状用途 中喬木、果は褐色、径四寸、種子は白肉を被り本體は褐色、
種子に大風子油(シヤウルムグラ酸とヒドノカルプス酸のグリセリンエ
ステル)を含み、癩病、皮膚病、驅虫に用ひる

13/47

Hydnocarpus wightiana BL.

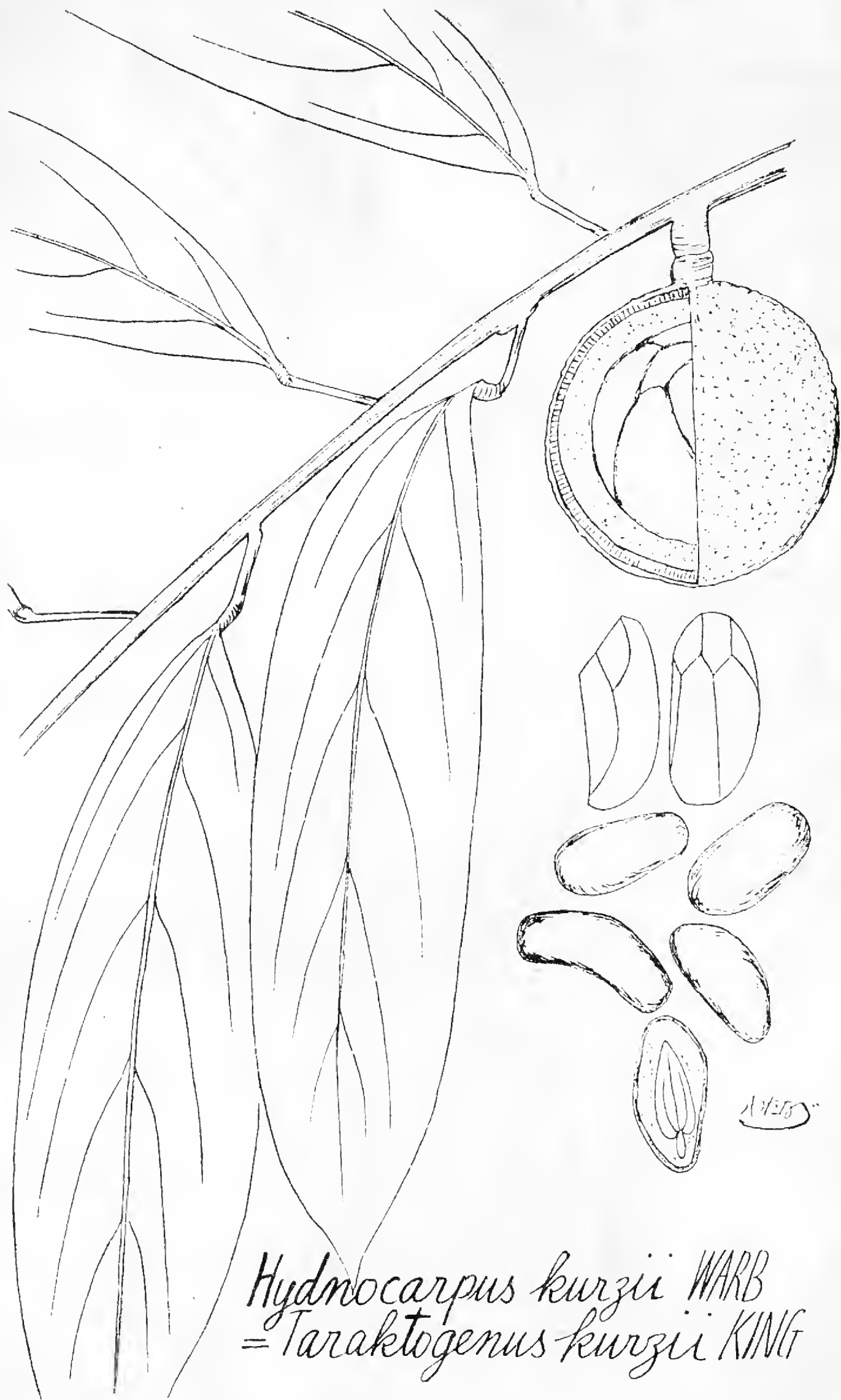


ガマハダダイフウシ (イイギリ科)(ペニノキ科)

地方名 なし

産地 インド

性状用途 中喬木、果は直径二寸、褐色、表面ガマの
膚の如き粗粒あり先端に突起あり、種子に縦條あり其
の油は大風子油として用ひられる



Hydnocarpus kurzii WARB
 = *Taraktogenus kurzii* KING

クルチダイフウシ (イイギリ科)(ペニノキ科)

地方名 カラウ (ビルマ)
 産地 アツサム、ビルマ、タイ
 性状用途 小喬木、果は直径三寸、球形、褐色、種子
 はチャウルムグラと云ひダイフウシに比し殻が薄い、
 大風子油を含み多く歐米で醫藥に用ひられる

13
143



*Calophyllum
inophyllum* L.

テリハボク (オトギリサウ科)

地方名 プナガ・ラウ (馬)

産地 インド洋、太平洋の熱帯海岸

性狀用途 海岸の喬木、葉は光澤あり中肋は黄色、種子はオレイン、ステアリン、パルミチン等の油を含みリウマチス及び癩病に用ひられる (材はボルネオマホガニーと云ひ美なり)



Tetracera indica MERR (Dilleniaceae)
 = *T. assa* DC

ヤスリバカツラ (サルナシ科)

地方名 ムンブラス (馬)
 産地 タイ、佛印、マライ
 性狀用途 蔓性灌木、花白、雄蕊赤、葉は粗剛にして
 カミヤスリに用ひらる、根及び葉を碎きて皮膚のカユ
 ミ止に用ひる

3/29

Theobroma cacao L



カカオ (アオギリ科)

地方名 ポコ・シヨコラー (馬)
産地 熱帯各地(栽培) (原産中南米)
性狀用途 小喬木高さ三丈、果は長さ六寸、ニガウリの如く、幹及び小枝に着生(果皮滑硬で種子紫は南米系フロラステロ、果皮粗軟で種子白は中米系クリオロ)種子はテオブロミン、カフェイン、脂肪を有し興奮劑としてチョコレート及びカカオ脂を作る



Cola nitida ACHEV

コ ラ (アオギリ科)

地方名 コラナット (英)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産アフリカ)
 性狀用途 小喬木高さ二丈、横に枝を張り、五片に分岐した大形の果(徑一尺)を生じ中に多数の種子あり、種子は長さ一寸多く桃色にしてカフェイン及びコラニンを含み興奮劑として嚙む



Scaphium affine PIERRE

ダイカイシ (アオギリ科)

地方名 クンバン・スマンコ(馬) 大海子(支)
 産地 マライ、タイ、佛印
 性狀用途 喬木、葉は幼木は掌狀、老木は全縁、クスの葉の如き質で光澤あり、若莖及び葉柄は褐毛あり、果はアオギリ様のサヤで種子は長さ八分あり水中で粘液化し食用、民間では之を赤痢其他の下痢に内用す



ネヂトウガラシ (アオギリ科)

地方名 チヤバイ・リントール (馬)
 産地 インドよりジャワまで
 性状用途 灌木、高さ一丈、桑の如し、幹の皮は強く
 花は赤く萼は黄色、ネヂれた果を生ず、民間薬にして
 果を胃痛(特に小兒の)に内用、リウマチに外用す、又
 根及び樹皮も同様に用ひられる



ブラジルワタ (アフリ科)

地方名 カバス (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産南米)
 性狀用途 灌木、花黄、果は長く、綿手は種子から容易に離れる、種子は三塊に密着す、民間薬、根、葉は下痢止、解熱、催乳に内用、根は又利尿、月経促進の作用ありとされる(葉、果は食用可)



Sida rhombifolia L

キンゴジクワ (アフリ科)

地方名 スルグリ (馬)
 産地 熱帯各地
 性状用途 やや木性の灌木、花黄、民間薬にして葉根の煎汁は解熱又は緩下剤に用ひられる外、やや麻酔性あるらしく喉頭結核、リウマチにも用ひられる



マカシ

Hibiscus rosa-sinensis L
(Malvaceae)

ブツサウゲ (アフリ科)

地方名 ブンガ・ラヤ (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産支那?)
 性狀用途 灌木、花色花形種々、葉莖に粘液を含み、
 葉や根の煎汁は解熱に内用、腫物、眼疾に外用、葉の
 浸出液は又氣管支炎にも内用する



Grewia paniculata ROXB

ホザキウオトリギ (シナノキ科)

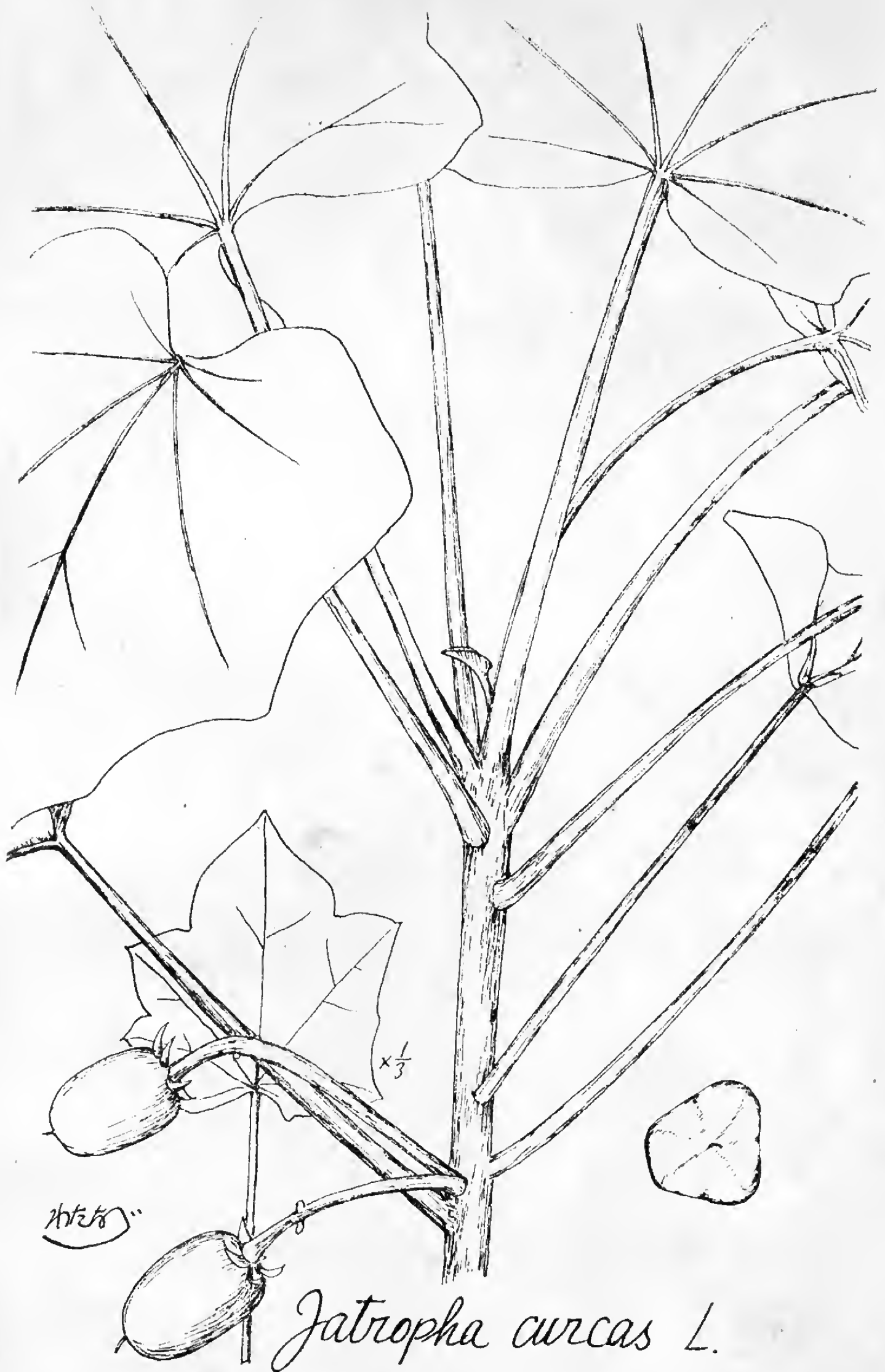
地方名 チュンヅライ (馬) チュヌライ (馬)
 産地 タイ、佛印、マライ群島
 性状用途 小喬木、花淡黄、莖、葉脈共に褐毛を被る
 民間薬にして根の煎汁を解熱に葉や樹皮の浸液は骨折
 に外用、葉の汁は赤痢、胃痛に内用



Mallotus philippinensis
MUELL-ARG.

クスノハガシワ (大戟科)

地方名 ランバイ、クチン(馬)
 産地 インド、マライ群島、濠洲、台湾
 性狀用途 大灌木、葉は少しく鋸齒あり裏面褐毛、果はエンドウ位で三個の半球體の合一からなり赤毛を有す、果表の毛をカマラと云ひロツトレリンを含み繭虫驅除に用ひる又染料となす



ナンヨウアブラギリ (大戟科)

地方名 ジヤラ・パガール (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産アメリカ)
 性状用途 よく垣根に作られる灌木、葉はイトマキ状で長柄 (インド人は此葉柄をハミガキヨウジに代用)
 種子はカーカス油、クルシンを含み有毒、其の油は峻下劑となる、莖汁は腫物、潰瘍に葉はカユミ止、潰瘍、リウマチ等に外用する



Aleurites moluccana WILLD

ククイノキ (大戟科)

地方名 ブア・クラス (馬)
 産地 マライ群島各地
 性状用途 喬木。葉は掌状或は卵形、花は淡黄でセン
 ダンの花の如き形、果はウメの果より大、核は堅く市
 に販賣す、樹皮はタンニンを含み、下痢、赤痢に收斂
 劑として用ひ葉は淋病に、種子はカンドルナツト油、
 青酸、有毒蛋白等を含むが下劑に用ひる



Croton tiglium L.

ハツ (巴豆) (大戟科)

地方名 チユンキヤン (馬)
 産地 ヒマラヤ、南支、マライ群島、ニューギニア
 性狀用途 灌木、高さ一丈、カクレミノ様の感あり花
 は緑で悪臭、種子は脂油、クロトノール(有毒)クロ
 チン(有毒)を含み、油は強力な下劑となる、又魚毒と
 しても用ひられる

13155



カラナシ (大戟科)

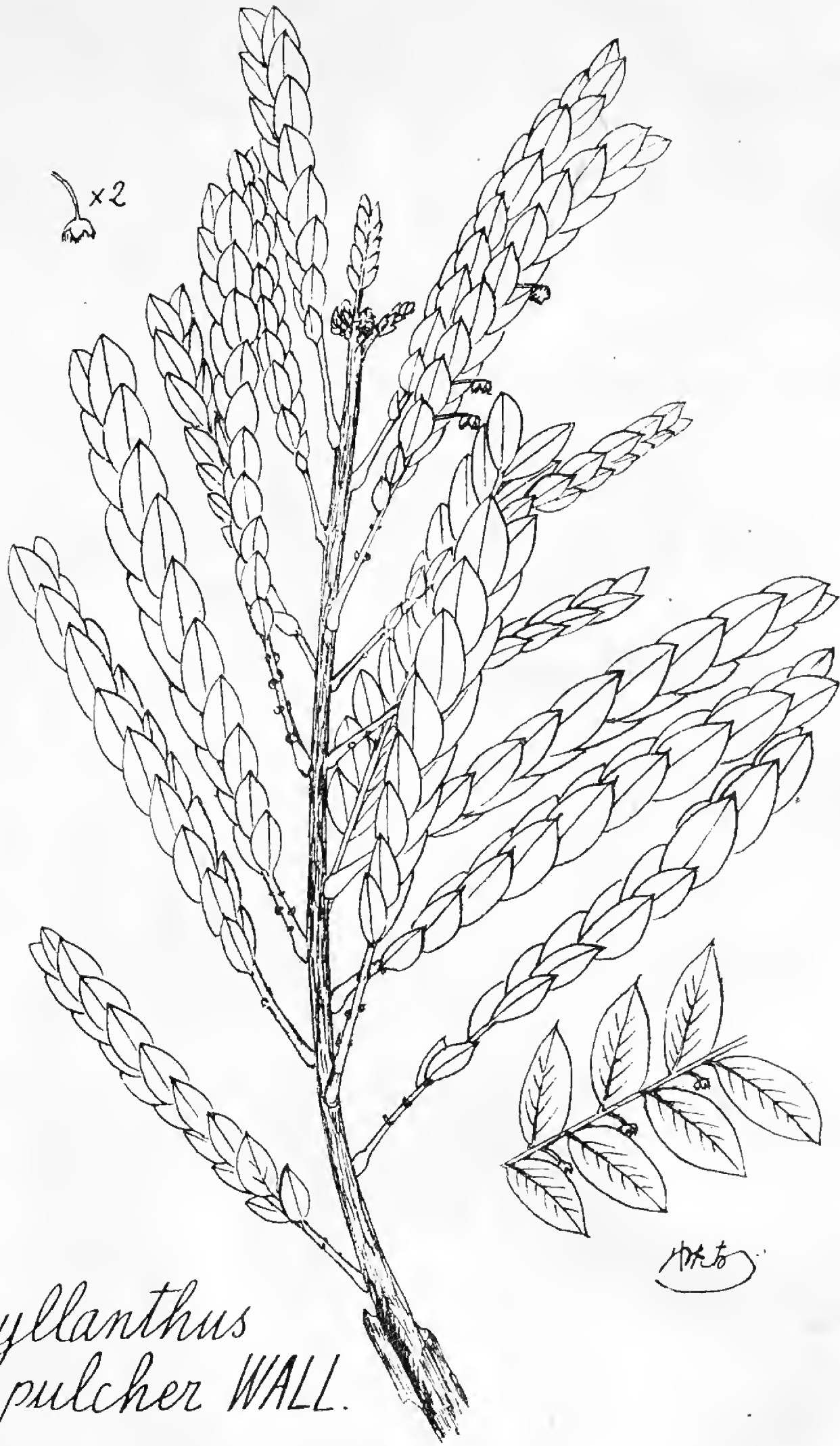
地方名 アカール・カラナシ (馬)
 産地 インド、タイ、マライ、ジャワ
 性状用途 草状灌木、高さ六尺、葉の基部に腺體あり
 根及び葉は峻下劑(要注意)葉は喘息及び外傷にも用ひ
 られる



キダチコミカンサウ (大戟科)

地方名 ヅコン・アナ (馬)
 産地 熱帯一般
 性状用途 乳液のある雑草、球状の果を葉列 下側に連ねる、他の近似種と同様、苦味質フィランチンを含み有毒なれ共廣く民間薬として腎臓病、淋病に内用、毒蛾其他による皮膚痛に外用

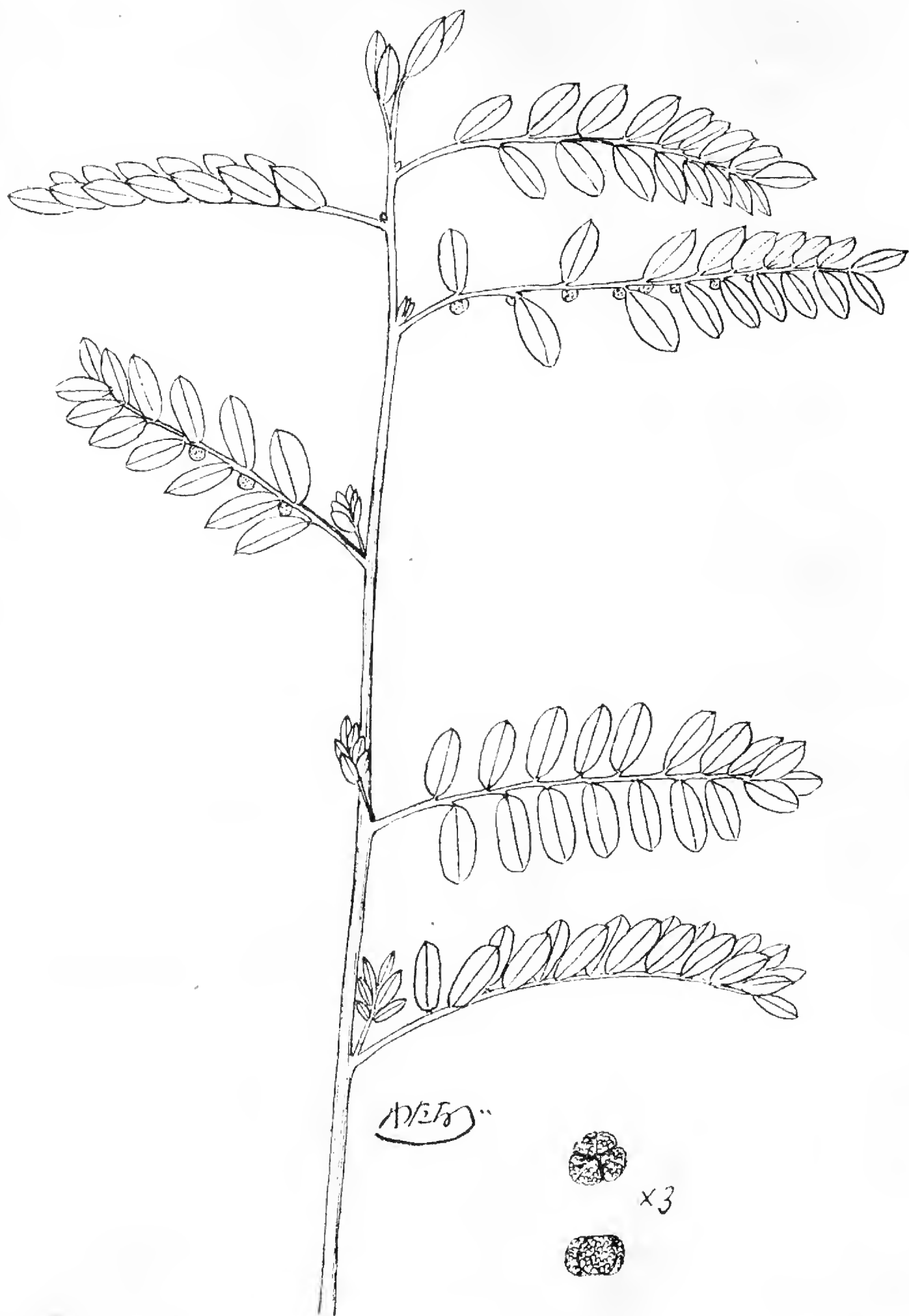
13/15/6



Phyllanthus pulcher WALL.

キダチオオミカンサウ (大戟科)

地方名 ナガブアナ (馬)
 産地 タイ、マライ、ジャワ
 性状用途 草状灌木、高さ二尺、分岐少なく莖は赤褐色、花は赤色で白毛を具へる、全株の煎汁を胃痛に内用し、葉は齒痛止の詰物に用ひる



Phyllanthus urinaria L (Dukung emak)

コミカンサウ (大戟科)

地方名 ツコン・アナ (馬)

産地 温熱帯

性状用途 雑草、白乳を出す、葉片數枚の汁をココナ
ト乳と混じ小兒の食慾増進に用ゐる、其他キダチコミカ
ンサウと同様に用ゐる



Phyllanthus reticulatus POIR

タイワンコバンノキ (大戟科)

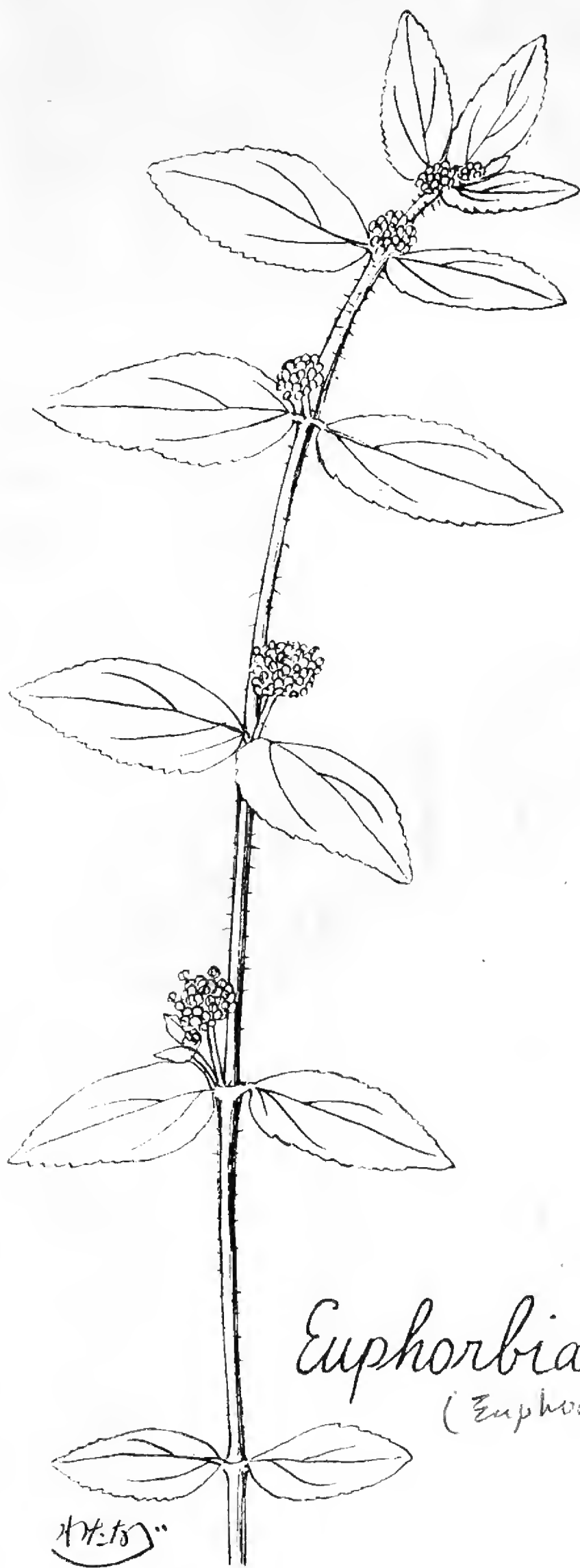
地方名 タムバル・ビジ (馬)
 産地 熱帯 (舊大陸)
 性狀用途 雑草、花紅、葉裏粉白、果は紫黒、全草煎汁は咽喉痛を止めるに内用、葉は碎きて傷に塗る



Euphorbia neruifolia L.
(*Euphorbiaceae*).

キヨウチクダイゲキ (大戟科)

地方名 スヅ・スヅ (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産インド)
 性状用途 多肉灌木、莖より出る白乳液や葉は傷に琶
 布、葉を熱して搾り、其汁を耳痛に塗る、乳液は又下
 劑、利尿、驅虫藥にも用ひられる



Euphorbia hirta L.
(Euphorbiaceae)

わたあじ

タイワンニシキサウ (大戟科)

地方名 アラ・タナ(馬) ゲラン・スス(馬)

産地 熱帯各地

性狀用途 雑草、民間薬にして、乳液を結膜炎、角膜潰瘍其他の眼病に用ひ、又タムシ、外傷特に海産多毛類の刺傷に塗布す、全草利尿の効あり淋病に用ひ又癩酔性ある爲喘息にも用ひる



ハナダ

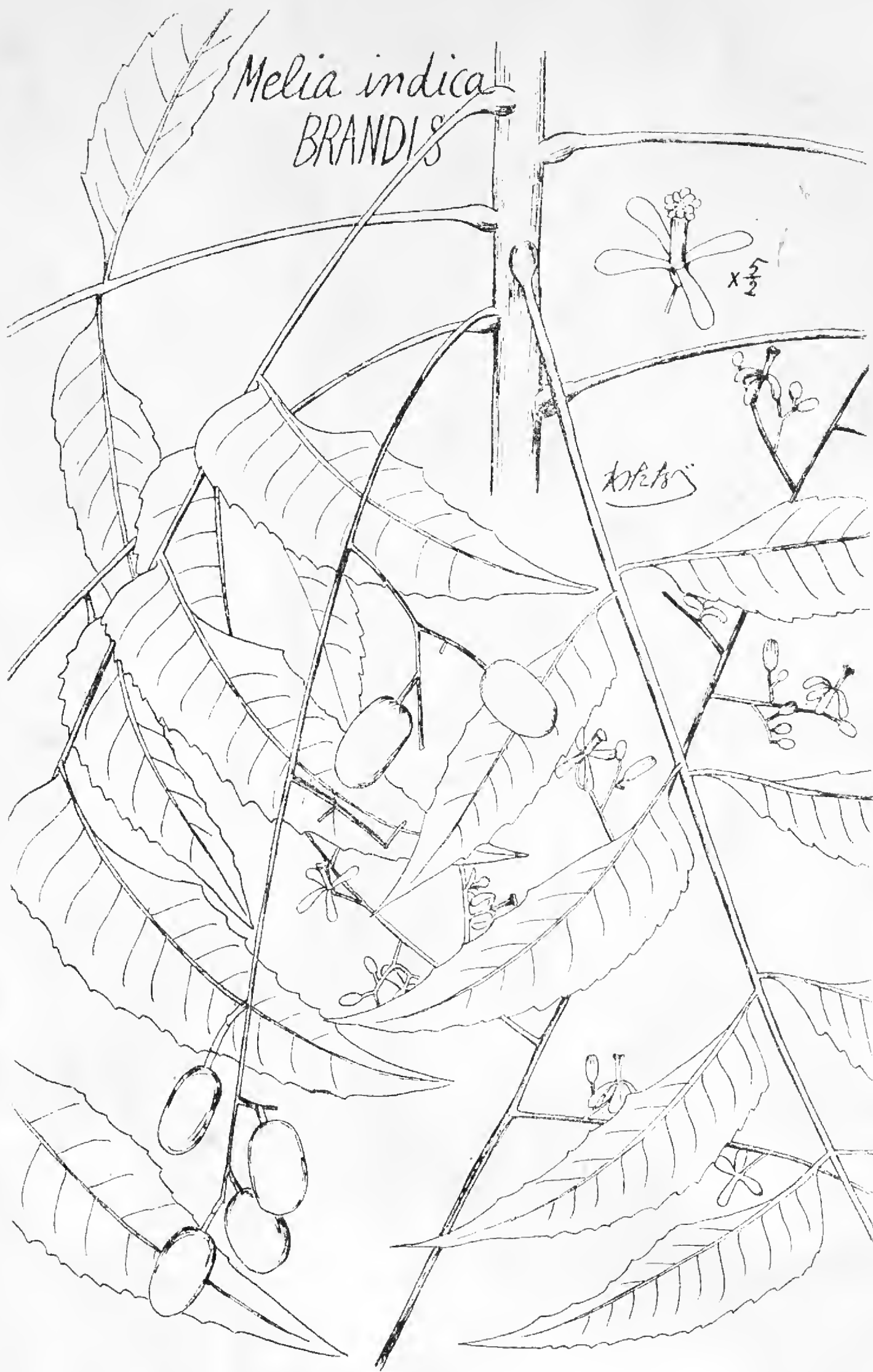
Pedilanthus tithymaloides POIT.

ムカデダイゲギ (大戟科)

地方名 ポコ・リラパン (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産アメリカ)

性狀用途 莖と葉は多肉濃緑、民間薬にして莖の白乳は疣取及び虫刺に用ひ根は催吐劑とする



インドセンダン (センダン科)

地方名 サト (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産インド)

性狀用途 喬木、小葉は曲り鋸齒あり、花は白、全株アザダリン及びマルゴシンを含み苦味強し、葉、樹皮、根皮、若果等を解熱薬 (マラリヤにも用ふ) として内用し。消毒薬として外傷に用ふ、種子は驅虫用として内用する。葉は苦味料として食品に混じ或は書物の防虫に用ひる



わたあじ

Carapa moluccensis LAM.
= *Xylocarpus moluccanus* M.ROEM.

ニリス (センダン科)

地方名 ニレ・バツ(馬) ニリス(馬)
産地 インド洋岸、太平洋岸
性狀用途 マングローブ林に多し、民間薬にして樹皮を赤痢に、根をコレラに用ひる

12/100



マニラエレミ (カンラン科)

地方名 マニラエレミ (マニラ)
 産地 フィリピン
 性状用途 喬木、幹から滲出するゴム樹脂をマニラエレミ脂と云ひ、刺戟性軟膏とし又印刷インクを作る、マライ地方の他のカンラン類も類似に利用し得べし



Brucea amarissima DESV

ナンヨウニガキ (ニガキ科)

地方名 ナガス(馬) ククロ(瓜)

産地 印度より北濠洲迄

性狀用途 灌木、高さ六尺、分岐少、葉はセンダンに似て有毛、果は黒熟、全株苦し、ブルカリン及ククシンを含み、葉は健胃苦味薬の外、蛔虫、腫物、ムカデ毒に、根は咳、熱、赤痢、リウマチに、果は赤痢、収斂薬に用ふ



Quassia amara L.

アメリカニガキ (ニガキ科)

地方名 スリナムクワシヤ (英)
産地 熱帯各地(栽培) (原産南米)
性狀用途 灌木、観賞用、葉脈、莖、花共に赤色、全株苦し、クワツシン及クワツソールを含む、健胃苦味及び解熱に用ふ



ナガエガサ (ニガキ科)

地方名 プナワル・パイ (馬)
 産地 マライ、スマトラ、ボルネオ
 性狀用途 灌木にてナンテン状、森林に生ず、果は朱色、葉柄紫黒色、葉は莖頂のみに密生、樹皮及び根皮は苦味強く民間薬としてマラリヤ其他の解熱に盛に用ひられる、ボルネオから多量にマライに輸入さる



アイルニツス (ニガキ科)

地方名 ポゴ・ランギット(馬)アイルニツト(モルツカ)
 産地 インド、(マライ北部栽培)
 性状用途 喬木、小葉片は不整、裏面有毛、果は扁平
 翅あり、幹に傷付けて出る樹脂は燻香料とする、樹皮
 及び葉は、解熱劑或は消化不良の藥とする



*Samadera
indica GAERTN.*

サマデラ (ニガキ科)

地方名 イポー(馬)
 産地 インド、マライ群島
 性狀用途 海岸の濕地に生ずる喬木、樹皮及び種子に
 有毒苦味質サマデリンを含む、民間薬にして、種子を
 吐下劑に、樹皮及び材の浸液を解熱に、薬をシラミの
 驅除に用ひる



Aegle marmelos Correa

ベルノキ (芸香科)

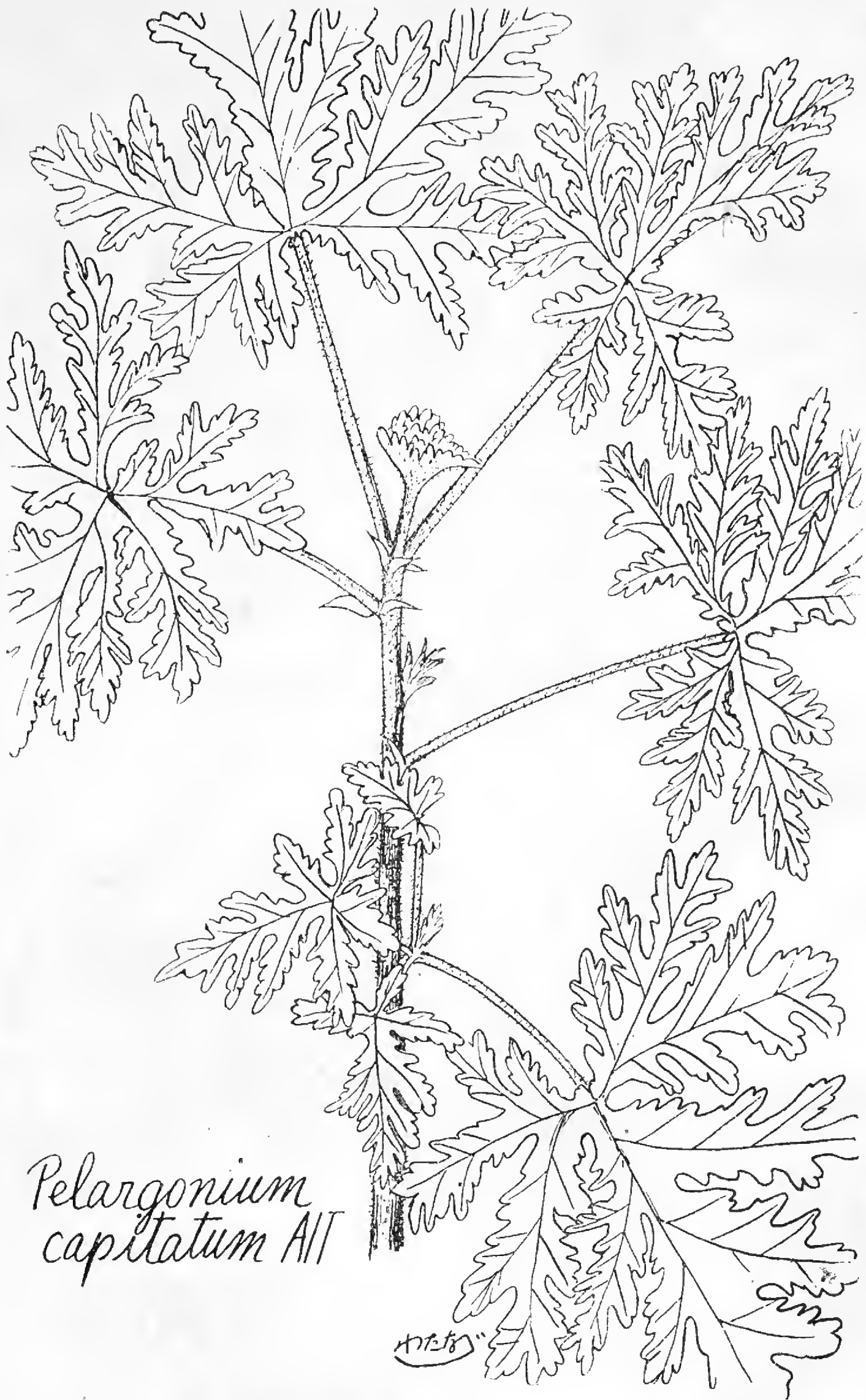
地方名 ビラ (馬) マヂヤ (馬)
 産地 熱帯一般 (栽培) (原産インド)
 性狀用途 小喬木高さ二丈、多刺、葉は右旋リモニンを
 含み疥癬、解熱に用ひ、果はタンニン、マルメロシ
 ンを含み慢性赤痢に用ひる、根及び樹皮はタンニンを
 含み解熱に用ふ



Erythroxylon novagranatense HIERON.

コカ (コカ科)

地方名 ジャバコカ
 産地 熱帯各地 (栽培) (原産南米)
 性狀用途 灌木、高さ六尺、葉は淡緑、裏面粉白、側
 縦線二條あり、果は赤色、葉はコカインを含み噛めば
 刺戟性清涼感を起す、鹽酸コカイン製造の原料である



Pelargonium capitatum AIT

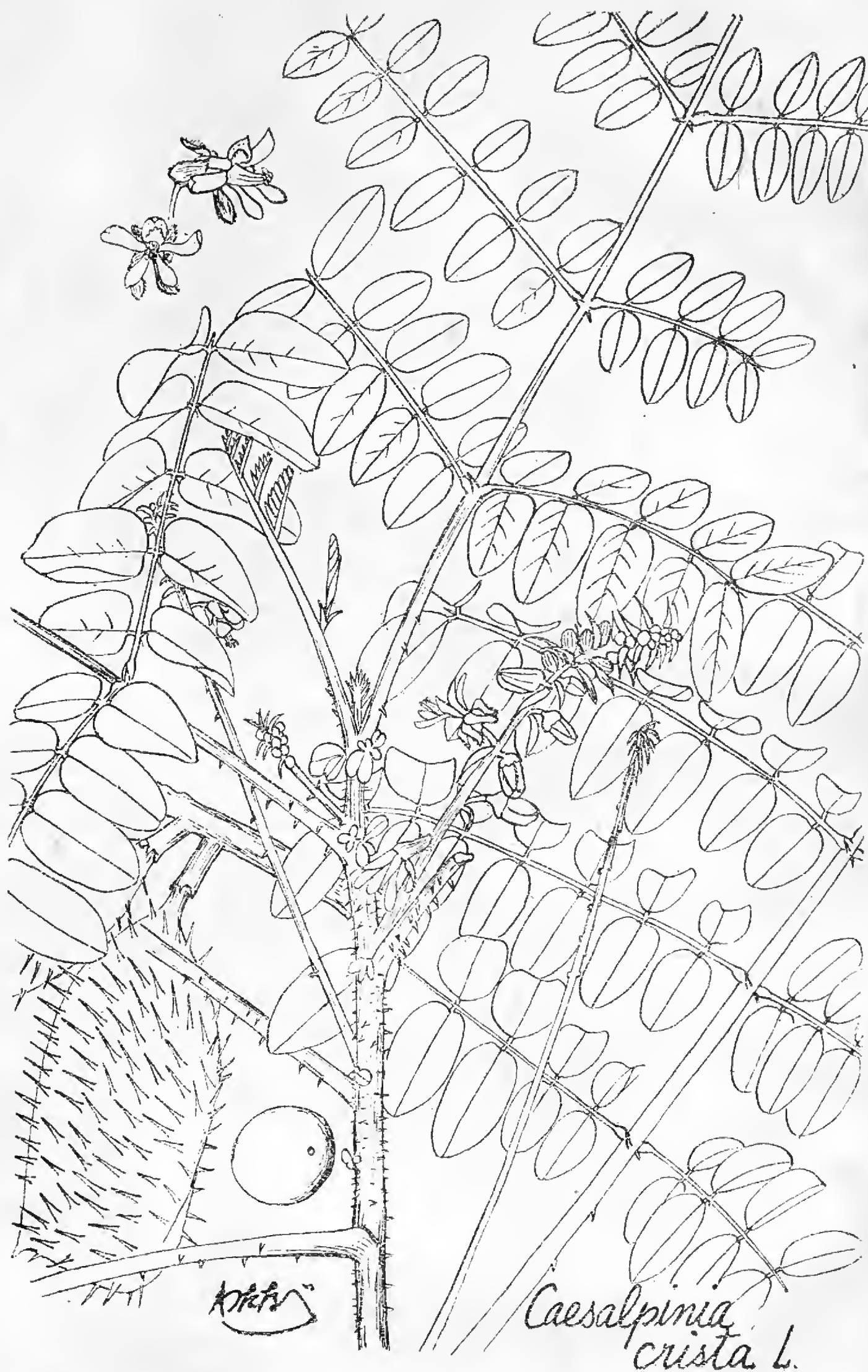
ダウンチリメン (フウロサウ科)

地方名 リマ・ジャリ (馬) ジョルミン (馬)
 産地 熱帯 (栽培) (原産アフリカ?)
 性状用途 所謂ゼラニウムの一様で乾燥を好むためマライでは鉢植にし軒に吊して栽培する、葉はゼラニオール及びシトロネラルを含み、芳香強し、時に精油蒸溜の材料となる、カラニウムと稱し結核、咳、喘息等の吸入薬として賣られたもの
 (名はゼラニウム、ジュルミン、チリメンと順に訛つたもの)



ナンバンアカアツキ (マメ科)

地方名 サガ(馬)海紅豆(支)
 産名 マライ(栽培)(原産インド、南支、モルツカ)
 性狀用途 中喬木、落葉性、花は穂状、黄色、果は旋
 回性、種子飛散後反卷、種子は扁壓、朱赤色、滑、種
 子を碎きて皮膚病薬とする(材は赤色)



リスノツメ (マメ科)

地方名 ククタパイ (馬) ゴレ (馬)

産地 インド、マライ諸島

性状用途 特に海岸に多い灌木で全株小刺多く葉は光澤あり、花黄色、種子はラムネ玉状、全株ボンドシンを含み苦味強し、種子及び葉を絛虫蛔虫の驅除に用ふ



Caesalpinia jayabo MAZA

オオリスノツメ (マメ科)

地方名 クク・タバイ・ブツサール (馬)
 産地 南方一般
 性狀用途 半蔓性灌木、多刺、葉は滑、花黄、果は多刺
 リスノツメに比して總て大形なれ共、苞は小形にして
 早落、種子のみならず全株を驅虫劑として内用する事
 リスノツメと同じ



*Caesalpinia
sappan L*

スワウ (マメ科)

地方名 スパン(馬) ブラジル(インド)
 産地 ビルマ、タイ、マライ群島
 性状用途 灌木、多刺、花黄、心材は赤褐色であるが、アルカリに會ふと紅色になる、染料及び食品着色に用ふ、心材は ブラジリン、ブラジレイン、タンニンも含み、漢方で収斂薬とし、材を磨り泥状にして患部の皮膚に塗布し、或は吐血に内用する



*Pachyrhizus
erosus* URBAN

クズイモ (マメ科)

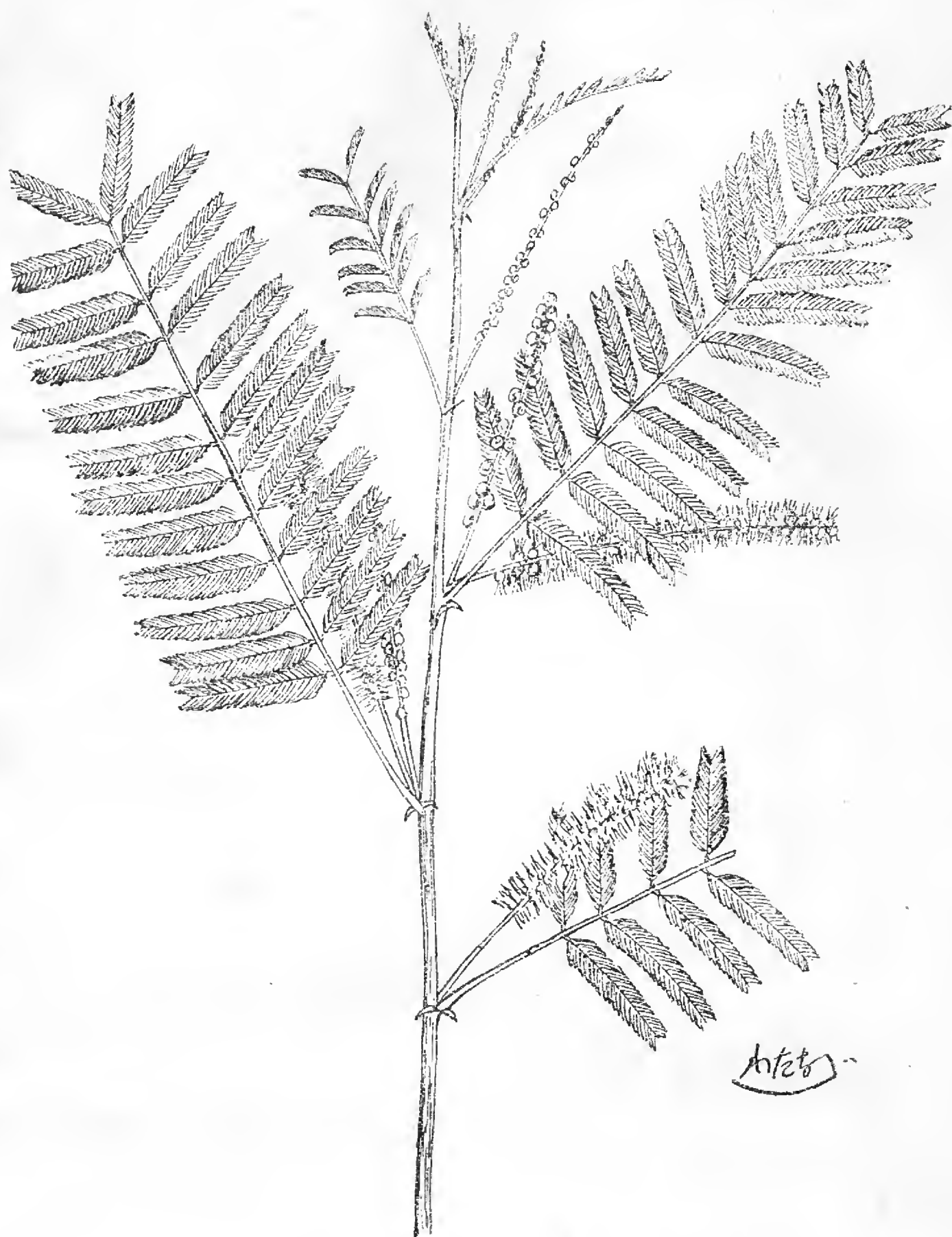
地方名 スンクワン (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産アメリカ)
 性狀用途 蔓性草本、花紫色、根は芋となり食用、果
 はフランスマメ様なれ共種子はバキリチツドを含み有
 毒で魚毒及び殺虫に用ふ、種子は皮膚薬、驅虫薬、下
 劑に用ふ



Dermodium gangeticum DC. Surindan

タマツナギ (マメ科)

地方名 スルンガン (馬)
 産地 東洋熱帯一般
 性状用途 やや木性の草本、葉裏粉白、短毛、花は緑色、果に粘毛あり、民間薬にしてインドでは解熱に、ジャワでは膀胱結石其他の結石に、マライでは下痢止に用ひらる



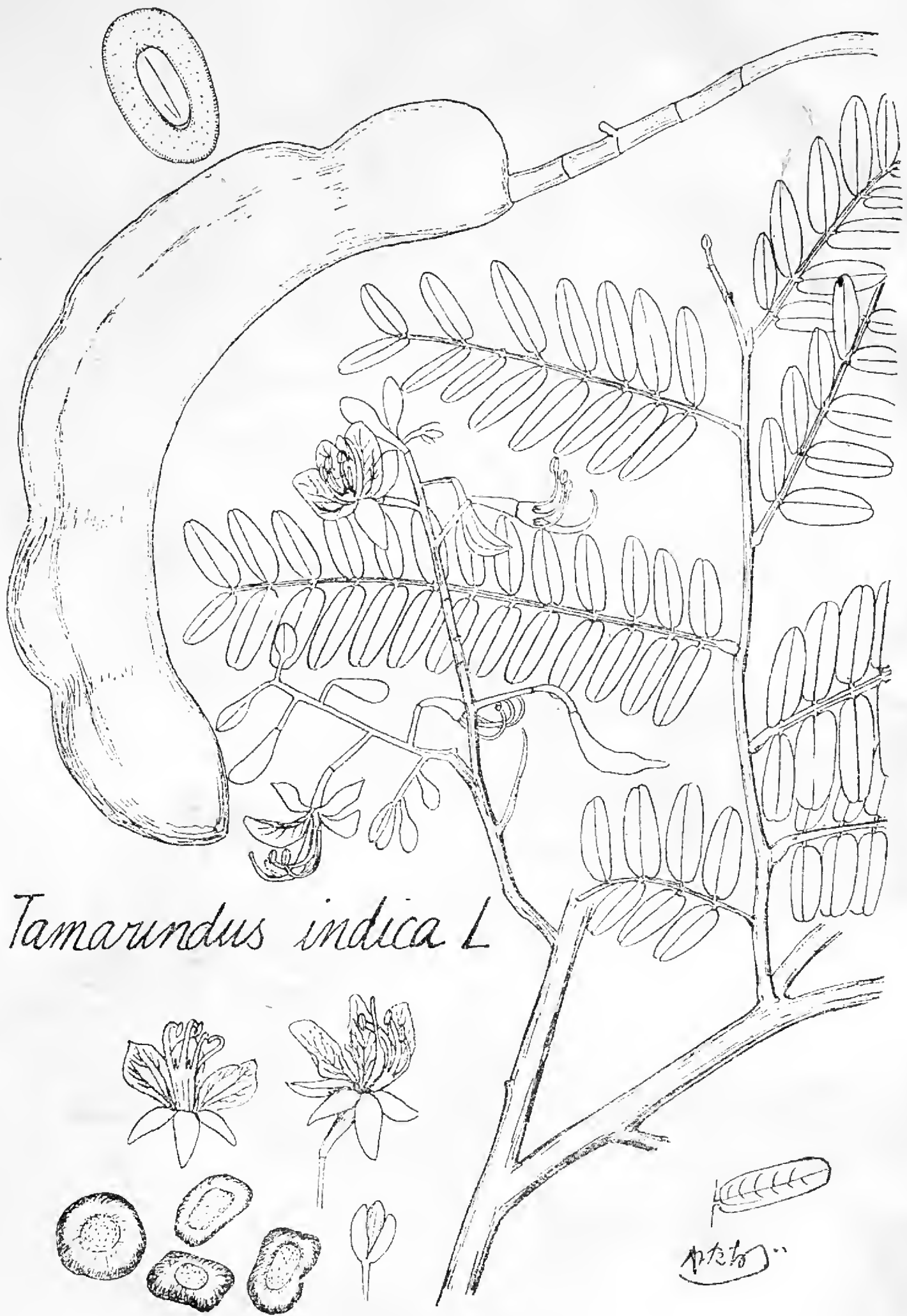
Acacia

Acacia catechu WILLD.

ベグノキ (マメ科)

地方名 カツチツリー(英) カイアツリー (英)
 産地 インド、ビルマ、タイ
 性状用途 中喬木、材の間隙にカテキンを含む故、材を細切し水で煮て阿仙薬を採る、之をペグカテクと云ひ、収斂劑とし(チンキ)或は鞣皮用とする

13769



Tamarindus indica L

タマリンド (マメ科)

地方名 アサム・ジャワ (馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産アフリカ)
 性状用途 中喬木、花は淡黄色で赤條あり、苞は赤色
 で早落、果は壁厚く酸味強し、種子は褐色扁壓で中央
 異質、果壁は酒石、酒石酸、クエン酸を有するを以て
 之にて作れる果泥は清涼緩下劑に用ひられる



Derris elliptica
BENTH

ハヒトバ (マメ科)

地方名 アカール・トバ(馬) デリス(英)
 産地 ビルマ、マライ群島、ニューギニア、佛印
 性狀用途 蔓性灌木、葉はフチの如し、花淡紅、根に
 根粒なし、根はロテノンを含み、農業用殺虫劑にす
 る、又魚毒に用ひられる(魚藤)



Derris malaccensis
PRAIN

夕チトバ (マメ科)

地方名 トバ・メラ (馬)
 産地 インド、マライ群島
 性状用途 蔓性灌木、若葉及び葉柄は赤味を帯ぶ、根はロテノンを含み、毒性ハヒトバより強力なれ共收量に於て劣ると云はれる、ハヒトバと同様に用ふ



*Cassia
alata* L.

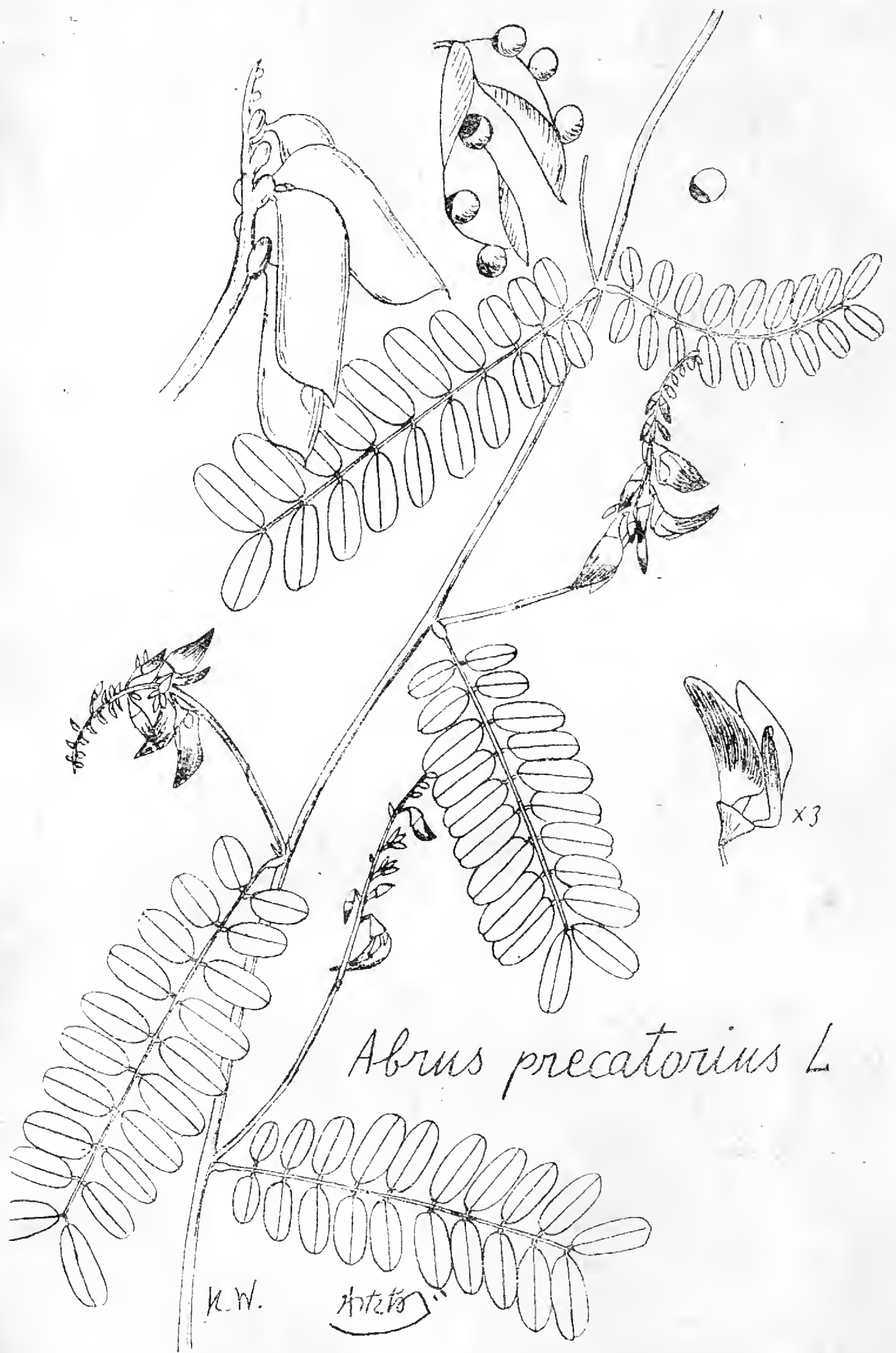
ハネミセンナ (マメ科)

地方名 グレンガン・ブツサール(馬) クバング(馬)
 産地 熱帯各地(野化) (原産アメリカ)
 性狀用途 草質灌木、高さ六尺 濕地を好む、花は黄色總狀、果は黒色
 で翼狀縱突起あり、葉はクリサロピン及びセンナエモチンを含み、介癬、
 ミヅムシに外用し、センナ葉に代用して下劑として内用す(小葉片一、二
 枚程度)葉、根は又蛔虫、縲虫驅除に内用もする



ナンバンサイカチ (マメ科)

地方名 ブレクサ (馬)
 産地 熱帯各地(栽培)(原産インド)
 性狀用途 小喬木、高三丈、花黄色總狀、果は阿梨と云ひ、糖類、タンニン、アントラヒノン、クエン酸を含み、紫褐色圓筒狀垂下、種子間の隔壁は熟すると褐色泥狀で甘く、緩下劑となる、根皮はタンニンを含み外傷、潰瘍に用ひる



Abrus precatorius L

トウアツキ (マメ科)

地方名 アカール・サガ (馬)
 産地 熱帯各地 (栽培) (原産アフリカ)
 性狀用途 蔓草、葉はインデゴの如し、花は暗紫色で龍骨瓣のみ白色、
 種子は朱と黒と半半にして光澤あり、毒性蛋白質アブリンを含み、血液
 を凝固さす、粘膜刺戟作用あり、漢方で相思子と云ひ、解毒、強壯劑に
 用ひ、根と葉は甘く、グリシリヂンを含み、咳、風邪に用ひる



*Erythrina
indica* LAM

デ イ コ (マメ科)

地方名 ヅダ (馬)

産地 インド、マライ群島

性狀用途 海岸を好む喬木、花赤、枝は多刺、葉にはエリスリン。種子にはヒポボリンを含み、少しく有毒、樹皮は歯痛に詰め、又赤痢に服用、葉は腫物に琶布、根は解熱、材の浸液は血尿に、種子は碎いて蛇咬、腫物に外用(葉は食用)



Sesbania grandiflora PERS

シロゴチヨウ (マメ科)

地方名 グチ (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産東亞)

性狀用途 直立小木、花白 (赤花はアカゴチヨウ) 樹皮の浸出液或は樹脂は赤痢其他の腸病に用ひる、(但し大量を用ひると吐瀉する) 葉は食慾増進に用ひ幹を傷付けて出る液はアラビヤゴムと同じ性質を有するが空中で暗赤色となる、瀝し



Pterocarpus indicus WILLD

インドシタン (一名カリン) (マメ科)

地方名 アングサナ(馬) サナ(馬) スナ(馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産マライ)
 性狀用途 喬木、樹皮淡褐色、街路樹とする、花黄、
 果は薄圓板状、樹皮又は其のエキス(キノ)はタダレ、
 特に口内炎、鵝口瘡に用ひる、此のキノは又下痢止と
 して盛に用ひられる(材は紫檀代用)



ワサビノキ (ワサビノキ科)

地方名 ムルンガイ(馬) ラムンガイ(馬)
 産地 熱帯各地(栽培) (原産インド)
 性狀用途 直立小木、花黄、葉はマツカゼサウの如く、グルコシッドを含みて辛し、葉は犬の咬傷に嚙布し、又淋病の利尿薬とする、樹皮を傷付て採る液は腸疾患に内用し、又トラガカンタゴムの代用とする、(葉及び果は食用)



わたあじ

Cleome icosandra
= *C. viscosa* L

キバナヒメフウチヨウ (フウチヨウサウ科)

地方名 ママン・プテ (馬)

産地 熱帯各地

性狀用途 雑草、花は白黄色、葉の煎汁を赤痢に、種子の煎汁は驅虫に用ひる、又食欲増進料としてカラミとして食用し、果は酢漬として食す



*Cinnamomum
zeylanicum* NEES

セイロンニクケイ (クス科)

地方名 カユマニス(馬)
 産地 熱帯各地(栽培)(原産インド)
 性狀用途 小喬木にして、やや横に枝を張る、樹皮は桂アルデヒド及び糖を含み、やや甘く芳香、セイロン桂皮と稱し桂皮類中の第一等品(註 日本産肉桂は根皮であるがセイロン桂皮は樹皮であるため若い枝を刈取つて用ひる)



シナニクケイ (クス科)

地方名 カユ・マニス・チナ (馬)
 産地 南支 (廣東、廣西)
 性狀用途 小喬木、此の樹皮が眞の桂皮 (支那桂皮) であるが香氣はセイロンニクケイのものより劣る、健胃、矯味、矯臭藥とする



Beilschmiedia pahangensis GAMBLE

パハンアカハダグス (クス科)

地方名 ムダング・サラ(馬)
 産地 マライ(特にケラントン、パハン)
 性状用途 喬木、樹皮の煎汁を胃痛、赤痢等に用ひる
 (マンゴの樹皮等も共に用ひる)



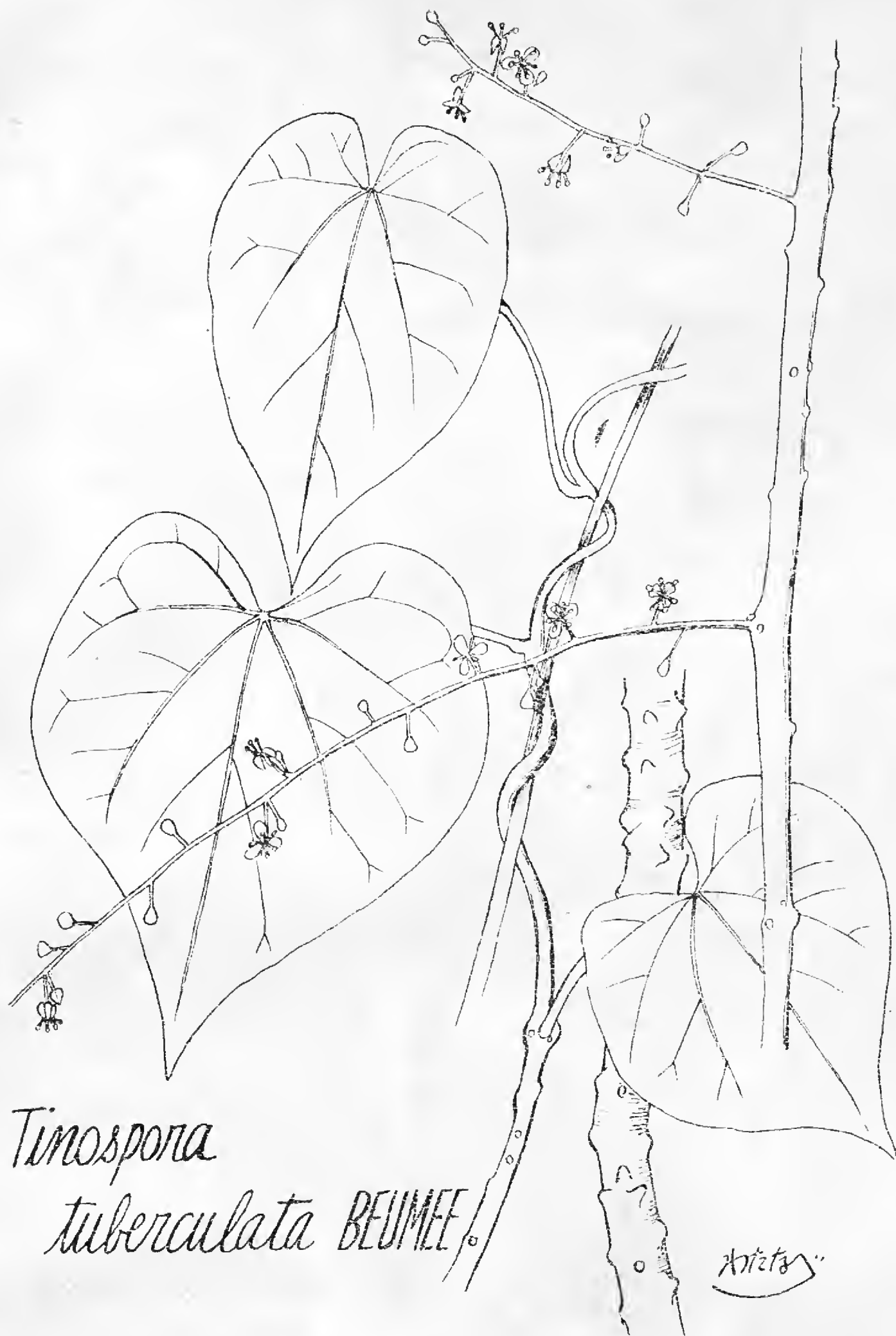
Myristica fragrans L.

ニクヅク (ニクヅク科)

地方名 パラ(馬)

産地 熱帯各地(栽培)(原産モルツカ)

性狀用途 小喬木、高さ二丈、樹形紡錘形、花は白、葉はサカキの如し、果は徑一寸五分、淡黄色、核は徑八分、核の周りに赤色の網状の種衣あり、之を肉豆蔻花と云ふ、種子は健胃薬、矯味矯臭薬、肉豆蔻花は香味料



*Tinospora
tuberculata* BEUMEE.

イボツツラフチ (ツツラフチ科)

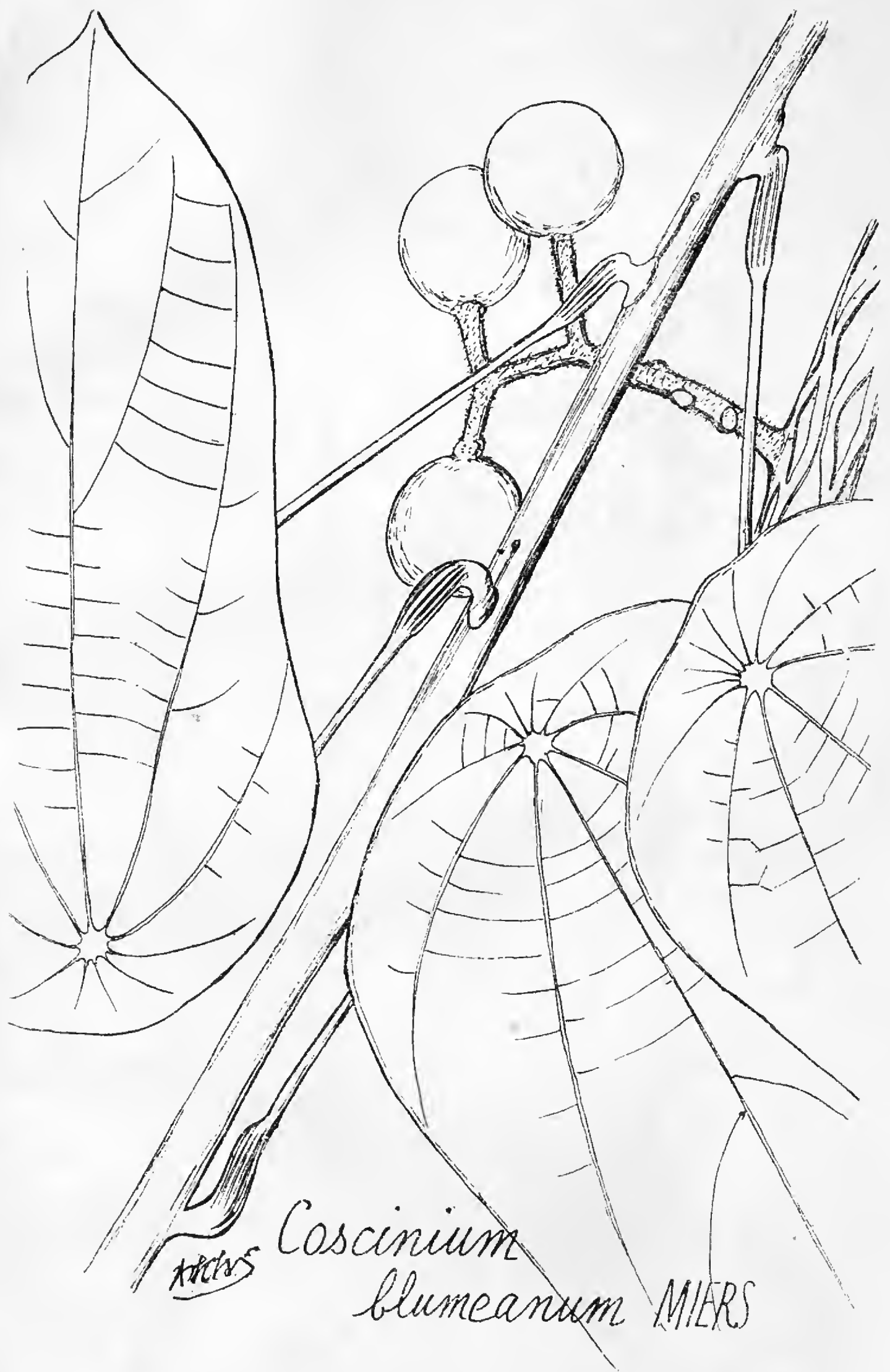
地方名 アカル・プタワリ (馬) アカル・スルントン (馬)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 蔓植物、全株甚だ苦し、クロレチン、ヘル
 ベリン、コロンビンを含み、民間では全株を熱病、糖
 尿病、コレラ、マラリヤ、痘瘡、リウマチ、蛇咬に内
 用し、眼疾、蠱毒瘡、外傷等に外用する、健胃苦味劑
 として良好、又キニーネ代用としても多大の可能性が
 ある

Cascinium fenestratum COLEBR.



コロomboドキ (ツツラフヂ科)

地方名 ハルデカツチ(ベンガル)
産地 インド、スマトラ
性狀用途 蔓性灌木、葉裏に褐毛あり、根は黄色でパ
ルマチン、ヤテオリチン、ベルベリンを含みコロombo
根に代用し解熱及び健胃苦味劑とする

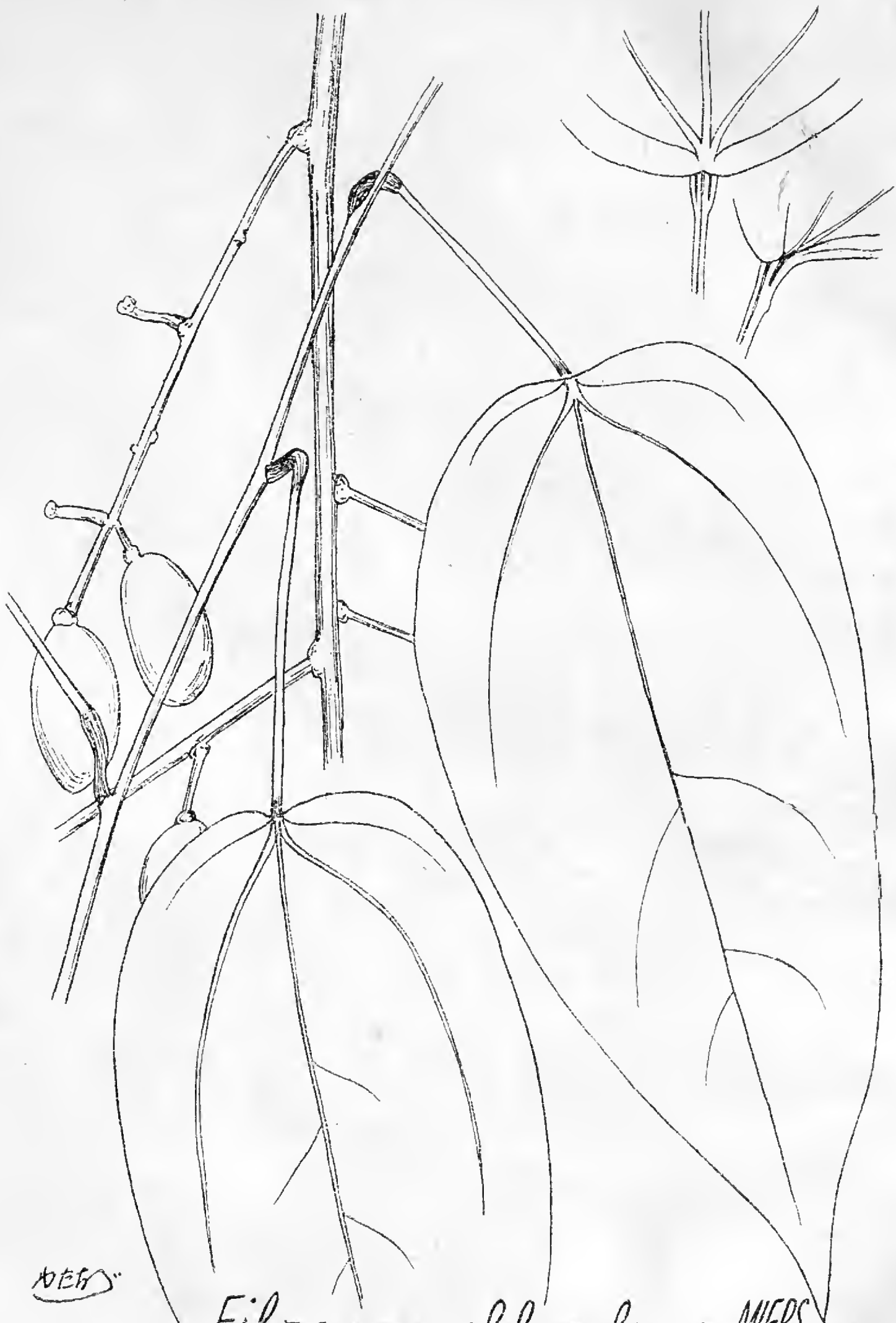


タテバツツラフチ (ツツラフチ科)

地方名 ムンクニイ (馬)

産地 マライ、スマトラ

性狀用途 蔓性灌木、葉面滑で多脈、硬し、莖、葉柄、葉裏共に淡褐毛密生、根はバルマチン、ヤテオリチン、バルペリンを含みコロンボ根代用として健胃苦味劑に用る、又民間藥として根の浸出液を皮膚の傷又は腫物に外用する



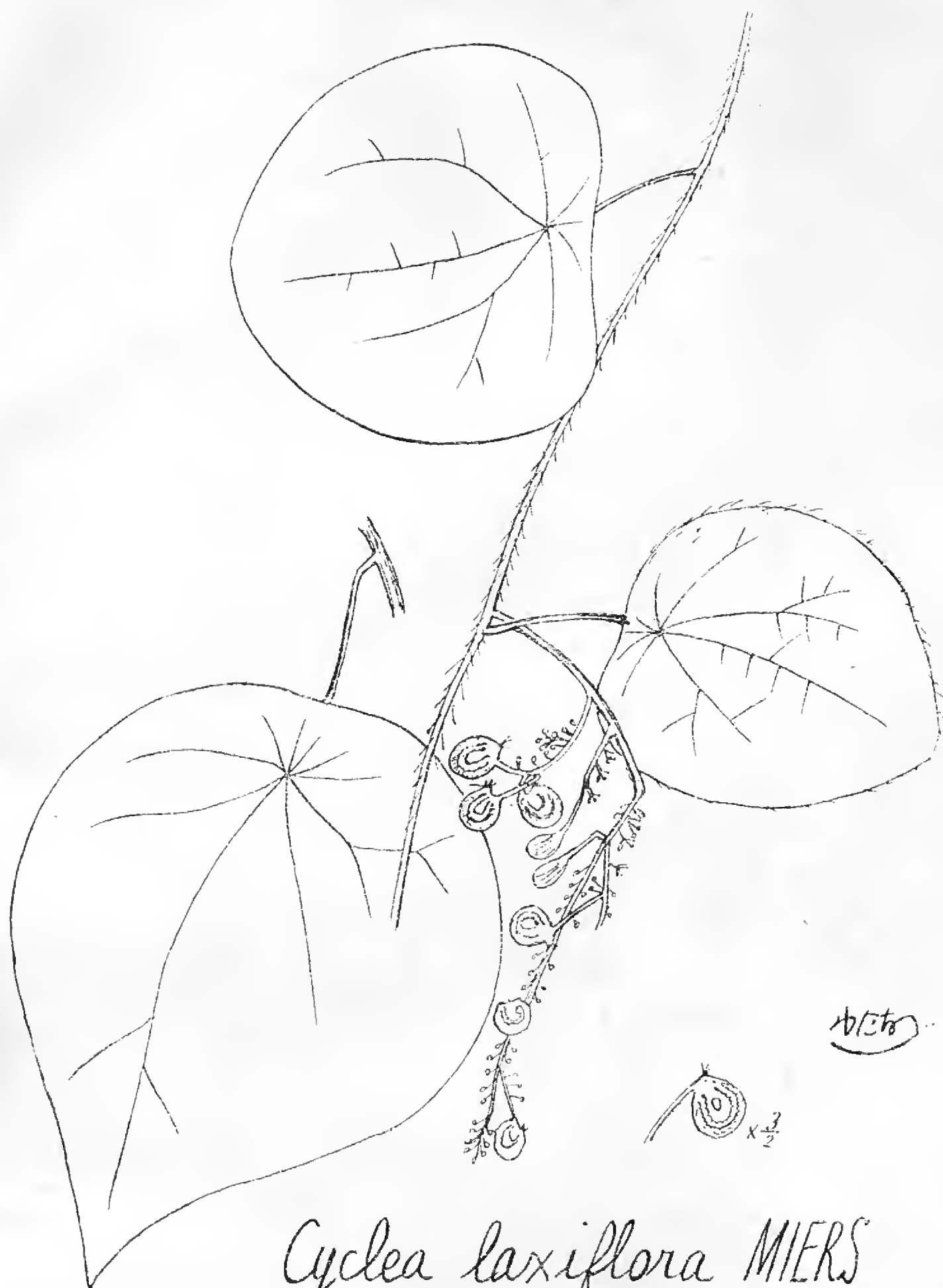
Fibraurea chloroleuca MEERS

ファイブラウレア (ツツラフチ科)

地方名 アカール・クニン (馬)

産地 マライ群島

性狀用途 蔓性灌木、莖の内部は黄色にして苦し、ベルベリンを含む、莖の煎汁は赤痢、糖尿病に内用し、メギと同様眼病薬として外用す



チクレア (ツツラフチ科)

地方名 アカール・ツロン・クマル(馬)
 産地 マライ
 性狀用途 蔓性灌木、莖には縦條あり、チクレインを
 含むと推定される、根の煎汁は解熱に、葉の煎汁は驅
 虫に用ひられる

Mirabilis jalapa L



オシロイバナ (オシロイバナ科)

地方名 ブンガ・プクール・アンパット(馬)
産地 温熱帯(栽培)(原産アメリカ)
性状用途 多年生草本、花は夕方開く、民間薬にして
葉は腫物に用ひられ其の搾汁は利尿薬とする、根はマ
ライでは下劑として信じられるが實効は疑はしい



*Chenopodium
ambrosioides L.*

わたぼう

アメリカアリタサウ (アカザ科)

地方名 アメリカンウオムシード (英)
 産地 温熱帯(栽培、野化) (原産米國)
 性狀用途 日本内地では一年生野草、熱帯では多年草、
 全草香氣強く種子及び葉はアスカリドール及びチモール
 ルを含み蛔虫及び十二指腸虫の驅除に用ひる

13179



Santalum album L

ビヤクダン (ビヤクダン科)

地方名 チェンダナ (馬)
 産地 インド(栽培)(原産小スンダ、チモール)
 性狀用途 小喬木、高さ二丈、根は他植物の根に吸着し
 養分を奪ふ、樹齡十五年以上になると心材が芳香を發す
 に至る、此の心材から白檀油を採り淋病薬とし又材を
 燻香料とする



Piper nigrum L.

コセウ (コセウ科)

地方名 ラダ (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産インド)

性狀用途 蔓性灌木、短い氣根により他物に吸着して上昇する。葉柄の一部は托葉状をなして早落する、果は胡椒として香料とし (黒胡椒は果皮あるもの、白胡椒は果皮を去つたもの) 又リウマチ、頭痛等に外用し、墮胎に内用する (筍と並用)



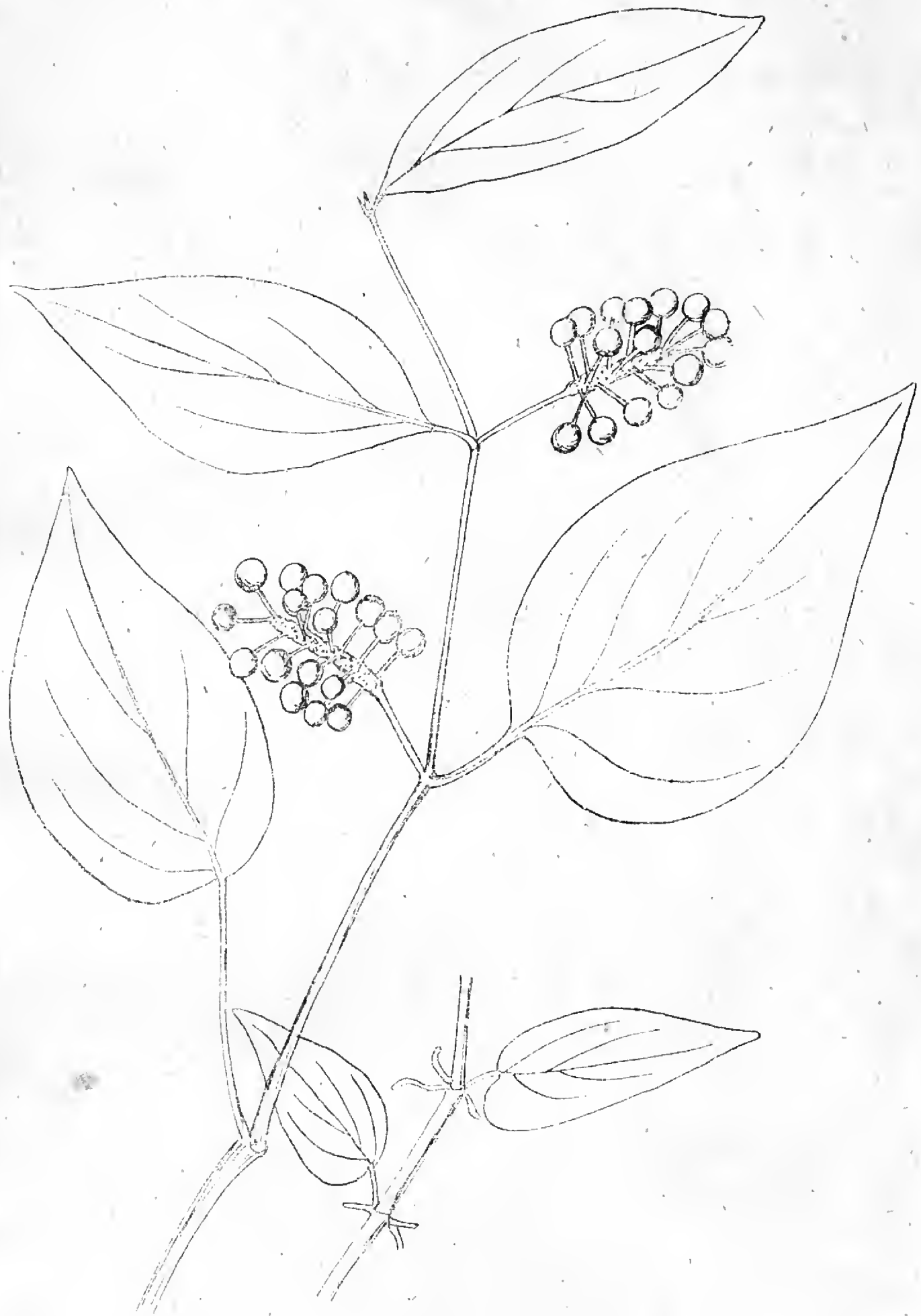
Piperi betle L.

キンマ (コセウ科)

地方名 シレ(馬)

産地 熱帯各地(栽培) (原産不明)

性状用途 蔓性灌木で吸着根により他物に附着して上昇する、黄緑色の葉のものあり、葉はエウゲノール、テルペン等を含み、噛めば刺激性清涼感を起すを以て、ビンロウジの種子と共に噛む、又葉の汁は口粘膜の疾患に他薬と混じて用ひる



H. H. H.

Piper crassipes KORTH

ヒツチヨウカモドキ (コセウ科)

地方名 ラダ・エコル・パルス (馬)
 産地 スマトラ、ジャワ
 性狀用途 蔓性灌木、ヒツチヨウカに酷似し、果は其
 に混用又は代用し、淋病に用ひられる



Piper retrofractum VAHL
 = *P. longum* BL. (non L.)
 = *P. officinarum* DC

わたし

ジャワナガゴセウ (コセウ科)

地方名 チヤバイ・ジャワ (馬)
 産地 タイ、ジャワ、スマトラ
 性状用途 蔓性灌木、乾果はジャワ及びスマトラより
 マライに輸入す、辛味あり、各種の腸疾患の薬に常に
 混合して用ひる



Dendrobium crumenatum SWARTZ

オオバセキコク (ラン科)

地方名 アングレ・ムルバチ (馬)
 産地 セイロン、ビルマ、マライ群島、南支、ノイリピン
 性狀用途 樹上に着生す、時々一斉に白色の花を開く、杯状の莖部を熱して搾り其汁を耳孔の痛に用ひる又葉を碎きて風物に散布する

13/22



トゲミシユクシヤ (シヨウガ科)

地方名 ヲラ・ワリジャン (瓜)
 産地 マライ、スマトラ、ジャワ
 性状用途 高さ六尺位の中形草本、花は花序部のみ地表に出で黄色、果は暗赤紫色で有刺、劣等なカルダモンとして用ひ得、又茎汁は産後の強壯劑に、或は眼疾藥として用ひる

Amomum kepulaga SPRA. et BURK.
 = *A. cardamomum* L.



ビヤクツク (シヨウガ科)

地方名 プラガ・クブラガ (馬)
 産地 タイ、ジャワ、スマトラ、
 性狀用途 ショウガ状の植物で地表に接して花を生
 じ、球形の果を生ず、之を白豆蔻と云ひ、樟腦の香あ
 り、芳香健胃に用ひらる

Elettaria cardamomum MATON



シヨウツク (シヨウガ科)

地方名 カルダムグ (タミル) マラバルカルダモン (英)

産地 インド

性状用途 ショウガ状の植物、高さ一丈、花序は地表に近く出る、果を小豆蔻と云ひ、樟腦様の香あり、醋酸テルピネオール及びシネオールを含み芳香健胃薬として用ふ。

Curcuma zedoaria ROSC.



カジユツ (シヨウガ科)

地方名 ツル・クニン (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産インド)

性狀用途 草本、葉高さ四尺、葉柄は葉面の倍位長く、若葉は表裏共に中肋附近は赤紫色なれ共成長するに従ひ色は消える、花序は葉叢外に獨立に出で上方の苞は赤色、花は淡黄色、根莖は莖速と云ひ淡黄色でシネオールを含み芳香で苦味健胃薬とする



ウコン (シヨウガ科)

地方名 クニ (馬) ツムクニ (馬)
 産地 アフリカ、インド、マライ群島、フィリピン(栽培)
 性狀用途 原産地は不明であるが東南アジアに於て栽培により生じたものと思はれる、葉高さ一尺より二尺、花序は葉叢中から出で、苞は緑色(上方のものは白色)花は白色、唇瓣中央黄、主根莖は橢圓形、匍匐根莖は細長い、根莖は橙赤色芳香、民間では之を洗眼用及び消毒用とす、黄色成分はクルクミンにして染料、料理用、黄色試験紙に用ふ



Languas galanga STUNTZ

ナンキョウ (シヨウガ科)

地方名 ルンクアス (馬)
 産地 熱帯アジア(野生、栽培)
 性状用途 高さ六尺、莖頂に白花を着ける、根莖はシヨウガに似て更に大きく、赤色のものと黄白色のものとあり、味は辛く料理にも用ひられるが又やや劣等の良薑として芳香健胃薬とする

13/85

Languas conchigera BURKILL



カラリヨウキヨウ (シヨウガ科)

地方名 ルンガス・キチ (馬)

産地 インド、マライ、スマトラ (栽培)

性状用途 高さ三尺、葉はやや丸味を帯ぶ、花は莖頂に生じ花被は淡緑色なれ共唇瓣のみ肉色で赤條點あり根莖はやや細く内部白色でシヨウガ様の香あり辛し根莖を血行促進劑として、リウマチ、背痛等に外用する



わんぱく

Zingiber cassumunar ROXB.

ウコンミヨウガ (シヨウガ科)

地方名 ブングライ (馬) クニ・ツロス (馬)
 産地 インド、マライ群島 (野生、栽培)
 性状用途 シヨウガによく似た植物で高さ二尺より三尺、葉鞘の舌部は短かく有毛、地下莖は各節やや密生し、内部は橙黄色で樟腦の香あり、辛からずして苦味刺戟性、葉の煎汁を胃痛に、根莖は小兒の驅虫に用ふ又リウマチス、有熱時 浴用等にも用ひらる



ゆたな

Kaempferia galanga L.

バンウコン (シヨウガ科)

地方名 チュクール (馬) クンチュール (爪)
 産地 マライ群島 (栽培) (原産インド)
 性状用途 オオバコ位の大きさで地に接して葉を展べる、葉叢の下の鱗莖部からは更に紡錘形の塊根を生ず、チンナミツク酸エステルを含み、全草芳香、葉は解熱、鎮咳、去痰に嚙用し又咽喉痛、腫物、リウマチス等に琶布し、眼病に洗滌用とする



Costus speciosus SM.

オオホザキアヤメ (シヨウガ科)

地方名 タワ・タワ (馬)
 産地 インド、マライ群島、ニューギニア、台湾
 性状用途 シヨウガに似た植物で高さ六尺、根莖は食用も可、民間薬として根莖の汁は解熱、肺炎、リウマチ等に服用し又シレの葉と共に服用すれば鎮咳に効ありと云ふ

13/27



Eleutherine americana MERR

アカネスギセン (アヤメ科)

地方名 バワン・メラ・バル (馬)
 産地 熱帯各地 (栽培) (原産南米)
 性状用途 球根草本、高一尺、花は白色、夕方僅に四
 時間程開きて後閉ぢる、鱗莖は紅紫色、之部を利尿、
 下劑、吐劑に用ひる



Smilax calophylla WALL

ニクケイバサンキライ (ユリ科)

地方名 ダワイ・ダワイ(馬) ツダワイ(馬)

産地 マライ、スマトラ

性狀用途 直立性灌木、高さ二尺、葉はニクケイの如く、裏面粉白、根莖の煎汁は淋病に内服し、葉は碎いてココヤシ油と混じて熱し、腫脹に塗る

13/83



トウツルモドキ (トウツルモドキ科)

地方名 ロタン・ビニ(馬)

産地 東洋熱帯一般

性状用途 主として海岸に生ずる蔓性半木本、果は赤熟、若葉は洗髪に用ひ、果は皮膚病に琶布



ハボタン

Pistia stratiotes L

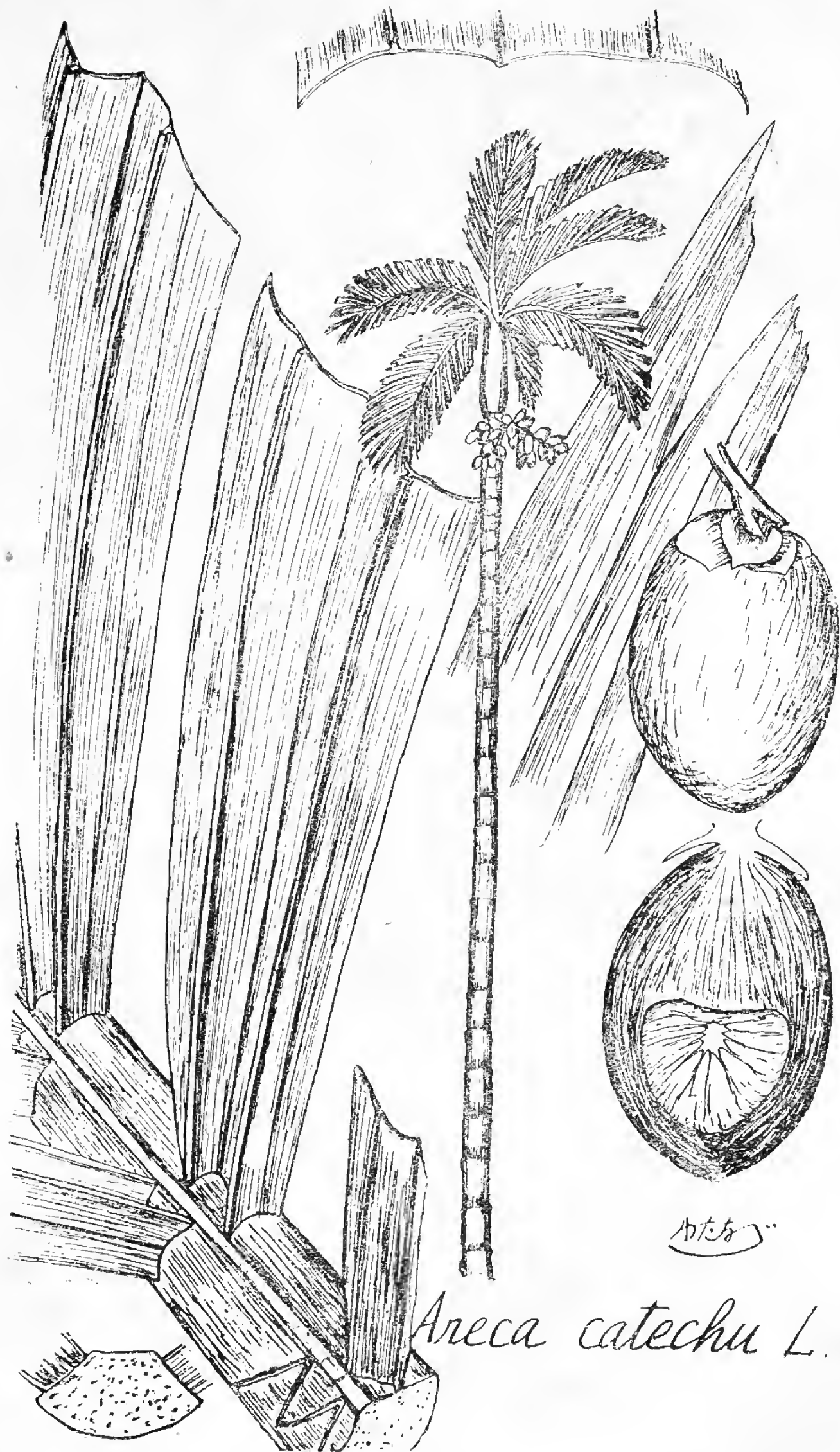
ボタンウキクサ (テンナンショウ科)

地方名 カムビヤング(馬)

産地 熱帯一般

性狀用途 水上に浮遊する、ハボタン状の植物で加里の含量高く民間で利尿薬、赤痢薬として内用し、腫物其他の皮膚病に外用する

12/25



Areca catechu L.

ビンロウジ (ヤシ科)

地方名 ビナン (馬)
 産地 熱帯各地 (栽培) (原産マライ)
 性狀用途 幹直径三寸、モウソウチクの様な節が見える、果は小形の鶏卵位で橙色に熟し、半球形の種子あり、種子はアレコリン其他を含み、アレコリン製造の原料、民間薬として下痢止、蛔虫驅除に用ひ、現地人の咀嚼料にも用ひらる



ベチベルサウ (禾木科)

地方名 アカール・ワギ (馬)
 産地 熱帯(栽培 (原産インド、佛印))
 性狀用途 ススキ様の植物で高さ五尺、大株をなす、花序は紫色を帯びる、側根(ヒゲネ)のみビヤクダンの香あり、之から採る油は香料の保留劑として用ひる、(此の根で扇を編むところがある)

13/150



コウスイガヤ (禾本科)

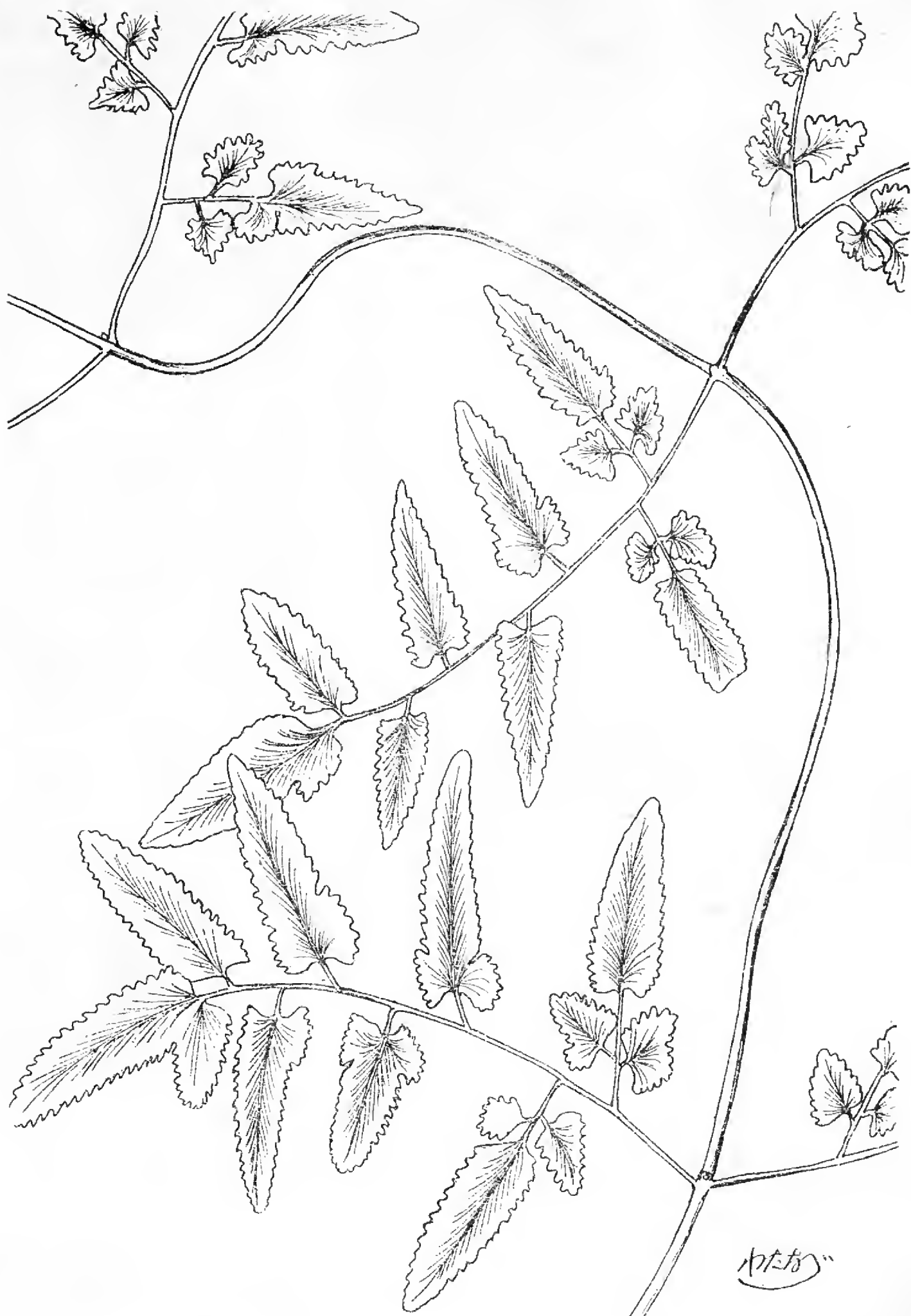
地方名 スライ・ワング (馬) シトロネラ (英)
 産地 熱帯各地(栽培)(原産インド)
 性狀用途 高三尺、ムスキの如し、花莖は高さ六尺に達し、カルカヤの如し、葉はやや粉白、根出葉は長さ六尺、全草香氣強く、シトロネラル及びゲラニオールを含み、根は香水採取の原料となる、此の香水は蚊除香水、石鹼の香料等に用ひらる



Agathis alba FOXW.

ナンヨウナギ (マツ科)

地方名 ダマル・ミニヤ(馬)
 産地 マライ、ボルネオ、佛印、フィリピン
 性狀用途 葉は全くナギの如く、幹は眞直にてモミの如し、マライにては三百米以上の山にあり、樹脂はダマルの一種にて點燈用、硬膏、ワニスの製造等に用ふ



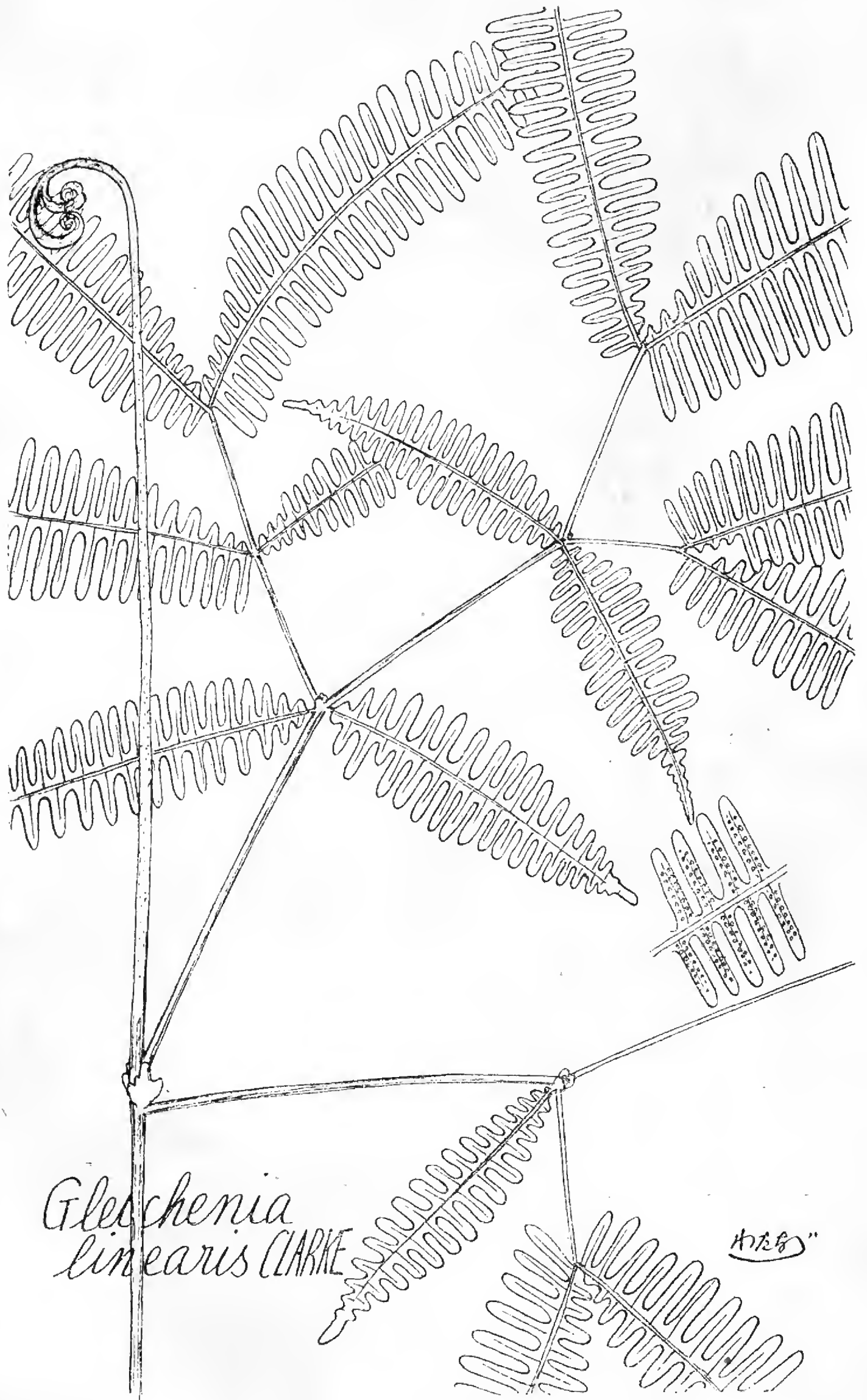
Lygodium flexuosum SW

カニクサ (シダ類)

地方名 リブ・リブ (馬)

産地 温熱帯一般

性狀用途 蔓草、煎汁は解熱薬として廣く民間で用ひられる(若葉は食用となる)



Gleichenia linearis CLARKE

わたぢ

コシダ (シダ類)

地方名 ルサム(馬) ブンカワング(馬)

産地 熱帯一般

性狀用途 ウラジロに似て小、葉裏粉白、葉の分岐點から更にワラビを出す、全株苦し、葉の汁は熱病に浴用或は甕布し、或は内用する

1370

ヨモギ (キク科)

Artemisia vulgaris L.

地方名 バル・チナ (馬)

産地 温帯

性狀用途 草本、マライにも栽培されて居る、葉は各種の皮膚病に用ひられる

コーヒー (アカネ科)

Coffea liberica BULL.

地方名 ポコ・コビー (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産アフリカ)

性狀用途 灌木、種子を興奮薬、利尿薬として内用し、又種子の粉末を火傷、湯傷に散布して効あり

オオバコ (オオバコ科)

Plantago major L.

地方名 ダウン・スジユンボ (馬)

産地 温帯

性狀用途 マライにても栽培により生育す、種子及び葉は赤痢及淋病に、根は咳止に用ひられる

ヂキタリス (ゴマノハグサ科)

Digitalis purpurea L.

地方名 なし

産地 温帯

性狀用途 草本、熱帯では高地に栽培し得るのみ、葉を強心薬となす事周知の事

タバコ (ナス科)

Nicotiana tabacum L.

地方名 ポコ・ツマカウ (馬)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産アメリカ)
 性狀用途 草本、マライにても栽培す、葉の煎汁はケ
 ジラミを殺すに用ふ、又潰瘍を洗ふに用ひる事もある

トウガラシ (ナス科)

Capsicum annuum L.

地方名 チャバイ (馬) チリ (馬)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産南米)
 性狀用途 果を消化不良、コレラ、マラリヤ、猩紅熱
 に内用し、根の煎汁は淋病に内用す

ハクカ (唇形科)

Mentha arvensis L.

地方名 ポホ (支那)・プヂナ (馬)
 産地 温帯
 性狀用途 マライにも野菜として栽培す、葉を茶劑と
 して胃痛、疝痛、下痢等に内用す

ザクロ (ザクロ科)

Punica granatum L.

地方名 ヅリマ (馬)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産ペルシヤ)
 性狀用途 灌木、根皮は絛虫驅除に、果皮は下痢止
 に、果汁は咳止に内用

184

パ パ ヤ (パパヤ科)

Carica papaya L.

地方名 クパヤ (馬)
 産地 熱帯各地 (栽培) (原産アメリカ)
 性狀用途 灌木、果其他の乳液はパパインを含み肉の
 消化薬、葉の煎汁或は種子中の脂油は驅虫に内用

185

マンゴスチン (オトギリサウ科)

Garcinia mangostana L.

地方名 マンギス (馬)
 産地 マライ群島、ビルマ、タイ、佛印
 性狀用途 小喬木、果皮は下痢止に内用、葉の煎汁は
 傷に外用す

186

ヒ マ (大戟科)

Ricinus communis L.

地方名 ジヤラ (馬)
 産地 温熱帯 (栽培) (原産アフリカ)
 性狀用途 灌木、種子の油は下劑

187

ケ シ (ケシ科)

Papaver somniferum L.

地方名 チャンプー (馬)
 産地 温帯 (栽培) (原産ペルシャ?)
 性狀用途 草本、熱帯低地にては數寸に伸びるに過ぎ
 ず、種子より阿片を採り鎮痛劑を作る

クスノキ (クス科)

Cinnamomum camphora FRIES.

地方名 なし

産地 日本、中南支、佛印

性狀用途 喬木、マライ低地にては發育悪く、山地にて少しく良し、材、葉より樟腦を採り強心劑を作る

アサ (クハ科)

Cannabis sativa L.

地方名 ガンジャ (馬)

産地 温熱帯 (栽培) (原産中央アジア)

性狀用途 高い草本、特にインド種は葉、花に癡醉性あり、阿片同様に用ひられる

クハ (クハ科)

Morus alba L.

地方名 なし

産地 温帯

性狀用途 マライにも栽培されて居る、根皮の煎汁は強壯劑として飲用され又收斂劑にも用ひられる (葉は食用)

シヨウガ (シヨウガ科)

Zingiber officinale ROSC.

地方名 ハリヤ (馬)

産地 温熱帯 (栽培) (原産インド)

性狀用途 根莖は芳香性健胃藥

192

シヨウブ (テンナンシヨウ科)

Acorus calamus L.

地方名 ジュランガウ (馬)

産地 温熱帯 (栽培) (原産中央アジア)

性狀用途 水中の植物、マライにも栽培す、根莖を芳香性健胃薬とする

193

ココヤシ (ヤシ科)

Cocos nucifera L.

地方名 カラパ (馬) ニヨ (馬)

産地 熱帯各地 (栽培) (原産不明)

性狀用途 未熟の若果は下痢止及解熱に内用す、果内の液(サンタン)は利尿

194

サトウキビ (禾本科)

Saccharum officinarum L.

地方名 ツブ (馬)

産地 熱帯各地 (栽培)

性狀用途 紫莖種及び特に細莖種(直径二糎)は煎汁を咳止に用ふ

索引 I 用途

消化器系

- 齒痛 6. 45. 69. 104. 134.
咽喉痛、口内タダレ 6. 62. 83. 95. 106. 136. 152. 164.
胃痛 3. 5. 20. 27. 34. 40. 41. 80. 97. 104.
141. 163. 182.
吐劑 11. 15. 44. 109. 117. 166.
下劑 8. 9. 11. 43. 44. 63. 95. 99. 100. 101. 102.
107. 117. 128. 131. 132. 148. 166. 186.
消化不良 10. 18. 34. 116. 181. 184.
食慾不振 19. 71. 105. 135. 138.
ムネヤケ 18.
疝痛 38. 71. 182.
腹痛 7. 37.
肝臓 11.
腸病 154.
赤痢(下痢) 1. 3. 7. 10. 18. 19. 20. 27. 30. 31. 39. 44.
46. 47. 62. 65. 66. 68. 69. 70. 72. 77. 78.
79. 81. 83. 92. 93. 94. 97. 100. 111. 113.
118. 126. 127. 134. 135. 136. 137. 138.
141. 146. 169. 170. 178. 182. 183. 185.
驅虫(蛔虫、絛虫) 5. 7. 25. 46. 51. 58. 65. 72. 75. 85. 98.
107. 110. 113. 122. 123. 125. 131. 138.
147. 149. 163. 170. 183. 184.
コレラ 19. 27. 111. 181. 143.
健胃(苦味芳香) 14. 20. 28. 54. 55. 56. 73. 113. 114. 139.
140. 142. 143. 144. 145. 156. 157. 158.
159. 161. 191. 192.
アメーバ赤痢 15. 51.

循環器、淋巴、泌尿器

- 血尿 8. 134.
浮腫 10. 17. 64. 68.

1319

利 尿	7. 8. 32. 38. 42. 48. 80. 108. 137. 148. 166. 169. 177. 193.
脾 臟	43.
心 臟	34. 35. 48. 49. 50. 67. 179. 188.
糠 尿	20. 46. 47. 53. 70. 143. 146.
腎 臟	18. 68. 103.
腺 腫 脹	34.
催 乳	94.
月 經	23. 43. 69. 94.

神經系・感覺系・諸痛

神 經 痛	23. 24. 59.
リウマチ	5. 18. 23. 24. 27. 31. 63. 73. 88. 93. 95. 99. 113. 143. 151. 162. 164. 165.
興 奮 劑	58. 90. 91. 177.
沈 靜	82.
鎮 痛	119. 187. 189.
鎮 ケ イ	21.
腰 痛	18.
頭 痛	6. 33. 151.
癱 醉	35.

呼吸器系

喘 息	29. 44. 68. 102. 108. 120.
氣管支炎(肺炎)	68. 96. 165.
咳	21. 23. 25. 30. 31. 38. 60. 65. 66. 113. 120. 133. 164. 165. 178. 183. 194.
結 核	42. 120.

眼 ・ 耳

眼 病	2. 10. 30. 31. 96. 108. 143. 146. 156. 160. 164.
耳 痛	26. 66. 107. 155.

皮膚系・外傷・外科的損傷

皮 膚 病	8. 11. 17. 22. 45. 62. 63. 83. 85. 121. 125.
-------	--

	168. 169. 176.
外 傷	1. 3. 5. 8. 16. 37. 40. 41. 42. 45. 63. 68. 83. 102. 106. 107. 108. 110. 132. 143. 145. 185.
腫 物	2. 8. 10. 25. 37. 84. 96. 99. 113. 134. 145. 148. 155. 164. 169.
潰 瘍	99. 132. 180.
シ ラ ミ	117. 180.
タ ム シ	3. 22. 36. 38. 108
ミズムジ	22. 131.
介 癬	66. 131.
カユミ止	89. 99.
皮 膚 痛	26. 103
矢 傷	34.
膏 藥	112. 173.
疣	109.
ウ チ ミ	18.
腫 張	167.
鞍傷(馬)	16.
火傷(湯傷)	11. 177.
カ ブ レ	52.
毛伸バシ	9.
咬傷(刺傷)	8. 18. 20. 45. 58. 108. 109. 113. 134. 137. 143.
骨 折	18. 97.

全 身 病

強 壯 劑	14. 58. 133. 190.
解 熱	1. 2. 5. 7. 13. 19. 23. 27. 31. 35. 36. 38. 39. 41. 46. 47. 51. 62. 66. 94. 95. 96. 97. 110. 113. 114. 115. 116. 117. 118. 126. 133. 134. 143. 144. 147. 168. 174. 175. 193.
壞 血 病	6.
マ ラ リ ヤ	13. 16. 18. 20. 23. 36. 46. 52. 58. 115. 143. 181.

脚	氣	5. 10. 64.
茶	劑	74. 182.
浴	料 (有熱時)	17 42. 60. 163. 175.
猩紅	熱	181.
痘	瘡	143.
癩	病	38. 85. 86. 87. 88.

性 病

淋	病	8. 23. 100. 103. 108. 137. 150. 153. 167. 178. 181.
微	毒	39. 143.

雜

收劍	劑	76. 80. 100. 113. 124. 127. 190.
結	石	6. 126.
香	水 (香料)	33. 61. 142. 171. 172.
墮	胎 (產)	63. 64. 72. 151.
殺	虫	21. 129. 130.
殺	鼠	57. 125.
魚	毒	21. 101. 125. 129. 130.
蚊	取	4. 42. 172.

索引 II

學名

Abrus	133
Acacia	127
Acanthus	24, 25
Acorus	192
Adenanthera	121
Adhatoda	21
Aegle	118
Agathis	173
Ageratum	1
Ailanthus	116
Aleurites	100
Alstonia	46, 47
Amomum	156, 157
Andrographis	20
Aquilaria	82
Ardisia	66, 67
Areca	170
Artemisia	176
Baeckea	74
Baliospermum	102
Beilschmiedia	141
Blumea	5
Brucea	113
Bruguiera	79
Caesalpinia	..	122, 123, 124	
Canarium	112
Callicarpa	39, 40
Calophyllum	88
Calotropis	45
Cannabis	189
Capsicum	181
Carapa	111
Carica	184
Cassia	131, 132
Cephaelis	15
Chasalia	16
Chenopodium	149
Cinchona	13, 14
Cinnamomum	139, 140, 188
Cleome	138
Clerodendron	38
Cocos	193
Coffea	177
Cola	91
Coleus	34
Coscinium	144, 145
Costos	165
Croton	101
Curcuma	159, 160
Cyclea	147
Cymbopogon	172
Datura	29
Dendrobium	155
Derris	129, 130
Desmodium	126
Digitalis	179
Eclipta	9
Elephantops	7
Elettaria	158

Eleutherine	166
Embelia	65
Emilia	2
Enicostemma	56
Erythrina	134
Erythroxylon	119
Eugenia	70, 71
Euphorbia	107, 108
Eurycoma	115
Fagraea	60
Fibraurea	146
Flacourtia	83
Flagellaria	168
Garcinia	185
Gelsemium	59
Gendarussa	23
Gleichenia	175
Gossypium	4
Grewia	97
Hedyotis	18
Helicteres	93
Hibiscus	96
Holarrhena	51
Hydnocarpus	85, 86, 87
Hydrocotyle	68
Ipomoea	43
Jatropha	99
Kaempferia	164
Lagerstroemia	81
Languas	161, 162
Lantana	37
Lawsonia	80
Leonurus	35
Lochnera	53
Lygodium	174
Mallotus	98
Melaleuca	73
Melastoma	69
Melia	110
Mentha	182
Mimusops	62
Mirabilis	148
Momordica	11
Morinda	19
Moringa	137
Morus	190
Myristica	142
Nicotiana	180
Ocimum	30, 31
Oroxylum	27
Orthosiphon	32

Pangium	84	
Papaver	187	
Pedilanthus	109	
Pelargonium	120	
Peronema	36	
Phachyrrhizus	125	
Phyllanthus	103,	104,	105,	106	
Piper	..	151,	152,	153,	154
Pistia	169	
Plantago	178	
Plumbago	63,	64	
Pogostemon	33	
Psidium	72	
Psychotria	17	
Pterocarpus	136	
Punica	183	
Quassia	63	
Quisqualis	75	
Ricinus	186	
Rhinacanthus	22	
Rhizophora	77,	78	
Saccharum	194	
Samadera	117	
Santalum	150	
Scaevola	10	

Scaphium	92
Sesbania	135
Sida	95
Smilax	167
Spilanthes	6
Stereospermum	26
Strophanthus	..	48,	49,	50
Strychnos	57,	58
Styrax	61
Swertia	54,	55
Tamarindus	128
Terminalia	76
Tetracera	89
Theobroma	90
Tinospora	143
Tithonia	4
Tylophora	44
Uncaria	12
Vernonia	3
Vetivelia	171
Vitex	41,	42
Wedelia	8
Willughbeia	52
Zingiber	163,	191

索引 III 日本名

ア		カ	
アイランツス	116	カカオ	90
アカキ ナ	14	ガジユツ	159
アカクダタマ	16	カツコウアザミ	1
アカネ スキセン	166	カニクサ	174
アサ	189	ガマハダ ダイフウシ	86
アダトダ	21	カミボウキ	31
アメリカ アリタサウ	149	カヤフテ	73
アメリカ ニガキ	114	カラナレ	102
アンドロ グラフイス	20	カラリ ヨウキヨウ	162
		カロトロビス	45
		ガンダルサ	23
		ガンビヤ	12
		キ	
イボ ツツラ フデ	143	キダチオオミカンサウ	104
インド シタン	136	キダチコミカンサウ	103
インド センダン	110	キバナヒメフウチヨウ	138
インド マツリ	64	キヨウチクダイゲキ	107
		キンゴジクワ	95
		キンマ	152
		ク	
		ククイノキ	100
		クサトペラ	10
		クズイモ	125
		クスノキ	188
		クスノハ ガシワ	98
		クバヤン	84
		クルチダイフウシ	87
		クワ	190
		ケ	
		ケシ	189
		コ	
		コウス イガヤ	172
		コーヒー	177
		コオウレン	28
イ			
イボ ツツラ フデ	143		
インド シタン	136		
インド センダン	110		
インド マツリ	64		
		ウ	
ウコン	160		
ウコン ミヨウガ	163		
ウスギ クサギ	38		
ウスベ ニニガナ	2		
ウミベ マンリヨウ	67		
		エ	
エンペリア	65		
		オ	
オオケムラサキ	40		
オオセンダンキササゲ	26		
オオバコ	178		
オオバセキコク	155		
オオバヂタノキ	46		
オオバナサルスベリ	81		
オオバヒルギ	77		
オオホザキアヤメ	165		
オオリスノツメ	127		
オシロイバナ	148		

コカ	119
ココヤシ	193
コシダ	175
コセウ	151
コネツシ	51
コバナ ミズヒイラギ	25
コマンチヨウ	59
コミカンサウ	105
ゴラ	91
コロンボ モドキ	144

サ

ザクロ	183
サトウキビ	194
サマデラ	117

シ

シクンシ	75
シコウクワ	80
シチヘンゲ	37
シナユクケイ	140
シマハ マグルマ	8
ジャワ センブリ	54
ジャワ ナガゴセウ	154
ジャンブル	70
シヨウガ	191
シヨウツク	158
シヨウブ	192
シロゴチヨウ	135

ス

スクタン ニホヒグサ	18
ストロファントス・グラトス	48
ストロファントス・デイコトムス	50
ストロファントス・ヒスピツス	49
スマトラ アンソクコウ	61
スラング ボチヨウヂ	17
スワウ	124

セ

セイロンニクケイ	139
セイロンマツリ	63

センニチモドキ	6
---------	---

ソ

ソリザヤタラ	27
--------	----

タ

ダイカイシ	92
ダイフウシ	85
タイワン コバンノキ	106
タイワンニシキサウ	108
ダウン チリメン	120
タカサゴギク	5
タカサブロウ	9
タカラマメ	58
タチトバ	130
タテバツヅラフヂ	145
タバコ	180
タマツナギ	126
タマリンド	128

チ

チキタリス	179
チクレア	147
チタノキ	46
チチカツラ	52
チヨウジ	71
チレツタセンブリ	55
チロホラ	44

ツ

ツボクサ	68
------	----

テ

テイコ	134
テウセンアサガホ	29
テリハボク	88

ト

トウアツキ	133
トウガラシ	181
トウツルモドキ	168
トコン	15

メ

メハチキ	35
メボウキ	30

ヤ

ヤスリバカツラ	89
ヤツデアサガホ	43

ヨ

ヨモギ	176
-----	-----

リ

リカノツメ	122
リナカンサス	22

ル

ルカムモモ	83
ルバンニンジンボク	41

ワ

ワサビノキ	137
-------	-----

	頁	正	誤
本文	10	肉 質	内 質
全	13	栽 培	裁 培
全	14	栽 培	裁 培
全	44	チ ロ ホ ラ	チ ロ ホ フ
全	52	供 な ふ	供 な る
全	89	雄蕊赤或型は葉は	雄蕊赤葉は
全	101	チユンキヤン	チユノキヤン
全	103	葉列の下側	葉列下側
全	117	葉をシラミ	薬をシラミ
全	120	ジュルミン	ジコルミン
全	163	有熱時の浴用	有熱時浴用
全	171	禾本科	禾木科
全	187	果より	種子より
索引 I	2	糖 尿	糠 尿
全	4	收斂劑	收劍劑
索引 III	1	イボツヅラフヂ	イボツヅラフデ
全	2	シナニクケイ	シナユクケイ
全	3	ミサキノハナ	ミサキノハ
全	4	リスノツメ	リカノツメ

昭和十九年八月十五日印刷

昭和十九年八月二十日發行

發 行 馬 來 軍 政 監 部

編輯責任者 渡 邊 清 彦

印刷責任者 渡 邊 太 郎

印 刷 所 馬 來 軍 政 監 部 印 刷 局

13/102*

John Nam Hal

Conserved by



